

平成 14 年度

三重県埋蔵文化財年報

2003・8

三重県埋蔵文化財センター

はじめに

埋蔵文化財の保護には土地に埋もれて残されてきた文化財というその特性から常々各種の開発事業との調整をはかる必要があります、これまで記録保存を目的とした事前の発掘調査を実施することが埋蔵文化財センターの業務で多くを占めてきました。

しかし、近年では県内各地で実施している発掘調査の様々な成果についての公開や活用等にかかる県民の皆さんの要望は、多様化するとともに徐々に高まってきています。そこで、当埋蔵文化財センターでは開発事業との調整や発掘調査の実施といった従来からの業務はもとより、「埋蔵文化財展」や「出前講座」「埋文センターホームページ」等を通じて埋蔵文化財に関する各種資料の活用についても一層の充実をめざし、三重県全体の埋蔵文化財に関する様々な活動の拠点として普及事業のメニュー充実や活用事業についての手法の工夫等にささやかながら努力しているところです。

一方で、斎宮歴史博物館への併設であるがために、出土品や各種の記録類を適切に管理する収蔵施設の不足、資料の展示や全国から寄せられた埋蔵文化財関係の貴重な書籍などを広く県民に公開することのできる活用施設の未整備など多くの課題を抱えた現状にあります。

この度刊行させていただきました「三重県埋蔵文化財年報－平成 14 年度－」は、この様な山積する課題の中で平成 14 年度の一年間における諸業務をまとめるとともに、県内各市町村教育委員会の協力を得てその発掘調査事業も含めて掲載したものです。今後の埋蔵文化財保護について参考としていただければ幸いに存じます。

平成 15 年 8 月

三重県埋蔵文化財センター
所 長 吉 水 康 夫

例 言

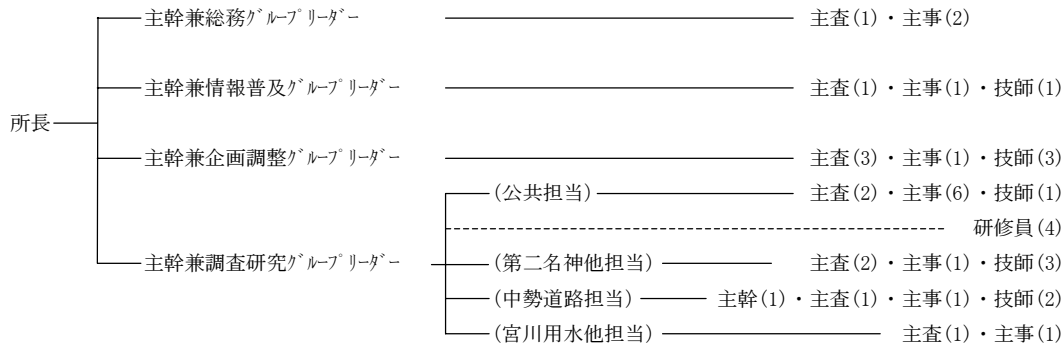
- 1 この冊子は、平成14年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。
- 2 「IV 平成14年度の発掘調査」では、平成14年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館担当の発掘調査成果および、県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。
なお、各遺跡の発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。
- 3 本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、情報普及グループが行った。

目 次

| | |
|--|----|
| I 組織及び業務体系 | 1 |
| II 資料の整理・保管、情報の公開 | 3 |
| 1 資料の整理・保管（出土量・保管数） | 3 |
| 2 科学的保存処理 | 3 |
| 3 発掘資料活用事業 | 3 |
| (1) 展覧会事業（常設展示・企画展ほか） | 3 |
| 庁舎ロビー展示・夏休みこども展・第22回埋蔵文化財展ほか | 3 |
| (2) 総合学習支援事業 | 5 |
| 出前講座・バックヤードツアー・体験発掘ほか | 5 |
| (3) 生涯学習支援事業 | 6 |
| 現地説明会・歴史教室など | 6 |
| 資料閲覧・貸出、写真撮影・掲載許可 | 6 |
| 資料の長期貸出 | 9 |
| 刊行物、ホームページ | 9 |
| III 埋蔵文化財保護体制の充実 | 11 |
| 1 各種会議・研修会（埋蔵文化財専門担当者会議・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会・文化財行政講座・その他研修会） | 11 |
| 2 埋蔵文化財技術者養成（発掘技術者専門研修・教員研修・市町村職員研修） | 13 |
| 3 埋蔵文化財保護等に関する支援・協力（埋蔵文化財行政基礎講座・個別市町村支援・協力） | 14 |
| 付：三重県埋蔵文化財調査員名簿 | 16 |
| 埋蔵文化財教職員研修実施要項・年間計画表 | 17 |
| 市町村職員研修実施要項 | 19 |
| IV 平成14年度発掘調査 | 22 |
| 1 発掘調査一覧 | 22 |
| 2 発掘調査の概要 | 26 |
| V 行政資料 | 56 |
| 1 県内埋蔵文化財数 | 56 |
| 2 県・市町村別の発掘調査件数及び面積の実績 | 57 |

I 組織及び業務体系

〔組織〕



亀山市へ派遣(1)

職員数 4 1 名 (兼務 4 名、専任 3 6 名、派遣 1 名)、 研修 4 名 他に臨時技術補助員 6 名

〔分掌事務〕

総務グループ

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 公印の管理に関する事 | 6 施設、設備の保守管理に関する事 |
| 2 職員の身分及び服務に関する事 | 7 文書の収発に関する事 |
| 3 予算及び経理に関する事 | 8 職員の健康、福利厚生に関する事 |
| 4 給与及び旅費等の支給に関する事 | 9 防災管理に関する事 |
| 5 契約及び入札事務に関する事 | 10 その他、他のグループに属さないこと |

情報普及グループ

- 1 整理済み出土品の収蔵及び保管に関する事
- 2 遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関する事
- 3 関係図書等の整理及び保管に関する事
- 4 遺跡台帳・遺跡地図・遺跡地図情報(GIS)の整備及び保管に関する事
- 5 出土品の洗浄・注記・接合・復元等に関する事
- 6 埋蔵文化財展・県庁展・県民局展・夏休み展等各種展示に関する事
- 7 遺跡及び調査情報の閲覧・貸出・掲載許可等に関する事
- 8 センター通信「みえ」・『研究紀要』・『埋蔵文化財年報』等の刊行に関する事
- 9 埋蔵文化財行政基礎講座開催に関する事
- 10 各種講座等埋蔵文化財保護の普及啓発に関する事

企画調整グループ

- 1 埋蔵文化財保護にかかる文化財保護チームならびに関係部局との連絡調整に関する事
- 2 国土交通省、農林水産省、日本道路公団他との調整協議と事務処理に関する事
- 3 各種積算、並びに各種業務の管理に関する事。
- 4 「埋蔵文化財専門担当者会議」等、センター内外の各種会議に関する事
- 5 市町村支援並びに「埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修」に関する事

調査研究グループ

- 1 県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 2 一般国道 475 号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 3 一般国道 23 号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 4 国営宮川用水第二期土地改良事業に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 5 近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 6 近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢勢和)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 7 出土品の実測・トレースに関する事
- 8 教員研修に関する事

【職員】

| | | | |
|----------|---|---|--|
| 所長 | 吉水 康夫 | | |
| 総務グループ | 主幹(G.L) 中谷 丈治(斎宮歴史博物館本務) 主査 牛谷 和代(斎宮歴史博物館本務) | 主事 石井 善文(斎宮歴史博物館本務) 主事 山路 裕樹(斎宮歴史博物館本務) | |
| 情報普及グループ | 主幹(G.L) 田阪 仁 主査 本堂 弘之 主事 船越 重伸 | 技師 川畑由紀子 臨時技術補助員 山岡奈美恵 | |
| 企画調整グループ | 主幹(G.L) 新田 洋 主査 野原 宏司 主査 森川 幸雄 主査 森山 直樹 | 主事 竹田 憲治 技師 池本 浩弥 技師 大川 操 技師 新名 強 | |
| 調査研究グループ | 主幹(G.L) 山田 猛 主査 森川 常厚 主査 筒井 正明 主事 辻本 泰宏 主事 服部 芳人 主事 奥野 実 主事 小山 憲一 －四日市市駐在－(四日市整理所) 主査 松田 朱美(第二名神担当) 主査 山口 聡嗣(東海環状担当) 主事 水本 龍治(第二名神担当) －津市駐在－(中勢道路整理所) 主幹 河北 秀実 主査 宮田 勝功 主事 東 敬義 －玉城町駐在－(玉城整理所) 主査 五嶋 史佳(近畿道尾鷲勢和担当) 主事 中川 明(宮川用水担当) | 主事 黒田 聖也 主事 柴山 圭子 技師 萩原 義彦 臨時技術補助員 小林 俊之(12月まで) 臨時技術補助員 豊田 祥三 臨時技術補助員 川崎 志乃 技師 穂積 裕昌(第二名神関係公共事業担当) 技師 金子 智子(第二名神担当) 技師 角正 淳子(第二名神担当) 技師 原田恵理子 技師 水谷 豊 臨時技術補助員 酒井巳紀子 臨時技術補助員 瀬野弥知世 | |

【施設】

三重県埋蔵文化財センター

所在地 多気郡明和町竹川 503 番地 TEL 0596-52-1732・3800 FAX 0596-52-7035
HPアドレス <http://www.museum.pref.mie.jp/maibun>
面積 敷地面積 18,000 m² 建築面積 4,573 m² 延床面積 5,077 m²
構造 鉄筋コンクリート造 1階(一部2階)建 *建物は斎宮歴史博物館と共用

遺物収蔵庫

桜橋収蔵庫 津市桜橋 2丁目 126 TEL 059-227-2465
藤方収蔵庫 津市藤方 2283-1 TEL 059-224-4560
高茶屋収蔵庫 津市高茶屋 7丁目 3番 46号 TEL 059-235-4343
上野収蔵庫 上野市丸之内 117 TEL 0595-24-0079
朝明倉庫 四日市市中野町 2216 番地 TEL 0593-39-3553

現場整理所

四日市整理所 四日市市伊坂町 126-1 TEL 0593-66-2688 FAX 0593-66-2689
中勢整理所 津市安東町 1213-5 TEL 059-229-2770 FAX 059-229-2771
玉城整理所 度会郡玉城町岡村 281-1 TEL 0596-58-5904 FAX 0596-58-5905

II 資料の整理・保管・活用

1 発掘資料の整理・保管

資料の大半を占める出土遺物は、学術的価値が高く・活用頻度の高いもの（A類）を斎宮歴史博物館収蔵庫（センター共用）に、比較的活用頻度の低いもの（B類）を各地の収蔵庫（下表参照）に分散保管している。平成10年度より遺物の再整理作業・台帳整備を積極的に推進し、収蔵箱数の3～5割削減に成功してきた。

一方、記録保存資料である遺構・遺物の実測図面・写真フィルム類は、上記博物館収蔵庫1に整理・保管している。受贈図書は約30,000冊を超え限界に達したため、一部を高茶屋収蔵庫へ移転したが、今後に課題を残している。

〔平成14年度出土品量（概数）〕

〔出土品保管状況（概数）〕

| 事業名 | | 今年度出土量 |
|--------------|-----------|--------|
| 県事業関係 | | 1,142 |
| 受託事業関係 | 東海環状建設関係 | 0 |
| | 中勢道路建設関係 | 571 |
| | 第二名神建設関係 | 0 |
| | 近道紀勢線建設関係 | 0 |
| | 宮川用水建設関係 | 0 |
| | 近道名古屋神戸線 | 5 |
| 埋蔵文化財センター分 計 | | 1,718 |
| 斎宮歴史博物館分 | | 126 |
| 合 計 | | 1,844 |

| 施設名 | 出土品保管量 | |
|---------------|---------|--------|
| 各地収蔵庫 | 桜橋収蔵庫 | 19,300 |
| | 藤方収蔵庫 | 1,769 |
| | 上野収蔵庫 | 0 |
| | 高茶屋収蔵庫 | 8,300 |
| 受託現場整理所（一時保管） | 第二名神整理所 | 1,810 |
| | 朝明倉庫 | 1,210 |
| | 中勢道路整理所 | 3,061 |
| 埋蔵文化財センター内 | 玉城整理所 | 129 |
| | 収蔵庫1 | 220 |
| | 収蔵庫2 | 3,739 |
| | 仮設収蔵庫 | 3,682 |
| 埋蔵文化財センター分 計 | | 43,220 |
| 斎宮歴史博物館 | 収蔵庫2 | 12,309 |
| 合 計 | | 55,529 |

* 数量は、平成14年度末時点の量をコンテナバット(60 cm×40 cm×16 cm)に収納した場合の箱数である。

* 各年度ごとに正式収蔵時に再整理するため、平均して約45パーセントの箱数が実質削減される。

* 上野収蔵庫の遺物は、今年度の再整理作業により全て藤方収蔵庫に吸収され、現時点では0になっている。

2 科学的保存処理

当センターには、出土品の保存処理を施すため、保存科学室1（木製品専用）にPEG樹脂含浸装置2基、保存科学室2（金属製品専用）には減圧樹脂含浸装置1基が設置されている。また、中勢道路整理所にもPEG含浸装置1基が設置されている。専任職員の配置はないが、当該技術研修を終了した職員が簡易な処理作業にあたるほか、本格的な鉄器・木器の保存処理は、補助金制度等も活用して専門機関に委託している。

今年度分は、落合古墳群及び垣内田古墳群出土の鉄刀、鉄剣類6点を外部機関へ委託し保存処理を完了した。

3 発掘資料活用事業

(1) 展覧会事業（企画展・常設展）

〔県庁舎県民ホール・県民局庁舎ロビー常設展〕（通年）

より広範囲な県民の皆様に郷土の文化財への興味・関心を深めていただくことを目標に、当県庁舎県民ホールと松阪・上野の県民局庁舎で常設展示（年度途中での更新を含む）している。前者は平成10年度、後者は平成13年度から実施している。それぞれの地域性や話題性のある資料、テーマを選定している。県民ホールでは「土器にみる古代人のリサイクル」、松阪庁舎では「馬形埴輪で迫る松阪周辺の遺跡」、上野庁舎では「中世土器と伊賀の地域性」をそれぞれのテーマに関連する出土遺物を展示公開した。

〔企画展・夏休みこども展〕

- 開催期間 平成14年7月20日～同9月1日
- 開催場所 斎宮歴史博物館 特別展示室
- 入館者総数 3,313名
- 展示資料概要 縄文土器深鉢（名張市辻垣内遺跡）、縄文土器甕（多気町新徳寺遺跡）、弥生土器甕・壺

(鈴鹿市起A遺跡・松阪市阿形遺跡)、須恵器杯・土師器杯、鍋、甕(津市高茶屋大垣内遺跡)ほか

夏休み中の子ども達を対象に『夏休み、きみはプチ考古学者だ!展』を、上記の日程で共同開催した。身近な「煮炊きの道具」の遷り変わりや実物大に表現した「堅穴住居」などを展示し、実物資料の観察を通して、家族で楽しむことのできる体験型展示を目指した。

会期中には、参加者による遺物資料の計測や展示体験ができる講座も下記のとおり三回開催し、夏休みの自由研究にも役立ててもらえるように配慮した(NHKテレビでも中継放映)。

- 体験講座 「みて・さわって・ならべて・かんがえてみよう」
- 日時 7月27日、8月10日、24日 いずれも土曜日。午前10時から午後4時まで。

〔企画展・第22回三重県埋蔵文化財展〕

- 開催期間 平成14年9月23日～同10月25日
- 開催場所 四日市市立博物館 特別展示室
- テーマ 「暮らすひとびと・行き交うひとびと～北伊勢の歴史と文化～」
- 展示趣旨 同時開催の文化庁主催「発掘された日本列島2002」展の地域展として、北勢地域に主題を求めて、周辺地域の遺跡から出土した遺物を中心に展示構成を考え、その特徴的な時期を通史形式で紹介した。
- 入場者総数 3,900名
- 展示資料一覧

| 時代 | 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 主な展示資料 |
|----|----|--------|---------------------|--|
| 弥生 | 1 | 金塚遺跡 | 四日市市山村町 | 銅鐸片(鈕) |
| | 2 | 伊坂遺跡 | 四日市市伊坂町 | 扁平紐式六区袈裟襷文銅鐸 |
| | 3 | 菟上遺跡 | 四日市市伊坂町 | 弥生土器(壺・甕・高杯・甔)、三河系の土器、播磨系の土器 磨製石斧、磨製石鏃、打製石鏃、磨製石剣、有溝石錘 |
| | 4 | 宮山遺跡 | 員弁郡大安町丹生川久下 " 片樋 | 磨製石斧、磨製石斧未成品 |
| | 5 | 山村遺跡 | 四日市市山村町 | 弥生土器(壺) |
| | 6 | 久留倍遺跡 | 四日市市大矢知町 | 弥生土器(壺・甕・高杯・鉢) |
| 古墳 | 7 | 城ノ広古墳群 | 三重郡朝日町柿 | 形象埴輪、円筒埴輪 |
| | 1 | 金塚横穴墓群 | 四日市市山村町 | 耳環、空玉、ガラス玉、刀子 |
| | 8 | 広永横穴墓群 | 三重郡朝日町埋縄 四日市市広永町 | 金銅装大刀(写真) |
| | 9 | 山奥遺跡 | 四日市市羽津 | 鉄滓、鉄製品(鉄鏃など) |
| | 10 | 公事出遺跡 | 四日市市西村町 | 鉄滓 |
| | 11 | 西山遺跡 | 員弁郡東員町中上 | 鉄滓、鞆羽口 |
| | 12 | 小牧北遺跡 | 四日市市小牧町 | 鞆羽口 |
| | 13 | 御池4号墳 | 四日市市西坂部町 | 須恵器(三足壺・蓋) |
| | 14 | 津賀2号墳 | 鈴鹿市津賀町 | 須恵器(蓋)、供献鉄滓 |
| | 15 | 柚井遺跡 | 桑名郡多度町柚井 | 墨書須恵器、墨書灰釉陶器、木簡 |
| | 16 | 天王平遺跡 | 桑名郡多度町小山 | 土馬 |
| | 31 | 多度大社 | 桑名郡多度町多度 | 神宮寺伽藍縁起并資財帳(レプリカ) |
| | 古代 | 17 | 西方廃寺 | 桑名市西方 |
| 18 | | 額田廃寺 | 桑名市額田 | 写真パネル |
| 19 | | 智積廃寺 | 四日市市智積町 | 軒丸瓦 |
| 20 | | 大雷寺廃寺 | 松阪市櫛田町 | 軒丸瓦 |
| 21 | | 志摩国分寺跡 | 志摩郡阿児町国府 | 軒丸瓦 |
| 22 | | 下江平遺跡 | 三重郡菰野町田光 | 墨書土師器(皿・椀)、墨書須恵器(杯) |
| 23 | | 西ヶ広遺跡 | 四日市市伊坂町 | 須恵器 |
| 24 | | 権現坂遺跡 | 員弁郡北勢町東村 | 刻印須恵器 |
| 25 | | 村前遺跡 | 員弁郡東員町瀬古泉 | 刻印須恵器、緑釉陶器 |

| | | | | |
|--------|----|------|----------|--|
| 中 世 | 26 | 山田城跡 | 員弁郡東員町山田 | 土師器(皿) 貿易陶磁器(交趾三彩・白磁・染付)、陶器(灰釉皿・天目茶碗) |
| | 27 | 力尾城跡 | 三重郡菰野町菰野 | 貿易陶磁器、陶器、金属製品(錠・鍔) |
| | 28 | 赤堀城跡 | 四日市市城西町 | 土師器(皿・茶釜)、木製品(下駄・開香札・漆器) |
| | 29 | 伊坂城跡 | 四日市市伊坂町 | 土師器(皿・羽釜) 貿易陶磁器(青磁・染付)、陶器(灰釉皿・鉄釉皿・天目茶碗) |
| | 30 | 桑部城跡 | 桑名市桑部 | 土師器(大皿・皿)、鉄砲玉、貿易陶磁器(朝鮮陶器・染付)、陶器(仏具・茶入・花瓶・天目茶碗) |

〔四日市JC開通記念行事協賛展示〕(平成15年3月16日)

日本道路公団が開催した第二名神四日市ジャンクション開通記念行事に協賛したテーマ展示である。第二名神道路建設に向けて、当センターが調査委託を受けて進めてきた沿線関連遺跡の緊急発掘調査で出土した遺物の中から、各遺跡の性格や地域性、あるいは話題を呼んだ資料を取りそろえて展示し、当日行事に出席した関係者に公開・紹介した。この協賛展示会には1,300名の入場者があり、好評のうちに終えた。

(2) 総合学習支援事業(出前講座・バックヤードツアー・体験発掘など)

平成3(1991)年に、創設間もない斎宮歴史博物館の普及活動のなかから、全国に先駆けて始まった「出前講座」は今や本来の趣旨を離れて全国津々浦々にまで浸透したが、最近では総合学習などの新しい学校教育活動の展開にとともない、多種多様化する教育現場のニーズに対応することが求められている。一般化した「出前講座」はむしろその一形態に過ぎなくなって来ている。われわれが力を入れて取り組んだ実績は下表のとおりである。

| 事業名 | 開催場所 | 開催期日 | 参加者(対象) | 内容 |
|-------------------|-----------------|-------|------------------|-----------------------------------|
| 出前講座 | 四日市市立 大谷台小学校 | 5/10 | 小6 94名 | 縄文～古墳の土器を用いクラス別に活動(総合学習の一環) |
| 出前講座 | 明和町立 斎宮小学校 | 5/13 | 小6 70名 | 塚山古墳を調べよう(総合学習) |
| 出前講座 | 大内山村公民館 | 5/1 | 小学生・保護者 20名 | 「土器をさがそう」土器やパネルを使った話の後、参加者全員で分布調査 |
| 出前講座 | 磯部町体育館 | 7/24 | 中1ジュニアリーダー 13名 | 土器を使って埋蔵一般と町内の文化財についての話(総合学習の一環) |
| 出前講座 | 河芸町立 黒田小学校 | 8/5 | 小学校社会教諭 12名 | 土器を教材として利用する方法を学び、総合学習に備える |
| 出前講座 | 津市教育研究所 | 8/7 | 中学校社会教諭 12名 | 土器を教材として利用する方法を学び、総合学習に備える |
| 出前講座 | 津市立 育生小学校 | 8/26 | 小学校社会教諭 15名 | 土器を教材として利用する方法を学び、総合学習に備える |
| 出前講座 | 嬉野町立 中郷小学校 | 9/30 | 小6 9名 | 町内の天白遺跡を教材にした縄文時代の衣食住(総合学習) |
| 出前講座 | 北勢町立 山郷小学校 | 10/2 | 小6 60名 | 衣食住について、火おこし体験、穂積体験。勾玉づくり(総合学習) |
| 出前講座 | 玉城町立 有田小学校 | 10/29 | 小6 38名 | 有田での土器造りについて(総合学習の一環) |
| 出前講座 | 北勢町立 山郷小学校 | 12/13 | 六年生60名 一般 20名 | 衣食住について一年間取り組んだ総合学習成果の発表と竪穴住居落成式 |
| 出前講座 | 朝日町立 町歴史博物館 | 12/14 | 一般 50名 | 中世城館とそこに住む人々(生涯学習も兼ねる) |
| 出前講座 | 中部電力三重支店 | 12/18 | 社員 12名 | 埋蔵文化財の取扱の基本的事項を受講、日頃の営業等活動に生かす |
| 出前講座 | 三重県社会科研究会 | 12/25 | 教員 10名 | 発掘から保存までを講義や土器接合等の体験を通して教師が学習 |
| 出前講座 | 県立久居高校 | 1/21 | 三年生 40名 | 特別編成授業として遺跡保護、発掘調査の重要性を認識してもらう |
| 出前講座 | 県立久居高校 | 1/28 | 三年生 40名 | 特別編成授業として遺跡保護、発掘調査の重要性を認識してもらう |
| バックヤードツアー 体験学習 | 斎宮博・埋文センター | 5/10 | 大宮中 40名 | 班別テーマの体験学習(総合学習) |
| バックヤードツアー 体験学習 | 斎宮博・埋文センター | 6/4 | 大谷台小6年 94名 | 班別テーマの体験学習(総合学習) |
| バックヤードツアー | 斎宮博・埋文センター | 6/14 | 明和町公民館郷土史講座 20名 | 施設見学と歴史・考古入門 |
| バックヤードツアー 体験学習 | 斎宮博・埋文センター | 7/12 | 帝水小6年 23名 | 班別テーマの体験学習(総合学習) |
| バックヤードツアー | 斎宮博・埋文センター | 8/8 | 個人親子 3名 | 施設見学と歴史・考古入門 |

| | | | | |
|-------------|-------------------|---------------|-------------------|--------------------------------|
| バックヤードツアー | 斎宮博・埋文センター | 8/16 | 個人親子 3名 | 施設見学と歴史・考古入門 |
| 明和いきいき体験 | 斎宮博・埋文センター | 9/4 ~ 9/10 | 明和中実習 生 12名 | 1週間センター職員と同じ仕事を体験 |
| 体験発掘 | 小津遺跡 三雲町 | 7/29 | 津市大谷町 子供会 60名 | 親子で体験するはじめての発掘調査 |
| 体験発掘 | 小谷赤坂遺跡 嬉野町天花寺 | 8/7 | 嬉野町教育 研究会 20名 | 総合学習の教材準備のため、子供に教える前に教師たちの体験実習 |
| 体験発掘 | 小津・中林中道 遺跡 三雲町 | 8/7 | 宇治山田高 歴史クラブ 7名 | 高校の課外クラブ活動 |
| 体験教室 第一回 | 埋文センター | 2/23 | 一般・親子 40名 | 古代人のアクセサリー勾玉づくりに挑戦 |
| 体験教室 第二回 | 埋文センター | 3/2 | 一般・親子 40名 | 古代人のアクセサリー勾玉づくりに挑戦 |
| 遺跡見学ウォークラリー | 金森遺跡 亀山市三寺町 | 10/28 | 昼生小学校 児童 103名 | 校区内の遺跡を知り、歴史に触れる（総合学習の一環） |
| 遺跡見学体験 | 大原堀遺跡 松阪市上川町 | 9/5 | 射和小学校 児童 46名 | 遺跡の発掘調査とは何かを体験し総合学習の一環とする |
| 遺跡見学体験 | 小谷赤坂遺跡 嬉野町天花寺 | 9/25 | 中郷小学校 児童 9名 | 遺跡の発掘調査とは何かを体験し総合学習の一環とする |
| 遺跡見学体験 | 小津・中林中道 遺跡 三雲町 | 11/12 | 津市育生小 児童 80名 | 遺跡の発掘調査とは何かを体験し総合学習の一環とする |
| 遺跡見学体験 | 小津・中林中道 遺跡 三雲町 | 11/14 | 三雲町天白 小児童 8名 | NHK放送体験クラブ参加VTR制作 |
| 遺跡見学体験 | 南浦遺跡 桑名市志知 | 11/15 | 桑名市益世 小児童 16名 | 遺跡の発掘調査とは何かを体験して総合学習教材に役立てる |
| 遺跡見学体験 | 北門遺跡 上野市三田 | 11/21 | 上野市三田 小児童 20名 | 遺跡の発掘調査とは何か、地層の成り立ちを現地で学習 |
| 総合学習支援事業 | | 小計 | 1,219名 | |

(3) 生涯学習支援事業（現地説明会・資料閲覧、貸出・刊行物・ホームページなど）

〔現地説明会・歴史教室〕

遠い祖先たちの生活の跡を目の当たりに、あるいはその現場に立って歴史に想像を馳せることの出来る数少ない場所が遺跡の発掘調査現場である。その説明会は一般の人々にとってはまたとない機会である。今年度実施した緊急発掘調査遺跡の現地説明会は下記の7遺跡で実施し、計830名の参加者が、また桑名市南浦遺跡の「歴史教室」には同じく50名の参加者があり、併せて880名となった。

| 事業名 | 開催地・遺跡名 | 開催日 | 参加者数 | 内容 |
|-----------|------------------------|-------|---------|------------------|
| 遺跡発掘現地説明会 | 丸野・中谷遺跡 松阪市豊原町 | 9/23 | 一般 230名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| 遺跡発掘現地説明会 | 天花寺城跡・小谷赤坂遺跡 嬉野町天花寺 | 10/14 | 一般 120名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| 遺跡発掘現地説明会 | 替田遺跡 津市南河路 | 10/14 | 一般 110名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| 遺跡発掘現地説明会 | 大原堀遺跡 松阪市広瀬町 | 11/3 | 一般 80名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| 遺跡発掘現地説明会 | 金森遺跡 亀山市三寺 | 11/10 | 一般 80名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| 遺跡発掘現地説明会 | 小津・中林・中道遺跡 三雲町小津ほか | 11/9 | 一般 90名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| 遺跡発掘現地説明会 | 南浦遺跡 桑名市島田～志知 | 12/21 | 一般 20名 | 調査遺跡の遺構・遺物を現地で説明 |
| ふれあい歴史教室 | 桑名市民会館 | 3/15 | 一般 50名 | 南浦遺跡の調査成果を講演、紹介 |

〔発掘資料閲覧申請応諾実績〕

個人、団体を問わず、研究もしくは展示借用等の理由で収蔵資料の実見申請に対して許可した件数は下記のとおりである。

| 資料名 | 申請者 | 目的 | 期間 | 許可日 |
|--------------------------|--------------------|------------------------|-----------|-------|
| 石薬師東遺跡出土遺物ほか 36点 | 鈴鹿市教育委員会教 育長 | 企画展関係資料の事前調査 | 5/9 | 4/24 |
| 筋違遺跡出土弥生土器 | 個人 | 弥生土器の研究 | 5/8 | 5/7 |
| 覚正垣内遺跡出土遺物ほか | 個人 | 縄文・弥生土器の調査 | 5/8 | 5/8 |
| 中ノ庄遺跡出土遺物ほか | 個人 | 弥生土器編年研究 | 6/7 | 5/13 |
| 石山古墳採集遺物ほか | 個人 | 資料調査 | 5/13 | 5/13 |
| 三重県の中世城館補遺 | 個人 | 中世城館資料調査 | 5/20 | 5/15 |
| 井田川茶臼山古墳出土遺物 ほか | 個人 | 個人研究 | 5/20 | 5/15 |
| 粥見井尻遺跡出土土偶ほか | 山梨県立考古博物館 長 | 特別展開催の事前調査 | 6/20 | 5/29 |
| 大鼻遺跡出土遺物ほか | 千葉県文化財センタ ー理事長 | 研究紀要資料収集調査・写真撮影 | 7/4, 5 | 5/29 |
| 発掘調査報告書各種 | 個人 | 論文作成 | 5/31 | 5/31 |
| 北野遺跡出土土器一式 | 美濃加茂市民ミュー ジウム館長 | 企画展の資料調査 | 6/13 | 6/13 |
| 上椎ノ木古墳他出土玉類 | 個人 | 個人研究（博士論文） | 6/27 | 6/27 |
| 井田川茶臼山古墳出土玉類 | 個人 | 個人研究（博士論文） | 7/5 | 6/27 |
| 道瀬遺跡出土遺物 | 個人 | 個人研究（卒論） | 7/23 | 7/23 |
| 天白遺跡他出土遺物 | 個人 | 個人研究 | 7/29, 30 | 7/29 |
| 辻堂古墳発掘調査報告書他 | 個人 | 個人研究（卒論） | 8/5 | 8/5 |
| 品野西遺跡調査報告書ほか | 個人 | 個人研究 | 8/30 | 8/30 |
| 東庄内A遺跡ほか出土遺物 | 個人 | 個人研究（修士論文） | 9/2～5 | 9/2 |
| 天花寺北瀬古ほか出土遺物 | 個人 | 個人研究（卒論） | 9/5, 6 | 9/5 |
| 六大A遺跡出土木製品 | 個人 | 個人研究（修士論文） | 9/10 | 9/9 |
| 権現坂遺跡他出土遺物 | 四日市市教育委員会 | 報告書作成業務にかかる資料調査 | 9/18 | 9/12 |
| 井田川茶臼山古墳出土太刀 | 個人 | 個人研究（修士論文） | 9/20 | 9/20 |
| 井田川茶臼山古墳出土馬具 | 個人 | 個人研究（卒論） | 10/9 | 10/9 |
| 高皿遺跡出土遺物 | 個人 | 個人研究 | 10/17 | 10/17 |
| 野垣内遺跡他出土遺物 | 個人 | 個人研究（卒論） | 10/21 | 10/21 |
| 安濃津遺跡ほか出土遺物 | 個人 | 個人研究 | 10/27 | 10/25 |
| 城之越遺跡現場写真 | 個人 | 個人研究 | 10/30 | 10/30 |
| 納所遺跡出土石小刀 | 個人 | 個人研究（卒論） | 11/1 | 11/1 |
| 石山古墳他出土各種鏡 | 県史編纂グループ | 県史資料編掲載写真撮影 | 11/28 | 11/11 |
| 北勢地域出土土師器 | 四日市市教育委員会 | 報告書作成にかかる資料調査 | 11/20 | 11/18 |
| 正知浦古墳群他出土須恵器 | 個人 | 個人研究（卒論） | 11/18, 19 | 11/11 |
| 位田遺跡出土基石 | 個人 | 雑誌『基ワールド』掲載取材 | 11/29 | 11/29 |
| 宮山遺跡出土石斧 | 個人 | 個人研究 | 12/5 | 12/5 |
| 蔵田遺跡他出土土師器 | 個人 | 個人研究 | 1/23 | 12/25 |
| 宮山遺跡出土ハイアロクラ スタイト剥片ほか | 個人 | 個人研究 | 12/27 | 12/27 |
| 名張市内出土遺物 | 名張市史編纂室 | 市史編纂資料調査 | 1/17～ | 1/17 |
| 北堀池遺跡出土四方転び箱 | 元興寺文化財研究所 | 復元模造品製作の予備調査 | 1/24 | 1/24 |
| 航空写真（松阪地域） | 個人 | 個人研究 | 1/29 | 1/29 |
| 堀田遺跡他出土遺物 | 個人 | 個人研究 | 2/3 | 2/3 |
| 新徳寺遺跡他出土遺物 | 愛知県埋文センター | 報告書作成の資料調査 | 2/20, 21 | 2/12 |
| 辻子遺跡他写真資料 | 朝日町教育委員会 | 遺跡情報システム構築のための資 料調査 | 2/18 | 2/17 |
| 六大A遺跡出土木製品 | 山形県埋文センター | 類例比較検討のための資料調査 | 3/12 | 2/19 |
| 納所遺跡出土木製品 | 個人 | 個人研究 | 3/7 | 3/7 |
| 小谷赤坂遺跡出土遺物一括 | 個人 | 個人研究 | 3/18 | 3/4 |
| 坂倉遺跡出土遺物 | 個人 | 個人研究 | 3/13 | 3/7 |
| 井田川茶臼山古墳出土鏡 | 県史編纂グループ | 三重県史掲載資料写真撮影 | 3/26 | 3/11 |
| 嶋拔遺跡出土遺物 | 四日市市教育委員会 | 報告書作成のための類例資料調査 | 3/27 | 3/27 |

〔発掘資料貸出、写真撮影及び掲載申請応諾実績〕

| 資料名 | 申請者 | 目的 | 期間 | 許可日 |
|--------------------------|----------|---------------|-----------|------|
| 城之越遺跡全景写真 | ㈱飛鳥企画 | 刊行物に掲載 | 4/15～5/31 | 4/12 |
| 津地域遺跡写真資料 34点 | 津市教育委員会 | 情報アーカイブシステム掲載 | 4/22～5/31 | 4/19 |
| 里前遺跡出土牡蠣写真 | 個人 | 雑誌掲載 | 4/26～7/12 | 4/25 |
| 石薬師東遺跡出土遺物ほか 写真資料 35点 | 鈴鹿市教育委員会 | 企画展示掲載資料に使用 | 7/10～9/26 | 5/16 |
| 石薬師東遺跡出土遺物 4点 | 鈴鹿市教育委員会 | 企画展示掲載資料 | 5/20～6/20 | 5/16 |
| 阿形遺跡他出土遺物写真資 料 31点 | 株式会社小学館 | 出版物への写真掲載 | 6/3～10/31 | 5/20 |

| | | | | |
|-------------------------------------|---------------|---------------------------|-----------------|-------|
| 城之越遺跡写真資料 2 点 | 大阪府立弥生文化博物館 | 特別展示図録等掲載 | 6/11～6/30 | 6/7 |
| 城之越遺跡大溝全景写真 | 株式会社大巧社 | 出版物（小学館）への掲載 | 6/7～7/6 | 6/10 |
| 三重県内埋蔵文化財包蔵地調査カード（写し） | 生活部三重県史編纂グループ | 資料編（考古）編纂のための確認基礎資料として使用 | 6/17～H17 年 3/31 | 6/12 |
| 前田町屋 1 号墳出土二重口緑壺型埴輪ほか 10 点 | 可児郷土資料館 | 市政 20 周年記念特別展図録等掲載 | 9/13～12/2 | 6/19 |
| 明気古窯跡出土須恵器ほか 20 点及び河田古墳写真等 | 多気町教育委員会 | 町郷土資料館企画展 | 6/24～9/30 | 6/21 |
| 六大 A 遺跡木器写真 145 点 | 個人 | 研究会資料 | 7/1～7/8 | 6/25 |
| 北野遺跡出土土器甕 2 点 | 美濃加茂市民ミュージアム | 企画展展示資料 | 7/9～9/13 | 6/27 |
| 粥見井尻遺跡出土土偶ほか 10 点（遺物及び写真） | 山梨県立考古博物館 | 第 20 回特別展資料 | 7/5～9/30 | 7/5 |
| 筋違遺跡・畑写真 1 点 | 朝日新聞出版局 | 週刊朝日百科日本の歴史 37 号掲載 | 9/1～12/13 | 7/9 |
| 菟上遺跡・広永 1 号墳・金塚遺跡金銅装太刀ほか写真 | 四日市市教育委員会 | 遺跡情報システム入力コンテンツ | 7/25～9/7 | 7/23 |
| 森山東遺跡全景ほか写真資料 62 点 | 津市教育委員会 | 展示解説使用 | 7/29～8/28 | 7/25 |
| 伊賀国府跡出土遺物 15 点 | 鈴鹿市教育委員会 | 特別展展示資料、冊子掲載 | 8/1～3/31 | 7/30 |
| 写真 4 点 | | | 8/15～9/13 | 8/8 |
| 石薬師東 63 号墳馬形埴輪 | 朝日新聞出版局 | 週刊朝日百科日本の歴史 27 号掲載 | 9/2～12/11 | 8/8 |
| 大古曾遺跡ナイフ形石器ほか 14 点 | 津市教育委員会 | 市センターニュース掲載資料 | 8/16～8/30 | 8/16 |
| 宮山遺跡・六大 A 遺跡ほか出土遺物写真 31 点 | 一宮市博物館 | 秋期特別展展示図録掲載 | 8/2～10/31 | 8/21 |
| 宮山遺跡・納所遺跡ほか出土遺物 30 点 | 一宮市博物館 | 秋期特別展展示資料 | 8/30～11/5 | 8/23 |
| 一般国道 1 号亀山バイパス埋蔵文化財発掘調査概要 | （財）千葉県文化財センター | 複製本製作 | 10/5～12/20 | 8/23 |
| 堀町遺跡遺物写真 7 点、報告書 3 冊 | 個人 | 朝見小学校 100 周年記念誌掲載 | 3/25～5/17 | 9/4 |
| 粥見井尻遺跡土偶写真 | （株）講談社学芸局 | 日本の歴史改訂版掲載 | 9/9～9/16 | 9/4 |
| 発掘調査作業風景等写真 | 中部建設協会 | 職員業務発表会論文掲載資料 | 11/10 | 9/12 |
| 中ノ庄遺跡ほか馬形埴輪写真 2 点 | 伊勢文化舎編集部 | 『伊勢人』2002 年 12 月号掲載 | 9/27～11/11 | 9/24 |
| 鴻ノ木遺跡、東庄内 B 遺跡出土深鉢ほか | 四日市市立博物館 | 常設展示図録再掲載 | 10/1～11/30 | 9/27 |
| おじょか古墳円筒埴輪 | 皇学館大学考古学研究会 | 大学祭展示会資料 | 10/9 | 10/8 |
| 鴻ノ木遺跡縄文土器 | 松阪市文化財センター | 広報松阪に掲載 | 10/30～11/8 | 10/15 |
| 勢武谷遺跡全景写真 | 松阪市文化財センター | 広報松阪に掲載 | 12 月号 | 10/21 |
| 北野遺跡・小牧北遺跡の土器焼成坑写真 | 亀山市教育委員会 | 広報亀山に掲載 | 12 月号 | 10/25 |
| 勢武谷遺跡写真資料 49 点 | 飯南町教育委員会 | 毎日新聞掲載資料 | 11/7～11/8 | 11/7 |
| 粥見井尻遺跡全体写真 | 阿児ライブラリー | 概報及び速報展資料 | 11/22～3/26 | 11/8 |
| 三重の古鏡写真資料 1 点 | 個人 | 史跡整備に伴う案内板製作資料 | 11/6～1/15 | 11/11 |
| 井田川茶臼山古墳鉄鍔 2 点 | 個人 | 「和鏡」展示資料 | 11/19～12/27 | 11/18 |
| 大里西沖遺跡遺構平面図、馬具実測図 | 個人 | 研究論文掲載資料 | 研究論文掲載資料 | 11/19 |
| 鴻ノ木遺跡出土石器 65 点、カラーズライド 16 点 | 個人 | 研究論文掲載資料 | 研究論文掲載資料 | 12/4 |
| 城ノ越遺跡・ヒタキ廃寺ほか写真資料 8 点 | 松阪市文化財センター | 関西縄文文化研究会展示資料 | 12/6～12/9 | 12/4 |
| 位田遺跡出土碁石写真 | 困碁ミュージアム | 資料館展示資料作成 | 12/2～1/15 | 12/5 |
| 菟上遺跡ほか石器写真など | 鈴鹿市教育委員会 | 月刊「碁ワールド」掲載 | 12/11～1/31 | 12/10 |
| 菟上遺跡・宮山遺跡ほか石器資料 185 点 | 鈴鹿市教育委員会 | 企画展「弥生時代の石器」掲載資料 | 12/12～1/20 | 12/12 |
| 中ノ庄古墳人物埴輪写真 | 伊勢文化舎編集部 | 企画展「弥生時代の石器」展示資料 | 1/7～3/7 | 12/12 |
| 粥見井尻遺跡土偶写真撮影 | エルシーアイ放送制作部 | 『伊勢人』2003 年 2 月号掲載 | 12/19～1/31 | 12/19 |
| 城之越遺跡出土弓ほか写真（弥生・古墳時代の土器・木製品など）169 件 | （株）小学館出版局 | 番組「新諏訪の歴史」放映 | 1/16 | 12/24 |
| 石薬師東古墳群 63 号墳馬形埴輪及び同写真 | 国立歴史民俗博物館 | 『考古資料大観』1・3・8 巻掲載 | 2/1～11/30 | 1/22 |
| | 四日市市立博物館 | 企画展示「埴輪、形と心」展示資料及び印刷物への掲載 | 2/24～9/19 | 1/10 |
| | | | 1/13～3/31 | |

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| ヒタキ廃寺ほか写真 6 点 小野江甚目古墳群馬形埴輪 ほか 3 点 中勢道路関連遺跡図面 7 件 雲出島貫遺跡全景写真 小野江甚目遺跡・同古墳群 全景写真ほか 26 点 堀町遺跡ほか出土遺物及び 写真 14 件 六大 B 遺跡と同開弥写真 井田川茶臼山古墳画文帯同 向式神獸鏡ほか写真 2 件 八重垣神社遺跡写真 2 点 | 松阪市文化財センター 松阪市文化財センター 三雲町史編纂会 斎宮歴史博物館 三雲町教育委員会 松阪市教育委員会 (株) 至文堂 伊勢文化舎編集部 鈴鹿市教育委員会 | 埴輪館映像ソフトに使用 特別展「三重と松阪の埴輪展」資 料 『三雲町史』第 1 巻通史編掲載 毎日新聞記事掲載 文化財パンフレットに掲載 特別展「埋もれた松阪を語る」展 示資料及び図録掲載 『日本の美術』第 443 号掲載 『伊勢人』2003 年 4 月号掲載 速報展「発掘された鈴鹿 2002」掲 載資料 博物館研究紀要 12 号に掲載 ふれあい歴史教室広報資料 『伊勢人』2003 年 4 月号再掲載 町情報システムコンテンツ掲載 特別展「埴輪一形と心」広報資料 『考古資料大観』第 7 巻掲載資料 『考古資料大観』第 8 巻掲載資料 研究会雑誌掲載資料 縄文時代研究書掲載資料 国土交通省事業の広報・展示資料 | 3/21 2/5～3/7 3/31～ 1/23～1/31 1/30～2/28 2/10～3/20 3/10～5/16 2/14～3/20 2/24～3/31 2/21～3/20 2/21～2/28 3/6～3/17 3/31 3/11～3/25 3/20～4/30 3/31～11/30 3/31～7/31 4/18～7/8 3/31～ 4/1～9/30 | 1/20 1/20 1/20 1/20 1/29 1/30 2/14 2/20 2/21 2/21 3/3 3/5 3/7 3/14 3/18 3/25 3/25 3/28 3/31 |
| 坂倉遺跡図面・写真 12 件 南浦遺跡石刀写真 中ノ庄古墳人物埴輪写真 城ノ谷・広永城・辻子遺跡 全景写真等 11 点 石薬師東 63 号墳馬形埴輪 写真 1 点 井田川茶臼山古墳飾り太刀 ほか写真 9 件 納所遺跡出土又鋳写真ほか 7 件 六大 A 遺跡木製品写真 1 件 粥見井尻遺跡土偶写真 小津遺跡出土遺物 17 件 | 斎宮歴史博物館 桑名市教育委員会 伊勢文化舎編集部 朝日町教育委員会 四日市市立博物館 (株) 小学館 (株) 小学館 個人 個人 国土交通省三重工 事事務所 | | | |

〔長期貸出・展示件数（貸出期間平成 14 年 4 月 1 日～15 年 3 月 31 日）〕

| 番号 | 資料名 | 申請書 | 目的 |
|----|--|-------------------|------------------------|
| 1 | 山王遺跡出土遺物一括 | 桑名市教育委員会 | 桑名市民へ資料公開 |
| 2 | 落川原遺跡出土石帯 1 点 | 四日市市立博物館 | 同博物館常設展示室で展示公開 |
| 3 | 丹生川上城跡出土白磁小壺等 14 点 | 朝日町歴史博物館 | 同博物館常設展示室で展示公開 |
| 4 | 起 A 遺跡出土弥生土器及び炭化米一式 | 鈴鹿市教育委員会 | 鈴鹿市稲生民俗資料館で展示公開 |
| 5 | 東庄内 A 遺跡出土土器等 41 点 | 鈴鹿市考古博物館 | 同博物館常設展示で展示公開 |
| 6 | 井田川茶臼山古墳出土遺物一括及び太 岡寺古墳群ほか出土遺物 891 件 | 亀山市歴史博物館 | 亀山市歴史博物館で収蔵・展示公開 |
| 7 | 赤坂遺跡出土土器等 8 点 | 芸濃町教育委員会 | 同町総合文化センターで展示公開 |
| 8 | 安濃津柳山遺跡全景写真 | 津市教育委員会 | 同市ホームページ上で公開 |
| 9 | 納所遺跡ほか出土遺物写真 117 件 | 津市教育委員会 | 同市地域情報センターアーカイブシステムで公開 |
| 10 | 宮出遺跡出土信楽焼壺、古銭 155 点 ほか | 地方職員共済組合三重県 支部 | 榊原保養所神湯館内で常設展示公開 |
| 11 | 多気遺跡群出土瓦・墨書土器等 20 点 | 美杉村教育委員会 | 美杉村ふるさと資料館で展示公開 |
| 12 | 鴻ノ木遺跡出土縄文土器等 3 点 | 松阪市教育委員会 | 同市文化財センターで常設展示公開 |
| 13 | 井尻遺跡・若宮遺跡出土土器等 27 点 | 勢和村ふるさと交流館 | 勢和村立資料館で常設展示公開 |
| 14 | 寺垣内遺跡出土弥生土器 5 点 | 明和町教育委員会 | 同町ふるさと会館で常設展示公開 |
| 15 | 北野遺跡出土土器 4 点 | 斎宮歴史博物館 | 同博物館常設展示室で展示公開 |
| 16 | 城之越遺跡出土土器等 15 点 | 上野市教育委員会 | 城之越遺跡 城之越学習館で展示公 開 |
| 17 | 近代古墳出土土器等 19 点 | 上野市教育委員会 | 上野市歴史民俗資料館で展示公開 |
| 18 | 浮田遺跡 B 地区出土土器等 | 上野市教育委員会 | 上野市歴史民俗資料館で展示公開 |
| 19 | 納所遺跡他出土遺物 | 三重県庁 | 一階県民ロビーで常設展示公開 |
| 20 | 中ノ庄遺跡ほか出土遺物 | 松阪地方県民局 | 一階ロビーで常設展示公開 |
| 21 | 椋本南方遺跡ほか出土遺物 | 伊賀地方県民局 | 二階ロビーで常設展示公開 |

〔出版物の刊行〕

今年度は、「発掘調査報告書」と「発掘調査概報」を併せて 16 件のほかに『平成 13 年度三重県埋蔵文化財年報』や『三重県埋蔵文化財センター研究紀要 12』、さらには「埋蔵文化財展パンフレット」、『三重県埋蔵文化財センター通信みえ』No.34、受託事業関係の調査ニュース等、計 23 件の印刷物を刊行し、県内外の関係機関等へ配布した。それらを以下に掲げると次のとおりである。

平成14年度刊行「遺跡発掘調査概報」及び「発掘調査報告書」等一覧

- 1) 三重県埋蔵文化財センター『城堀遺跡発掘調査報告』、S-No.239、2003年3月
- 2) 三重県埋蔵文化財センター『市場遺跡発掘調査報告』、S-No.240、2003年3月
- 3) 三重県埋蔵文化財センター『田面遺跡発掘調査報告』、S-No.241、2003年3月
- 4) 三重県埋蔵文化財センター『真名井神社裏包含地発掘調査報告』、S-No.241、2003年3月
- 5) 三重県埋蔵文化財センター『山添遺跡（第3次）発掘調査報告』、S-No.243、2003年3月
- 6) 三重県埋蔵文化財センター『野添遺跡発掘調査報告』、S-No.245、2003年3月
- 7) 三重県埋蔵文化財センター『六大A遺跡発掘調査報告—資料分析・遺物観察表・写真図版編—』S-No.115-16、
2003年3月
- 8) 三重県埋蔵文化財センター『宮山遺跡（第2次）・大久保城跡』、S-No.186-5、2003年3月
- 9) 三重県埋蔵文化財センター『覚正垣内遺跡発掘調査報告』、S-No.186-6、2003年3月
- 10) 三重県埋蔵文化財センター『野田塚・野田遺跡』、S-No.208-4、2003年3月
- 11) 三重県埋蔵文化財センター『発シA遺跡—第2次調査—』、S-No.208-5、2003年3月
- 12) 三重県埋蔵文化財センター『伊坂城跡発掘調査報告』、S-No.227-2、2003年3月
- 13) 三重県埋蔵文化財センター『粟生城跡』、S-No.238-1、2003年3月
- 14) 三重県埋蔵文化財センター『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XIV』、2002年4月
- 15) 三重県埋蔵文化財センター『宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報III』、2002年6月
- 16) 三重県埋蔵文化財センター『近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）埋蔵文化財発掘調査概報III』2002年4月
- 17) 三重県埋蔵文化財センター『研究紀要』第12号、2002年9月
- 18) 三重県埋蔵文化財センター『平成13年度三重県埋蔵文化財年報』、2002年8月
- 19) 三重県埋蔵文化財センター『埋蔵文化財保護の手引』、2003年3月
- 20) 三重県埋蔵文化財センター『中勢ニュース』No.40・41、『センター通信』No.34、『宮川ニュース』など。

〔ホームページの開設〕

当センターの各種事業内容や、発掘調査・現地説明会の情報、収蔵品の紹介等をインターネットを介して多くの人々に公開して、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護意識を高めてもらうために、ホームページを開設し、平成13年4月1日から運用を開始している。平成14年度中の利用アクセスは約4,800件あり、運用開始以来の利用アクセス件数は累計で7,447件に達している。今後とも、環境の変化や利用状況を勘案しながらより充実した内容を構築していきたい。

ホームページの主な内容

- センターの紹介 主に内部のこと（役割・仕事、内容・組織、発掘、整理、保存、研修）
みなさんに直接関係すること（案内地図、施設紹介、普及・公開）
- 発掘最前線（発掘情報、現地説明会、遺跡位置図）
- ご利用方法と手続き（資料の閲覧申請、資料の借用・掲載許可申請、遺跡・施設見学申請）
- 収蔵品ギャラリー
- お知らせ（現地説明会の案内、展示会等についての案内）

◆アドレス名 <http://www.museum.pref.mie.jp/maibun>

Ⅲ 埋蔵文化財保護体制の充実

1 各種会議・研修会

〔三重県埋蔵文化財専門担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県教育委員会生涯学習分野文化財保護チーム・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財専門担当者が、文化財保護・遺跡発掘状況・現場管理・専門的技術、民間委託等の問題について意見・情報交換、研修等を目的に開催するもので、平成14年度は下記4回の開催であった。

| | 開催日 | 場 所 | 内 容 |
|-----|-------------|----------|--|
| 第1回 | 平成14年4月25日 | 斎宮歴史博物館 | ・平成14年度事業予定 ・講演「埋蔵文化財保護行政における市町村合併に伴う諸問題」兵庫県篠山市立丹南公民館 山本明彦氏 ・斎宮跡歴史ロマン広場1/10史跡全体模型見学 |
| 第2回 | 平成14年7月26日 | 白山町町民会館 | ・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・「事業照会の手法」「報告書のWeb上公開」について意見交換・協議 ・白山町郷土資料館見学 ・井ノ尻浦ノ戸遺跡、中林・中道遺跡、小津遺跡の見学および一般公開 |
| 第3回 | 平成14年10月11日 | 四日市市立博物館 | ・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・「三重県埋蔵文化財展-暮らすひとびと・行き交うひとびと」・「発掘された日本列島展2002」の見学 ・「行政で行なう埋蔵文化財の調査についての標準」埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究会の報告 斎宮歴史博物館 伊藤裕偉技師 |
| 第4回 | 平成15年3月14日 | 斎宮歴史博物館 | ・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・平成14年度奈良文化財研究所研修・研究会報告 「報告書作成課程」県埋蔵文化財センター 柴山圭子主事 「遺跡地図情報課程」斎宮歴史博物館 伊藤裕偉技師 ・GISシステムの進捗と今後の課題 |

〔全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会〕

同協議会が主催する各種会議・研修会に職員を派遣し、他機関との交流や技術研修を行っている。平成13年度から副会長県を務めており、平成14年度の会議等参加・出席実績は下記ようになった。

| 名 称 | 内 容 | 期 日 | 場 所 | 出席者 |
|-------------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------------------------|----------------------|
| 平成14年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会・役員会 | 平成13年度事業報告 収支決算 その他 | 平成14年5月23・24日 | 埼玉県さいたま市 ホテルプリランテ武蔵野 ほか | 吉水康夫 新名 強 萩原義彦 |
| 平成14年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会東海・北陸ブロック会議 | 報告書作成と配布、業者選定、現場等の危機管理 その他 | 平成14年11月14・15日 | 愛知県蒲郡市 公立学校共済組合 蒲郡保養所「蒲郡荘」 | 吉水康夫 野原宏司 |
| 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第15回研修会 | 研修テーマ『環状列石の調査とその保存・活用』 | 平成14年10月24・25日 | 秋田県鹿角市 湯瀬ホテルパブリックセンター | 森川幸雄 |
| 平成14年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第二回役員会 | 平成15、16年度役員選出、総会、研修会等の計画 ほか | 平成14年11月28・29日 | 岡山県岡山市 ピュアリティまきび | 吉水康夫 水谷 豊 |

その他の事業 平成14年7月31日「文化庁への要望書提出」 : 所長(副会長) 吉水康夫
平成14年12月9日「発掘された日本列島2003」実行委員会出席 : 所長(副会長) 吉水康夫
平成15年3月10日「発掘された日本列島展」実行委員会出席 : 所長(副会長) 吉水康夫

〔文化財行政講座〕

文化庁等主催の講座等に職員を派遣し、広く文化財行政研修の一環としている。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 | 場 所 | 受講者 |
|------------------|--------------------------------|---------------|-------------------|--------------|
| 埋蔵文化財担当職員等講習会 | 現状と課題、各県の取り組み状況、合併問題と文化財保護行政 他 | 平成14年9月19・20日 | 大阪府職員会館 多目的ホール | 池本浩弥 五嶋史佳 |
| 埋蔵文化財担当職員等講習会 | 同上 | 平成15年1月16・17日 | 横浜市健康福祉総合センターホール | 森山直樹 松田珠美 |
| 平成14年度埋蔵文化財行政研究会 | 市町村と埋蔵文化財「遺跡の保存と活用」 | 平成15年2月8日 | 江戸東京博物館 | 森川常厚 |

【埋蔵文化財写真技術研究会】

当センターも組織・機関会員になっている埋蔵文化財写真技術研究協議会が主催する総会および研修会に、最新の専門技術的情報等を収集し、日常業務に反映させるために出席した。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 | 場 所 | 受講者 |
|----------------|--|-------------------|-----------------------------------|----------------------|
| 埋蔵文化財写真技術研究会総会 | 会計報告、講演会：田辺昭三「記録写真のスタンス」・玉内公一「デジタルカメラ時代の入り口で」、公開討会、その他 | 平成 14 年 7 月 5・6 日 | 奈良市二条町 奈良国立文化財研究所 平城京跡資料館講堂 | 本堂弘之 新名 強 奥野 実 |

【文化財取り扱い及び保存等研修会】

発掘資料の有効活用の際に不可欠な各種文化財資料の梱包・運搬上の基本的知識・手法のほか、各種資料の保存・保管のための環境条件等を科学的な観点から学ぶために参加した。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 | 場 所 | 受講者 |
|------------|--|------------------|------------------|------------------------------|
| 文化財取り扱い研修会 | 美術品の取り扱い心得、陶器・屏風の梱包と梱包材の制作・使い方実習など | 平成 14 年 11 月 6 日 | 松阪市 本居宣長記念館 | 山口聡司 水本龍治 |
| 文化財保存研修会 | 保存環境概論、空気汚染・照明・温湿度の制御と管理、生物被害防除について、ほか | 平成 14 年 12 月 9 日 | 四日市市 四日市市立博物館 | 船越重伸 大川 操 新名 強 角正淳子 |

【第 31 回大規模遺跡調査連絡協議会】

国史跡齋宮跡をはじめ全国の大規模遺跡をかかえる自治体の調査担当機関・担当者による合同の研修会を文化庁記念物課調査官の出席を得て毎年開催している。様々な遺跡の保存整備と現代活用の諸問題を取り上げる。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 | 場 所 | 受講者 |
|--------------------|-----------------------------|-------------------|----------------------|---------------|
| 第 31 回大規模遺跡調査連絡協議会 | 町村合併と史跡公有化、調査・整備・管理、史跡の学術調査 | 平成 14 年 11 月 22 日 | 三重県明和町 いつきの宮歴史体験館 | 吉水康夫 原田恵理子 |

【平成 14 年度古代庭園研究会】

全国各地の遺跡発掘によって、従来はよく解らなかつた古代の庭園の実体が出土例の増加に伴って徐々に明らかになりつつある。同時に、未解決の新しい課題にも注目が集まっており、城之越遺跡で我が国最古の庭園遺構を調査した当センターとしては、担当者を派遣して最新情報の検討にも加わっている。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 | 場 所 | 受講者 |
|-----------------|------------------|------------------|-----------------------|--------------|
| 平成 14 年度古代庭園研究会 | 庭園の成立と施設の使われ方 ほか | 平成 15 年 1 月 21 日 | 奈良市西大寺 奈良文化財研究所小講堂 | 大川 操 穂積裕昌 |

【その他類例調査・会議】

上記以外にも、遺物の保存や報告書作成にあたり、生産地等他府県への類例調査のほか、グローバルな視点からの国際会議へも職員を派遣して視野・見聞を拡げている。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 | 場 所 | 受講者 |
|----------|---|---------------------|----------------------------------|--------------|
| 出土遺物類例調査 | 粟生城跡、東前遺跡、川島遺跡出土の陶磁器類 25 点の生産地、生産時期を調査 | 平成 14 年 4 月 26 日 | 財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター 対応：藤沢良祐氏 | 森川常厚 中川 明 |
| 国際考古学会議 | 考古科学の総合的研究プロジェクト最終年に開催されたシンポジウム。保存科学、遺跡調査法、環境考古学、古年輪研究について、過去 5 年間の研究成果と課題が発表された。 | 平成 15 年 1 月 22・23 日 | 奈良県新公会堂 | 角正淳子 |

2 埋蔵文化財技術者養成

〔職員研修〕

職員の技術的・行政的向上を目的に、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修を随時受講させている。

| 内 容 | 期 間 | 受 講 者 |
|-------------------------|---------------------------|---------------|
| 埋蔵文化財発掘技術者専門研修『保存科学課程』 | 平成 14 年 5 月 21 日～6 月 5 日 | 川畑由紀子 柴山圭子 |
| 埋蔵文化財発掘技術者専門研修『報告書作成課程』 | 平成 15 年 1 月 15 日～1 月 24 日 | |

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和 42 年度以来、県下の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。平成 14 年度は次の 4 名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。昭和 54 年度から平成 13 年度までに 87 名が研修を終了した。

平成 14 年度研修員

五十棲孝子(四日市市立内部小学校) 小倉 整(鈴鹿市立神戸中学校) 水谷隆広(県立菟野高等学校)
野田有美(県立名張西高等学校)

平成 14 年度研修内容

| 月 | 研 修 内 容 |
|----|--|
| 4 | 研修ガイダンス、室内講義Ⅰ・Ⅱ、基本実習「遺物実測・拓本・土器復元」、遺跡研修 |
| 5 | 発掘調査実習(小津遺跡、中林・中道遺跡)、基本実習「撮影機材の扱い」 |
| 6 | 発掘調査実習(小津遺跡、金森遺跡、大原堀遺跡、替田遺跡)、基本実習「測量機材の扱い」 |
| 7 | 発掘調査実習(小津遺跡、金森遺跡、大原堀遺跡、替田遺跡)、室内講義Ⅲ |
| 8 | 発掘調査実習(金森遺跡、大原堀遺跡、替田遺跡)、室内講義Ⅲ |
| 9 | 発掘調査実習(金森遺跡、大原堀遺跡、替田遺跡)、室内講義Ⅲ |
| 10 | 発掘調査実習(金森遺跡、大原堀遺跡、替田遺跡)、室内講義Ⅲ |
| 11 | 発掘調査実習(金森遺跡、大原堀遺跡、替田遺跡、北門遺跡、南浦遺跡)、室内講義Ⅲ |
| 12 | 発掘調査実習(北門遺跡) |
| 1 | 範囲確認調査実習、遺物整理・報告書作成実習 |
| 2 | 分布調査実習、遺物整理・報告書作成実習 |
| 3 | 遺物整理・報告書作成実習、室内講義Ⅲ |

室内講義内容

| 月 日 | 内 容 | 担 当 者 |
|----------|-----------------------------|--------------|
| 4 月 1 日 | ガイダンス | 河北秀実 |
| 4 月 2 日 | 最近の発掘調査から 遺跡の発見から本調査まで | 森川常厚 筒井正明 |
| 4 月 3 日 | 埋蔵文化財の保護 | 吉水康夫 |
| 4 月 4 日 | 第一次遺物整理 第二次遺物整理 | 東敬義 |
| 4 月 5 日 | 時代概論—旧石器・縄文時代 | 河北秀実 |
| 4 月 8 日 | 時代概論—弥生時代 | 森川幸雄 |
| 4 月 9 日 | 時代概論—古墳時代 | 穂積裕昌 |
| 4 月 10 日 | 時代概論—古代 | 川畑由紀子 大川操 |
| 7 月 3 日 | 遺物各論①—「縄文土器」 | 森川幸雄 |
| 8 月 2 日 | 遺物各論②—「木製品」 | 穂積裕昌 |
| 9 月 3 日 | 遺物各論③—「古墳時代の土器」 GISと遺跡情報 | 新名強 船越重伸 |
| 10 月 2 日 | 遺物各論④—「古代の土器・陶器」 建築遺構 | 水谷豊 大川操 |
| 11 月 5 日 | 遺物各論⑤—「中世の土器・陶器」 | 竹田憲治 |
| 3 月 18 日 | 金属製品と保存科学 | 山岡奈美恵 |
| 3 月 19 日 | 遺物各論⑥—「近世の陶器」 | 本堂弘之 |
| 3 月 26 日 | 遺物各論⑦—「弥生土器」 | 原田恵理子 |

〔埋蔵文化財発掘技術市町村職員研修〕

市町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。平成14年度は次の1件1名を実施した。

| 所属・氏名 | 種別 | 内 容 | 期 間 |
|------------------|------------|-------------------------------------|-----------------|
| 中西 秀貴 (玉城町教委) | 講座Ⅱ 講座Ⅲ | 発掘調査の立案と実習、遺構実測と写真撮影実習、発掘資料の整理・保管実習 | 平成14年6月3日～9月30日 |

3 埋蔵文化財保護等に関する支援・協力

〔埋蔵文化財行政基礎講座〕

地方分権一括法が平成12年4月から施行されたことを受け、別添「実施要項」に基づき、平成12年度から市町村の埋蔵文化財保護行政の担当職員を対象として実施している。平成14年度は、5月27日と28日の両日にわたって実施し、羽曳野市生活文化情報センター館長笠井敏光氏の講演をはじめ各講座に延べ54市町村の参加を得た。

会場 齋宮歴史博物館講堂

| 月 日 | 内 容 | 講 師 |
|-------|--|--|
| 5月27日 | 講座Ⅰ「埋蔵文化財保護行政 きほんのき」 バックヤード体験ツアー（埋蔵文化財センターと齋宮歴史博物館） 講演 「考古学・埋蔵文化財・文化財・文化・ひと」 講座Ⅱ「民間調査機関と発掘調査体制」 講座Ⅲ「埋蔵文化財保護行政に係る県・市町村の役割分担と調整協議」 | 新田 洋（センター職員） 山岡奈美恵（センター職員） 笠井 敏光（羽曳野市） 森川 常厚（センター職員） 森川 幸雄（センター職員） |
| 5月28日 | 講座Ⅳ「埋蔵文化財保護に係る遺跡台帳とGIS」 講座Ⅴ「埋蔵文化財保護行政に係る諸法規と補助制度」 見学 「齋宮歴史ロマン広場の見学」 | 倉田 直純（博物館職員） 船越 重伸（センター職員） 大川 勝宏（保護チーム） |

《三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項》

1 目的

この要項は、各市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する者に対して、その事務手続きに関する講座（以下「講座」という）を開催するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

2 講座の主催者

三重県埋蔵文化財センター

3 講座の場所

三重県埋蔵文化財センター

4 講座の対象

講座の対象者（以下「受講者」という）は、市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する職員

5 講座の内容

- ・関連法令や通知、補助制度等の概要
- ・調整協議の流れと各種書類の作成
- ・遺跡台帳の整備

6 実施時期・期間

実施時期 原則的に4・5月

実施期間 2日間

7 講座に要する費用

- (1) 受講者の旅費は、受講者派遣機関において負担するものとする。
- (2) 講座に必要な資料等の経費について、受講者派遣機関に実費負担を求めることができる。

8 その他

前各項に定めるもののほか、講座の実施について必要な事項は、三重県埋蔵文化財センター所長が別途定める。

（附則）

この要項は、平成12年7月3日から実施する。

〔個別問題の市町村支援・協力〕

各市町村教育委員会からの依頼・要請に応じ、当該市町村教育委員会が直面する埋蔵文化財保護に関する各種の問題に関して、その調整会議等に参加・協力したり作業への支援を実施している。平成14年度は下記の事案等に対応した。

| 依頼者 | 内 容 | 期 日 |
|------------|----------------------------|----------------|
| 亀山市教育委員会 | 近畿自動車道関連埋蔵文化財調査に関する協力 | 平成14年4月1日～ |
| 一志町教育委員会 | 井ノ尻浦ノ戸遺跡出土遺物の取り上げに関する支援 | 平成14年4月15日 |
| 青山町教育委員会 | 川上ダム関連埋蔵文化財調査に関する協力 | 平成14年4月24日～ |
| 松阪市教育委員会 | 松阪市遺跡詳細分布調査に関する支援 | 平成14年4月26日 |
| 紀伊長島町教育委員会 | 浅間遺跡現地調査の現地調査に関する支援 | 平成14年5月2日 |
| 紀和町教育委員会 | 史跡赤木城跡発掘調査・整備に関する支援 | 平成14年5月15日 |
| 松阪市教育委員会 | 松阪市遺跡詳細分布調査に関する支援 | 平成14年5月22日 |
| 久居市教育委員会 | 上野遺跡の今後の取り扱いに関する協議出席 | 平成14年5月27日 |
| 玉城町教育委員会 | 南浦遺跡範囲確認調査に関する支援 | 平成14年5月29日 |
| 朝日町教育委員会 | 名谷遺跡の範囲確認に関する支援 | 平成14年5月30日 |
| 阿児町教育委員会 | 長尾遺跡の報告書作成に関する支援 | 平成14年6月6日～ |
| 香良洲町教育委員会 | 旧香海中学校跡地の工事立会いに関する支援 | 平成14年6月3日 |
| 松阪市教育委員会 | 松阪市遺跡詳細分布調査に関する支援 | 平成14年6月5日 |
| 飯高町教育委員会 | 県公共事業に関する遺跡分布調査に関する支援 | 平成14年6月13日 |
| 飯南町教育委員会 | 第8回粥見井尻遺跡整備審議委員会への出席 | 平成14年6月21日 |
| 久居市教育委員会 | 上野遺跡の今後の取り扱いに関する協議出席 | 平成14年6月28日 |
| 美杉村教育委員会 | 多気北畠氏遺跡小田・世古地区発掘調査に関する支援 | 平成14年7月～ |
| 松阪市教育委員会 | 第7回松阪市文化財資料館建設指導委員会への出席 | 平成14年7月1日 |
| 鈴鹿市教育委員会 | 長者屋敷遺跡・伊勢国分寺跡発掘調査指導委員会への出席 | 平成14年7月5日 |
| 久居市教育委員会 | 上野遺跡の今後の取り扱いに関する協議出席 | 平成14年7月15日 |
| 玉城町教育委員会 | 県史跡田丸城跡の整備に関する支援 | 平成14年7月30日～ |
| 二見町教育委員会 | 安養寺跡発掘調査報告書作成に関する支援 | 平成14年8月1日～ |
| 玉城町教育委員会 | 県史跡田丸城跡整備検討委員会への出席 | 平成14年8月27日 |
| 芸濃町教育委員会 | 北奥遺跡発掘調査・報告書作成に関する支援 | 平成14年8月28日～ |
| 小俣町教育委員会 | 史跡離宮院跡隣接地範囲確認調査に関する支援 | 平成14年9月11日 |
| 小俣町教育委員会 | 史跡離宮院跡隣接地発掘調査に関する支援 | 平成14年9月17日 |
| 美杉村教育委員会 | 多気北畠氏遺跡発掘調査指導委員依頼 | 平成14年9月26日 |
| 玉城町教育委員会 | 県史跡田丸城跡発掘調査への支援 | 平成14年10月1日～ |
| 松阪市教育委員会 | 第8回松阪市文化財資料館建設指導委員会への出席 | 平成14年10月28日 |
| 紀和町教育委員会 | 史跡赤木城跡整備指導委員会への事前現地指導 | 平成14年11月5日 |
| 大山田村教育委員会 | 鳳凰寺区保管遺物の取り扱いに関する支援 | 平成14年11月6日 |
| 玉城町教育委員会 | 南浦遺跡範囲確認調査に関する支援 | 平成14年11月6日 |
| 紀和町教育委員会 | 史跡赤木城跡整備指導委員会への出席 | 平成14年11月13・14日 |
| 関町教育委員会 | 新道岩陰遺跡概報作成に関する支援 | 平成14年11月13日～ |
| 玉城町教育委員会 | 県史跡田丸城跡崩落個所の修復に関する協議 | 平成14年11月14日 |
| 小俣町教育委員会 | 掛橋遺跡範囲確認調査に関する支援 | 平成14年11月19日 |
| 上野市教育委員会 | 史跡上野城跡保存整備指導委員会への出席 | 平成14年11月20日 |
| 玉城町教育委員会 | 県史跡田丸城跡の石垣測量図作成に関する支援 | 平成14年11月18日～ |
| 美杉村教育委員会 | 多気北畠氏遺跡北畠氏館跡発掘調査に関する支援 | 平成14年12月～ |
| 亀山市教育委員会 | 北山城跡・野元坂館跡発掘調査に関する支援 | 平成14年12月2日 |
| 松阪市教育委員会 | 第11回史跡宝塚古墳保存整備委員会への出席 | 平成14年12月10日 |
| 鈴鹿市教育委員会 | 天王遺跡発掘調査に関する支援 | 平成14年12月12日 |
| 鈴鹿市教育委員会 | 伊勢国分寺跡発掘調査指導委員会への出席 | 平成14年12月16日 |
| 鳥羽市教育委員会 | 今浦地内の古墳破壊に関する協議 | 平成14年12月25日 |

| | | |
|----------|-----------------------------|------------------|
| 小俣町教育委員会 | 掛橋遺跡発掘調査に関する支援 | 平成 15 年 1 月～ |
| 嬉野町教育委員会 | 天白遺跡発掘調査に関する支援 | 平成 15 年 1 月 12 日 |
| 朝日町教育委員会 | 朝日町遺跡詳細分布調査に関する遺跡の範囲確定協議 | 平成 15 年 1 月 16 日 |
| 美杉村教育委員会 | 多気北畠氏遺跡北畠氏館跡発掘調査指導委員会への事前指導 | 平成 15 年 1 月 30 日 |
| 玉城町教育委員会 | 南浦遺跡発掘調査の支援 | 平成 15 年 2 月 3 日～ |
| 美杉村教育委員会 | 多気北畠氏遺跡北畠氏館跡発掘調査指導委員会への出席 | 平成 15 年 2 月 14 日 |
| 関町教育委員会 | 新道岩陰遺跡概報作成に関する支援 | 平成 15 年 2 月 14 日 |
| 青山町教育委員会 | 県公共事業に関する遺跡分布調査の支援 | 平成 15 年 2 月 21 日 |
| 安濃町教育委員会 | 安濃町遺跡詳細分布調査に関する支援 | 平成 15 年 2 月 20 日 |
| 鈴鹿市教育委員会 | 長者屋敷遺跡（伊勢国府跡）発掘調査に関する支援 | 平成 15 年 2 月 28 日 |
| 飯南町教育委員会 | 粥見井尻遺跡整備竣工式への出席 | 平成 15 年 3 月 3 日 |
| 鈴鹿市教育委員会 | 長者屋敷遺跡（伊勢国府跡）発掘調査指導委員会への出席 | 平成 15 年 3 月 10 日 |
| 松阪市教育委員会 | 松阪市遺跡詳細分布調査に関する支援 | 平成 15 年 3 月 26 日 |
| 松阪市教育委員会 | 第 12 回史跡宝塚古墳保存整備委員会への出席 | 平成 15 年 3 月 27 日 |

【付】 平成 15 年度 文化財保護指導委員（文化財パトロール員）名簿

| 地区 | 氏名 | 専門分野 | 備考（主たる担当地域） |
|------|-------|----------|-------------------------------|
| 北勢 | 清水弘之 | 埋蔵文化財 | 北勢町・藤原町・大安町・員弁町・東員町 |
| | 渡辺尚登 | 埋蔵文化財 | 桑名市・多度町・長島町・木曾岬町 |
| | 鎌田雅生 | 埋蔵文化財 | 四日市市・菰野町・朝日町・楠町・川越町 |
| | 浅尾悟 | 埋蔵文化財 | 鈴鹿市・亀山市・関町 |
| | 川添護 | 天然記念物 | 多度町・藤原町・菰野町（北勢地区全般の天然記念物） |
| | 桐生定巳 | 天然記念物 | 四日市市・鈴鹿市 |
| | 鈴木伸治 | 天然記念物 | 亀山市・関町（ネコギキ） |
| | 嶋村明彦 | 建造物 | 北勢地区全般 |
| 中勢 | 采尺真澄 | 彫刻 | 北勢地区全般 |
| | 本堂弘之 | 埋蔵文化財 | 久居市・芸濃町・安濃町・美里村 |
| | 浅生悦生 | 埋蔵文化財 | 津市・河芸町・香良洲町 |
| | 宮田勝功 | 埋蔵文化財 | 嬉野町・一志町・白山町・美杉村 |
| | 下村純也 | 天然記念物 | 芸濃町・美里村・久居市 |
| | 東 永司 | 天然記念物 | 一志町・美杉村（中勢地区全般の天然記念物） |
| 松阪 | 大城哲也 | 建造物 | 中勢地区全般 |
| | 園田純子 | 彫刻 | 中勢地区全般 |
| | 榎本義讓 | 埋蔵文化財 | 松阪市・三雲町 |
| | 前川嘉宏 | 埋蔵文化財 | 明和町・多気町・勢和村・玉城町 |
| | 増田安生 | 埋蔵文化財 | 飯南町・飯高町 |
| | 三井弘之 | 天然記念物 | 松阪市・多気町・明和町（松阪地区全般の天然記念物） |
| | 高松隆吉 | 天然記念物 | 宮川村・飯高町 |
| 南勢志摩 | 松月久和 | 建造物 | 松阪地区全般（南勢地区兼務） |
| | 藤田直信 | 彫刻 | 松阪地区全般（南志地区兼務） |
| | 大西素行 | 埋蔵文化財 | 伊勢市・二見町・御歯村・小俣町 |
| | 村上喜雄 | 埋蔵文化財 | 鳥羽市・磯部町 |
| | 田村陽一 | 埋蔵文化財 | 阿児町・志摩町・大王町・浜島町 |
| | 奥義次 | 埋蔵文化財 | 大台町・大宮町・度会町・宮川村 |
| | 北畠充生 | 埋蔵文化財 | 南勢町・南島町・紀勢町・大内山村 |
| | 橋本清 | 天然記念物 | 伊勢市・二見町・南勢町 |
| | 坂部元宏 | 天然記念物 | 南島町・大宮町・度会町 |
| | 岡與一 | 天然記念物 | 鳥羽市・浜島町・志摩町（南志地区全般の天然記念物） |
| | 松月久和 | 建造物 | 南勢志摩地区全般（松阪地区と兼務） |
| | 藤田直信 | 彫刻 | 南勢志摩地区全般（松阪地区と兼務） |
| 上野 | 寺岡光三 | 埋蔵文化財 | 伊賀町・阿山町・大山田村 |
| | 市田進一 | 埋蔵文化財 | 上野市・島ヶ原村 |
| | 水口昌也 | 埋蔵文化財 | 名張市・青山町 |
| | 松月茂明 | 天然記念物 | （オオサンショウウオ） |
| | 杉澤学 | 天然記念物 | 上野市・名張市・伊賀町・青山町（上野地区全般の天然記念物） |
| | 滝井利彰 | 建造物 | 上野地区全般 |
| 尾鷲 | 滝川和也 | 彫刻 | 上野地区全般 |
| | 津田雄一郎 | 埋蔵文化財 | 尾鷲市・紀伊長島町・海山町 |
| | 山本和彦 | 天然記念物 | 尾鷲市・紀伊長島町・海山町 |
| | 田崎通雅 | 建造物・彫刻など | 尾鷲地区全般 |
| 熊野 | 吉田金好 | 熊野参詣路 | 大内山村・尾鷲市・紀伊長島町・海山町 |
| | 福村直人 | 埋蔵文化財 | 熊野市・御浜町・紀宝町・紀和町・鶴殿村 |
| | 林伸行 | 天然記念物 | 熊野市・御浜町・紀宝町・紀和町（熊野地区全般の天然記念物） |
| | 岩本直樹 | 建造物・彫刻など | 熊野地区全般 |
| | 花尻薫 | 熊野参詣道 | 熊野市・御浜町・紀宝町・紀和町 |

平成15年度 埋蔵文化財教職員研修実施要項

1 目的

三重県の公立学校の教職員において、埋蔵文化財の発掘調査及び保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を対象として、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施することにより、埋蔵文化財保護行政の強化に資することを目的とする。

2 主催

三重県教育委員会

3 担当

三重県埋蔵文化財センター

4 期間

平成15年4月1日～平成16年3月31日

5 場所

- ・三重県埋蔵文化財センター 多気郡明和町竹川503
- ・県内各発掘調査現場等

6 人員

原則3名（県立学校教職員1名、小中学校教職員2名）

7 参加資格

- ① 県内の公立の小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の教職員の内で、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験のある者。
- ② 健康で現場作業に従事できる者で、原則として昭和43年4月以降生まれである者。

8 研修内容

① 講義

- 総論 ・文化財の保護
 - 各論 ・文化財保護法
 - ・史跡及び埋蔵文化財保護の現状
 - ・発掘調査方法
 - 調査計画、集落・墳墓・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査
 - ・遺物調査方法
 - 実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理
 - 人骨・動植物遺体の調査
 - ・関係学概説
 - 建築構造、測量、保存科学、文献史学
 - ・報告書作成方法等
- ② 実習 ・発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習

9 講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10 その他

- ① 研修者の出張旅費は、県の旅費規定にしたがって支給する。
- ② 研修期間中は、当該学校に対して常勤講師の補充がなされる予定である。
- ③ 研修を終了した者は、修了証書を交付する。

平成15年度 埋蔵文化財教職員研修 年間計画表

三重県埋蔵文化財センター

| 内容 | 月 | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|------------------|---|---|---|---|----|----|----|---|---|--------|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 室内講義Ⅰ | — | | | | | | | | | | | |
| 室内講義Ⅱ | — | | | | | | | | | | | |
| 基本実習 | — | — | | | | | | | | | | |
| 発掘調査実習 | | | | | | | | | | | | |
| 分布調査実習 | — | | | | | | | | | | | |
| 試掘調査実習 | | | | | | | | | | | | |
| 室内講義Ⅲ | | | | | | | | | | | | |
| 報告書作成実習 | | | | | | | | | | | | |
| 研修場所 | センターほか | 県下各発掘調査現場・センターほか | | | | | | | | | | センターほか |

〔市町村職員研修実施要項〕

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修実施要項

1 目的

この要項は、各市町村において文化財保護行政を担当する者に対して、埋蔵文化財の保護実務と調査に関する知識や技術について研修（以下「研修」という）をおこなうにつき、必要な事項を定めるものとする。

2 研修の主体

三重県埋蔵文化財センター

3 研修の場所

三重県埋蔵文化財センター及び県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等

4 研修の対象

研修の対象者（以下「研修員」という）は、市町村教育委員会文化財保護行政担当職員

5 研修員の決定

(1) 市町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という）に提出するものとする。

(2) 所長は、「研修希望調書」を受けた場合、その受け入れの可否を定め、研修を希望する市町村教育長に通知するものとする。

6 研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

7 実施時期

実施時期（各講座の履修方法）は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する（別表〔受講例〕参照）。

8 修了者

所長は、研修員が全研修課程を修了したと認める時は、修了証書を交付する。

9 研修に要する費用

(1) 研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2) 所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

10 その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

(附則)

この要項は、平成12年7月3日から実施する。

(別 表)

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修 研修内容

| 講座名 | 期 間 | 研 修 内 容 |
|--------|---------|--|
| 講座 I | 1 ヶ 月 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・関連法令等の概要 ・分布調査 ・試掘調査 ・遺跡台帳の整備等 |
| 講座 II | 2 ヶ 月 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・本調査の立案と準備 ・遺構の実測や写真撮影等、本調査の現場作業 |
| 講座 III | 2 ヶ 月 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査資料の整理や保管の実習 遺構図面や写真等の整理 出土遺物の整理 遺物実測等 |
| 講座 IV | 2 ヶ 月 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成に関する実習 遺物写真撮影 遺構や遺物の図版作成 原稿執筆 レイアウト等 |

【註】

- ① 講座 I については、講座修了者と同等の知識と技術を有すると所長が認める者については省略することができる。
- ② 各講座の取得方法及び実施時期は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する。

【参 考】

受講例

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|-----|---|---|---|-----|-----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 例 1 | | | I | II | III | IV | | | | | | | | | | | |
| 例 2 | | I | | III | | | II | | | | | | | | IV | | |

(別紙様式)

〇〇〇第〇〇〇号

平成〇年〇月〇日

三重県埋蔵文化財センター所長 様

〇〇市町村教育委員会教育長

印

研 修 希 望 調 書

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修を次のとおり希望します。

| | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-------------------|----|-----|
| 希 望 す る 講 座 名 | | | | |
| 研 修 希 望 期 間 | | 年 月 日 から 年 月 日 まで | | |
| 研 修 希 望 職 員 | ふ り が な 職 氏 名 | | 性別 | 男・女 |
| | 生年月日(年齢) | (歳) | | |
| | 現 職 年 数 | 年 (年 月 以来) | | |
| | 最 終 学 歴 | 学校名 (学部 学科) | | |
| | 発 掘 調 査 経 験 (参 加 遺 跡) | (有 無) | | |
| そ の 他 希 望 事 項 | | | | |

IV 平成14年度発掘調査

1 発掘調査一覧

〔全県下の発掘調査〕

| 調査機関 | 本調査 | | | 試掘調査 | | | 工事立会 | | | 総調査面積 (㎡) | |
|------|-----------|----|----------|----------|-----|----------|----------|----|----------|-----------|-----------|
| | 遺跡数 | 件数 | 調査面積 (㎡) | 遺跡数 | 件数 | 調査面積 (㎡) | 遺跡数 | 件数 | 調査面積 (㎡) | | |
| 県 | 埋蔵文化財センター | 25 | 24 | 39,096 | 49 | 44 | 5,091.0 | 9 | 12 | 1,877.0 | 44,187.0 |
| | 斎宮歴史博物館 | 1 | 23 | 2,007 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 2,007.0 |
| | 市町村教育委員会 | 32 | 43 | 55,624.7 | 77 | 89 | 6,110.0 | 55 | 76 | 20,756.0 | 61,734.7 |
| 全県計 | | 58 | 90 | 96,727.7 | 126 | 133 | 11,201.0 | 64 | 88 | 22,633.0 | 107,928.7 |

〔県埋蔵文化財センター担当の発掘調査〕

| 事業名 | 件数 | | | 調査面積 (㎡) | |
|----------|------------------------|------|------|----------|--------|
| | 本調査 | 試掘調査 | 工事立会 | | |
| 県事業関係 | 農林水産商工部関係 | 9 | 17 | 0 | 13,836 |
| | 県土整備部関係 | 11 | 21 | 7 | 20,568 |
| | その他 | 0 | 3 | 4 | 1,412 |
| 国・公団事業関係 | 近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業 | 1 | 0 | 1 | 534 |
| | 一般国道23号中勢道路建設事業 | 3 | 1 | 0 | 9,644 |
| | 国営宮川用水第2期土地改良事業 | 0 | 2 | 0 | 70 |
| 計 | | 24 | 44 | 12 | 46,064 |

〔県埋蔵文化財センター担当の本調査〕

(※は国・県補助事業)

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 費用負担 | 調査面積 (㎡) |
|-----|-----------------------|----------------|--------------------------------|------------------------|--------------------|
| 1 | 南浦遺跡 | 桑名市志知 | (主)桑名大安線 国補道路改築事業 | 県土整備部 | 2,772 |
| 2 | 東海道想定地 | 四日市市伊坂町 | 近畿自動車道名古屋神戸線 (第二名神)建設事業 | 日本道路公団中部支社 | 489 |
| 3 | 八重垣神社遺跡(第3次) | 鈴鹿市十宮町 | 県営かんがい排水事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 554 |
| 4 | 金森遺跡(第2次) | 亀山市三寺町 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 1,084 |
| 5 | 岩瀬遺跡 | 亀山市三寺町 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 698 |
| 6 | 嶋ノ前遺跡 | 亀山市三寺町 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 1,032 |
| 7 | 岩瀬地蔵古墳 | 亀山市三寺町 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 524 |
| 8 | 替田遺跡(第6次) | 津市野田 | 国道163号国補特殊道路改良事 業・県営ほ場整備事業 | 県土整備部・農林水産商工部 ・県教委※ | 2,858 |
| 9 | 立花堂遺跡 | 津市野田 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 299 |
| 10 | 里前遺跡(第3次) | 津市野田 | 安濃川(三泗川)基幹河川改修事 業 | 県土整備部 | 937 |
| 11 | 里前遺跡(第4次) | 津市町浜垣内 | 二級河川安濃川(三泗川工区)住 宅関連公共施設整備事業 | 県土整備部 | 260 |
| 12 | 天花寺城跡・小谷赤坂遺跡(第8 次) | 一志郡嬉野町 | (主)松阪一志線緊急地方道整備 事業 | 県土整備部 | 5,228 |
| 13 | 庄屋田遺跡 | 一志郡美杉村 | 主要地方道久居美杉線(須渕B.P) 道路改良工事 | 県土整備部 | 665 |
| 14 | 小津遺跡 C地区 | 一志郡美杉村 | 一般国道23号中勢道路建設事業 | 国土交通省中部整備局 | 3,780 |
| 15 | 中林・中道遺跡 | 一志郡三雲町 | 一般国道23号中勢道路建設事業 | 国土交通省中部整備局 | A:2,110 D:3,130 |
| 16 | 柏木遺跡 | 一志郡嬉野町 | 一般国道23号中勢道路建設事業 | 国土交通省中部整備局 | 540 |
| 17 | 丸野遺跡 | 松阪市上川町 ～豊原町 | (一)松阪環状線緊急地方道路整 備事業 | 県土整備部 | 1,853 |
| 18 | 中谷遺跡 | 松阪市豊原町 | (一)松阪環状線緊急地方道路整 備事業 | 県土整備部 | 1,506 |
| 19 | 大原堀遺跡(第2次) | 松阪市広瀬町 | 中山間事業(茅広江地区)広瀬工 区下茅原ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 3,823 |
| 20 | 魚見里前遺跡 | 松阪市魚見町 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部・県教委※ | 662 |
| 21 | 北門遺跡 | 上野市大谷 | 国道422号(三田坂B.P)国補道路 改築事業 | 県土整備部 | 736 |
| 22 | 宮ノ前遺跡 | 上野市荒木 | 服部川単河川局部改良事業 | 県土整備部 | 1,110 |
| 23 | 寺前遺跡 | 上野市荒木 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部 | 2,194 |
| 24 | 六地藏B遺跡 | 名賀郡青山町 | (主)伊賀青山線緊急地方道整備 事業 | 県土整備部 | 252 |

〔齋宮歴史博物館担当の本調査〕

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 費用負担 | 調査面積 (㎡) |
|-----|------------------|--------|-----------|----------|-------------|
| 25 | 齋宮跡第136次調査 | 多気郡明和町 | 学術調査 | 三重県※ | 460 |
| 26 | 齋宮跡第137次調査 | 多気郡明和町 | 学術調査 | 三重県※ | 700 |
| 27 | 史跡齋宮跡(第139次計画調査) | 多気郡明和町 | 学術調査 | 三重県※ | 92 |
| 28 | 齋宮跡第138-1次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 9 |
| 29 | 齋宮跡第138-2次調査 | 多気郡明和町 | 個人住宅新築 | 三重県・明和町※ | 74 |
| 30 | 齋宮跡第138-3次調査 | 多気郡明和町 | 住宅新築 | 三重県・明和町※ | 4.5 |
| 31 | 齋宮跡第138-4次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 2.5 |
| 32 | 齋宮跡第138-5次調査 | 多気郡明和町 | 仮集会所建設 | 三重県・明和町※ | 125.3 |
| 33 | 齋宮跡第138-6次調査 | 多気郡明和町 | 水道管改修 | 三重県・明和町※ | 360 |
| 34 | 齋宮跡第138-7次調査 | 多気郡明和町 | 支線設置 | 三重県・明和町※ | 1.5 |
| 35 | 齋宮跡第138-8次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 5.1 |
| 36 | 齋宮跡第138-9次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 7 |
| 37 | 齋宮跡第138-10次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 3.4 |
| 38 | 齋宮跡第138-11次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 3.9 |
| 39 | 齋宮跡第138-12次調査 | 多気郡明和町 | 水道管新設 | 明和町 | 0.8 |
| 40 | 齋宮跡第138-13次調査 | 多気郡明和町 | 齋宮小学校改修工事 | 明和町 | 11 |
| 41 | 齋宮跡第138-14次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 明和町 | 22 |
| 42 | 齋宮跡第138-15次調査 | 多気郡明和町 | 住宅建築 | 三重県・明和町※ | 50 |
| 43 | 齋宮跡第138-16次調査 | 多気郡明和町 | 浄化槽設置 | 三重県・明和町※ | 4 |
| 44 | 齋宮跡第138-17次調査 | 多気郡明和町 | 住宅建設 | 三重県・明和町※ | 6 |
| 45 | 齋宮跡第138-18次調査 | 多気郡明和町 | 住宅建設 | 三重県・明和町※ | 55 |
| 46 | 齋宮跡第138-19次調査 | 多気郡明和町 | 住宅増築 | 三重県・明和町※ | 4.5 |
| 47 | 齋宮跡第138-20次調査 | 多気郡明和町 | 基準点測量杭設置 | 三重県※ | 1.8 |
| 48 | 齋宮跡第138-21次調査 | 多気郡明和町 | 住宅建設 | 三重県・明和町※ | 3.7 |

〔市町村担当の本調査〕

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 費用負担 | 調査面積 (㎡) |
|-----|--------------------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------------------|-------------|
| 49 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市吉之丸 | 総合管理所電線管工事 | 事業者 | 約6 |
| 50 | ハサマ遺跡 | 桑名市森忠・芳ヶ崎 | 宅地造成 | 事業者 | 1,800 |
| 51 | 寺跡遺跡 | 桑名市大福 | 下水道工事 | 桑名市 | 183.2 |
| 52 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市外掘 | マンション建設 | 事業者 | 284 |
| 53 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市三之丸 | 個人住宅 | 桑名市教育委員会 | 68.5 |
| 54 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市柳原 | 住宅建て替え | 桑名市教育委員会 | 72 |
| 55 | 宇賀遺跡 | 桑名市蓮花寺 | 下水道工事 | 桑名市 | 890 |
| 56 | 久留部遺跡(第3次) | 四日市市大矢知町 | 一般国道1号北勢バイパス建設 | 国土交通省 | 12,600 |
| 57 | 伊勢国分寺跡(第28次) | 鈴鹿市国分町 | 学術調査(史跡整備) | 鈴鹿市※ | 1,891 |
| 58 | 伊勢国府跡(第15次) | 鈴鹿市広瀬町 ・西富田町 | 学術調査 | 鈴鹿市※ | 1,184 |
| 59 | 伊勢国府跡(第16次) | 鈴鹿市広瀬町 ・西富田町 | 範囲確認 | 三重県 | 1,500 |
| 60 | 伊勢国府跡(第17次) | 鈴鹿市広瀬町 | 農業関連・天地返し | 鈴鹿市※ | 4,640 |
| 61 | 須賀遺跡(第3次) | 鈴鹿市須賀 | 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 陽光会 | 60 |
| 62 | 天王遺跡(第9次) | 鈴鹿市岸岡町 | 病院施設建設 | 三重県厚生連農業協同連合組合、 鹿島、日本土木建設工事共同企業体 | 546 |
| 63 | 天王遺跡(第10次) | 鈴鹿市岸岡町 | 病院施設建設 | 三重県厚生連農業協同連合組合、 鹿島、日本土木建設工事共同企業体 | 1,700 |
| 64 | 北山城跡(旧称)城館推定地A | 亀山市太森町 | 近畿自動車道名古屋神戸線 (第二名神)建設事業 | 日本道路公団中部支社 | 2,250 |
| 65 | 野元坂遺跡(第2次) | 亀山市辺法寺町 | 近畿自動車道名古屋神戸線 (第二名神)建設事業 | 日本道路公団中部支社 | 285 |
| 66 | 宮の前1号墳・宮の前遺跡 | 亀山市木下町 | 近畿自動車道名古屋関線 (東名阪)亀山直結線建設事業 | 日本道路公団中部支社 | 524 |
| 67 | 於登志古墳・於登志遺跡 | 亀山市山下町 | 近畿自動車道名古屋関線 (東名阪)亀山直結線建設事業 | 日本道路公団中部支社 | 2,600 |
| 68 | 勢武谷遺跡(第2次) | 亀山市木下町 | 近畿自動車道名古屋関線 (東名阪)亀山直結線建設事業 | 日本道路公団中部支社 | 2,350 |
| 69 | 小野城跡(第3次) | 亀山市小野町 | 市道小野1号改良事業 | 亀山市 | 850 |
| 70 | 亀山城跡 | 亀山市東丸町 | 県道駅前高塚線道路改良事業 | 県土整備部 | 73 |
| 71 | 北奥遺跡 | 安芸郡芸濃町 | 津芸濃大山田線道路整備事業 | 県土整備部 | 1,000 |
| 72 | 井ノ尻・浦ノ戸遺跡 | 一志郡一志町 | 川合小学校造成 | 一志町 | 約2,700 |
| 73 | 天白遺跡 | 一志郡嬉野町 | 史跡範囲確認調査 | 嬉野町※ | 420 |
| 74 | 大角遺跡隣接地 | 一志郡白山町 | 詳細分布調査のための学術調査 | 白山町※ | 約280 |
| 75 | 多気北畠氏遺跡 (北畠氏館跡第10次調査) | 一志郡美杉村 | 学術調査 | 国・三重県・美杉村※ | 560 |
| 76 | 多気北畠氏遺跡 (小田地区)第4次調査 | 一志郡美杉村 | 村営防火水槽設置事業 | 美杉村 | 70 |
| 77 | 多気北畠氏遺跡 (小田地区)第2・3次調査 | 一志郡美杉村 | 村道西向院世古横線橋脚建設事業 | 美杉村 | 1,260 |
| 78 | 多気北畠氏遺跡 (世古区)第1次調査 | 一志郡美杉村 | 村道西向院世古横線橋脚建設事業 | 美杉村 | 1,323 |
| 79 | 多気北畠氏遺跡 (六田区)第1次調査 | 一志郡美杉村 | 村道西向院世古横線橋脚建設事業 | 美杉村 | 81 |
| 80 | 宝塚2号墳 | 松阪市宝塚町 | 史跡整備 | 国・三重県・松阪市※ | 108 |
| 81 | 松阪城跡 | 松阪市殿町 | 松阪城石垣修復工事 | 松阪市 | 210 |
| 82 | 田丸城跡 | 度会郡玉城町 | 田丸城跡遊歩道整備 | 玉城町 | 530 |
| 83 | 南浦遺跡 | 度会郡玉城町 | 田丸駅前ロータリーの建設 | 玉城町 | 480 |
| 84 | 十王下遺跡 | 上野市長田 | 小学校プール改築工事 | 上野市 | 400 |
| 85 | 国史跡上野城跡(第8次) | 上野市丸之内 | 保存整備のための学術調査 | 上野市※ | 約700 |
| 86 | 百田氏館跡 | 上野市長田 | 道路改良工事 | 上野市 | 約110 |
| 87 | 上野城下町遺跡 (入交家 土蔵部分) | 上野市長生町 | 三重県指定有形文化財入交家 住宅保存修理事業 | 上野市※ | 36 |
| 88 | 川上宮垣内遺跡 | 名賀郡青山町川上 | 川上ダム建設事業 | 水資源開発公団川上ダム建設所 | 3,100 |
| 89 | 川上中縄手遺跡B地区 | 名賀郡青山町川上 | 川上ダム建設事業 | 水資源開発公団川上ダム建設所 | 4,600 |
| 90 | 川上中縄手遺跡H地区 | 名賀郡青山町川上 | 川上ダム建設事業 | 水資源開発公団川上ダム建設所 | 1,000 |
| 91 | 史跡 赤木城跡及び 田平子峠刑場跡 | 南牟婁郡紀和町 | 石垣等の保存修理 | 国・三重県・紀和町※ | 300 |

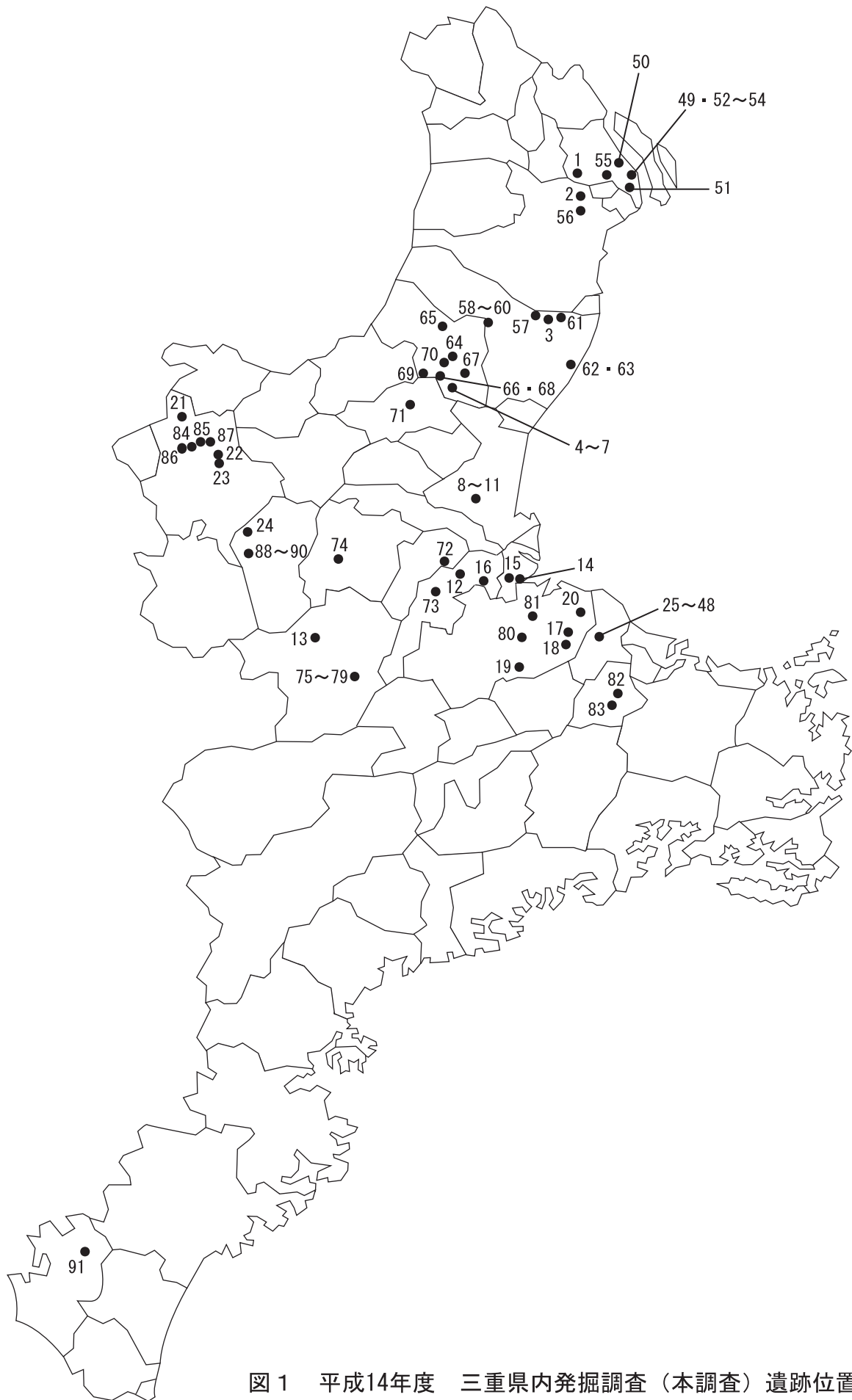


图1 平成14年度 三重県内発掘調査（本調査）遺跡位置図

2 発掘調査の概要

県(三重県埋蔵文化財センター)担当分 本調査

※は、国・県費補助事業

| | | | | | |
|------|--|-----|--------------|------|-----------------------|
| No. | 1 | 遺跡名 | 南浦遺跡 | 台帳番号 | 205-59 |
| 所在地 | 桑名市大字志知字南浦(調査区は字十王堂) | | | 事業主体 | 道路整備チーム |
| 調査原因 | 平成14年度(主)桑名大安線国補道路改築事業 | | | 費用負担 | 県土整備部 |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | | 担当者 | 服部芳人 |
| 調査期間 | H14. 7. 29~H15. 2. 28 | | | 調査面積 | 延べ2,772㎡(下層縄文700㎡含む) |
| 調査概要 | 当遺跡は、員弁川中下流の南岸、沖積地に位置する。戦国時代(16世紀前半)の区画溝で囲まれた屋敷地を2区画確認した。1区画には、方形土坑数基、もう1区画には井戸数基と、性格の異なる屋敷地がある。周辺には、ほ場整備以前に条里制の痕跡があり、鎌倉時代(13世紀後半)の溝などはその方向がほぼ一致することから、その頃から条里を利用した集落が形成され始めたものと思われる。また、調査区の一部の下層には、縄文時代晩期の土器棺・集石も確認された。 | | | | |
| 主な遺構 | 区画溝(16世紀前半)・大溝・方形土坑・柱穴(隅丸方形堀形・円形)・中世墓・井戸(石組み・曲物あり)・縄文晩期土器棺10基程度・若干の集石 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文(晩期)土器・石刀・石鏃・石錐・すり石・土師器(ロクロ土師器含む)・須恵器・円面硯・布目平瓦・知多式製塩土器・土錘・灰釉陶器・山茶碗(墨書)・青磁・白磁・天目茶碗(底部に墨書)・ふいご羽口・木製品(笹塔婆・下駄・曲物・漆碗など)・動物(牛[加工した痕跡]・亀)の骨・貝(ハマグリ・アカニシ・カキなど) | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 2 | 遺跡名 | 東海道想定地 | 台帳番号 | 202-未登録 |
| 所在地 | 四日市市伊坂町字重地 | | | 事業主体 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査原因 | 近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)愛知県境~四日市JCT建設事業 | | | 費用負担 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | | 担当者 | 松田珠美 水本龍治 |
| 調査期間 | H14. 9. 6~H14. 10. 18 | | | 調査面積 | 489㎡ |
| 調査概要 | 遺構として、2条の溝を検出した。前年度範囲確認調査で検出した溝は、調査区途中で削平を受け、延長を確認することができなかったため、道路側溝であるとの確証は得られなかった。但し、出土遺物から溝の年代は飛鳥から奈良時代と考えられる。また、山茶碗などが出土したもう一方の溝は、伊坂城跡の城道と関連するものと考えられる。なお、遺跡名を「重地遺跡」に変更予定。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器・山茶碗 | | | | |
| 関連文献 | 『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神) 愛知県境~四日市JCT 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』三重県埋蔵文化財センター2000.3 『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神) 愛知県境~四日市JCT 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅴ』三重県埋蔵文化財センター2002.3 | | | | |
| No. | 3 | 遺跡名 | 八重垣神社遺跡(第3次) | 台帳番号 | 207-1174 |
| 所在地 | 鈴鹿市十宮町字宮ノ前 | | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム |
| 調査原因 | 平成14年度県営かんがい排水事業(鈴鹿川沿岸地区) | | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | | 担当者 | 辻本泰宏 豊田祥三 |
| 調査期間 | H14. 10. 21~H14. 12. 2 | | | 調査面積 | 554㎡ |
| 調査概要 | 八重垣神社遺跡は鈴鹿川右岸の沖積平野に位置する。今回の調査では古墳時代前期の竪穴住居・溝などを確認した。出土した遺物は小片が大半で、形態の窺い知れるものは極めて少ないが、古墳時代前期のものが中心である。今回の調査を含めこれまでの調査により、鈴鹿川流域の古墳時代前期における一集落の様相が判明したことは重要であり、その意義は大きい。 | | | | |
| 主な遺構 | 竪穴住居・溝・旧河道・ピット・土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 古墳時代土師器(高杯・壺など)、山茶碗 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 4 | 遺跡名 | 金森遺跡(第2次) | 台帳番号 | 210-184 |
| 所在地 | 亀山市三寺町 | | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム |
| 調査原因 | 県営ほ場整備事業 | | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ |
| 調査機関 | 三重県教育委員会 | | | 担当者 | 萩原義彦 瀬野弥知世 五十棲孝子 水谷隆広 |
| 調査期間 | H14. 7. 10~H14. 12. 9(岩瀬遺跡・岩瀬古墳・岩瀬地蔵古墳・(仮)金森西遺跡を含む) | | | 調査面積 | 1,084㎡ |
| 調査概要 | 金森遺跡は、中ノ川右岸の段丘上に立地している。調査はA・B地区にあたる。A地区は、掘立柱建物・溝・土坑・井戸を検出した。B地区は、柱穴及び溝・土坑を検出した。調査によって判明した遺構は、ほとんどが中世である。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物・溝・土坑・井戸 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文土器(深鉢)・陶器碗(山茶碗)・皿(山皿)・片口鉢・土師器鍋・小刀 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|-----------|--|---------|
| No. | 5 | 遺跡名 | 岩瀬遺跡 | 台帳番号 | 210-130 |
| 所在地 | 亀山市三寺町 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 県営ほ場整備事業 | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県教育委員会 | | 担当者 | 萩原義彦 瀬野弥知世 五十棲孝子 水谷隆広 | |
| 調査期間 | H14. 7. 10～H14. 12. 9(金森遺跡・岩瀬古墳・岩瀬地藏古墳・ (仮)金森西遺跡を含む) | | 調査面積 | 698㎡ | |
| 調査概要 | 岩瀬遺跡も中ノ川右岸の段丘上に立地している。岩瀬遺跡は、C・D・G地区にあたる。C地区は、当初「岩瀬古墳」として調査したが古墳の痕跡を確認できなかった。柱穴及び溝・谷地形を確認した。D地区では、掘立柱建物・溝・井戸を検出した。G地区は、掘立柱建物・溝・土坑・井戸を検出した。調査によって判明した遺構は、ほとんどが中世である。 | | | | |
| 主な遺構 | 柱穴・溝・土坑・井戸 | | | | |
| 主な遺物 | 石鏃、陶器碗(山茶碗)・皿(山皿)、土師器鍋・羽釜・皿、曲物底板 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 6 | 遺跡名 | 嶋ノ前遺跡 | 台帳番号 | 210-未登録 |
| 所在地 | 亀山市三寺町 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 県営ほ場整備事業 | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県教育委員会 | | 担当者 | 萩原義彦 瀬野弥知世 五十棲孝子 水谷隆広 | |
| 調査期間 | H14. 7. 10～H14. 12. 9(金森遺跡・岩瀬遺跡・岩瀬古墳・岩瀬 地藏古墳を含む) | | 調査面積 | 1,032㎡ | |
| 調査概要 | 現地調査段階では「金森西遺跡」と仮称。当遺跡も中ノ川右岸の段丘上に立地している。嶋ノ前遺跡は、E地区にあたる。E地区は、掘立柱建物・溝・土坑を検出した。調査によって判明した遺構は、ほとんどが中世である。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物・溝・土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 陶器碗(山茶碗)・皿(山皿) | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 7 | 遺跡名 | 岩瀬地藏古墳 | 台帳番号 | 210-186 |
| 所在地 | 亀山市三寺町 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 県営ほ場整備事業 | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県教育委員会 | | 担当者 | 萩原義彦 瀬野弥知世 五十棲孝子 水谷隆広 | |
| 調査期間 | H14. 7. 10～H14. 12. 9(岩瀬遺跡・岩瀬古墳・金森遺跡・(仮) 金森西遺跡を含む) | | 調査面積 | 524㎡ | |
| 調査概要 | 岩瀬地藏古墳も中ノ川右岸の段丘上に立地している。岩瀬地藏古墳は、F地区にあたる。F地区では、掘立柱建物・溝・土坑を検出した。当初から古墳として想定されたものの、調査によって判明したかぎりの遺構は、中世以降である。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物・溝・土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 陶器碗(山茶碗)・皿(山皿) | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 8 | 遺跡名 | 替田遺跡(第6次) | 台帳番号 | 201-759 |
| 所在地 | 三重県津市野田 | | 事業主体 | 道路整備チーム・農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 国道163号国補特殊道路改良事業・県営ほ場整備事業(津中部地区) | | 費用負担 | 県土整備部・農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 筒井正明 黒田聖也 野田有美 豊田祥三 | |
| 調査期間 | H14. 7. 1～H14. 11. 28 | | 調査面積 | 合計2,858㎡(内、下層497㎡) 内、農林1,258㎡(下層234㎡)、土木1,600㎡(下層263㎡) | |
| 調査概要 | 弥生時代中期前半、奈良～平安期、鎌倉期、室町期の各時代の遺構・遺物を確認した。弥生～平安期の遺構・遺物は丘陵部分の比較的安定した地区を中心に確認した。これに対し、鎌倉以降の遺構・遺物は、土層観察から、かつての窪地や沼地部分に、氾濫等で埋土が堆積した部分で確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | (弥生時代中期)堅穴住居6棟、土坑30基 (奈良時代)掘立柱建物2棟 (中世)掘立柱建物30棟以上、土坑、溝等 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器(主にⅡ様式)、奈良時代土師器杯・皿、須恵器甕、山茶碗、山皿、中世土師器鍋 など | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|-------------------|---------------------|----------------------|
| No. | 9 | 遺跡名 | 立花堂遺跡 | 台帳番号 | 201-未登録 |
| 所在地 | 三重県津市野田 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 県営ほ場整備事業(津中部地区) | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 筒井正明 黒田聖也 野田有美 豊田祥三 | |
| 調査期間 | H14. 7. 1~H14. 11. 28 | | 調査面積 | 299㎡ | |
| 調査概要 | 調査部分は大部分が自然流路跡で、その堆積土からは主に中世の遺物が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝、土坑等 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗・中世土師器・陶器等 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 10 | 遺跡名 | 里前遺跡(第3次) | 台帳番号 | 201-761 |
| 所在地 | 三重県津市野田 | | 事業主体 | 河川チーム | |
| 調査原因 | 平成14年度安濃川(三泗川)基幹河川改修事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 筒井正明 豊田祥三 野田有美 | |
| 調査期間 | H14. 8. 19~H14. 10. 22 | | 調査面積 | 937㎡ | |
| 調査概要 | 岩田川へ合流する三泗川の左岸に位置する。調査区の北半分は三泗川の落ち込みで、近世に農地にするため盛土がなされたことが確認された。また、南半分は、溝・落ち込み・井戸を検出し、井戸は鎌倉時代のもので、曲物が良好な状態で出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 井戸・溝・落ち込み・土坑・ピット | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗・山皿・土師器鍋・羽釜・碗など | | | | |
| 関連文献 | 『一般国道23号中勢道路(10工区)建設事業に伴う里前遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター2002 | | | | |
| No. | 11 | 遺跡名 | 里前遺跡(第4次) | 台帳番号 | 201-761 |
| 所在地 | 津市町浜垣内 | | 事業主体 | 河川チーム | |
| 調査原因 | 二級河川安濃川(三泗川工区)住宅関連公共施設整備(広域基幹)事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 大川操 | |
| 調査期間 | H15. 2. 3~H15. 2. 7・17 | | 調査面積 | 260㎡ | |
| 調査概要 | 里前遺跡の北端部にあたり、旧河川跡が検出された。 | | | | |
| 主な遺構 | 旧河川跡 | | | | |
| 主な遺物 | | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 12 | 遺跡名 | 天花寺城跡・小谷赤坂遺跡(第8次) | 台帳番号 | 405-90, 94, 391, 未登録 |
| 所在地 | 一志郡嬉野町天花寺字小谷・赤坂 | | 事業主体 | 道路整備チーム | |
| 調査原因 | (主)松阪一志線緊急地方道路整備事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 柴山圭子 奥野実 | |
| 調査期間 | H14. 7. 8~H14. 12. 16 | | 調査面積 | 5,228㎡ | |
| 調査概要 | 中村川左岸の丘陵上に立地する。今回で8次目の調査である。弥生時代後期の堅穴住居・環濠2条を検出し、当該時期の集落の広がりを確認した。また、縄文時代晩期の土器棺墓や新発見の古墳2基・天花寺城に関わる土塁と堀を確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | 天花寺城跡・小谷赤坂遺跡:縄文時代晩期の土器棺墓、弥生時代前期の堅穴住居1棟、弥生時代後期の堅穴住居10棟と環濠2条、中世の土塁と堀切 小谷古墳群:[小谷28号墳]埋葬施設1基を検出。[小谷29号墳]周溝を検出。 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文土器深鉢・弥生土器壺・甕・高杯・須恵器杯・杯蓋・軒丸瓦・平瓦・土馬・円筒埴輪・朝顔形埴輪・蓋形埴輪・鉄刀・鉄鏃 | | | | |
| 関連文献 | 『天花寺山』一志町・嬉野町遺跡調査会1991 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1996 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター1997 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅳ』三重県埋蔵文化財センター2000 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅲ-2』三重県埋蔵文化財センター2002 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|----------|-----------------------|---------|
| No. | 13 | 遺跡名 | 庄屋田遺跡 | 台帳番号 | 406-56 |
| 所在地 | 一志郡美杉村八知字庄屋田 | | 事業主体 | 道路整備チーム | |
| 調査原因 | 平成14年度主要地方道久居美杉線道路改良工事(須渕BP) | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 辻本泰宏 小林俊之 | |
| 調査期間 | H14. 6. 25~H14. 8. 1 | | 調査面積 | 665㎡ | |
| 調査概要 | 雲出川左岸の河岸段丘上に立地する。古墳時代中期の土坑4基・中世と思われる柱穴等多数を確認した。今回の調査では遺物が大量に出土したわけではない。しかし、八知ではあまり知られていなかった古墳時代の遺構が確認できた。また、縄文土器と弥生土器が出土したことから、当該期の遺構が存在する可能性もある。中世については山茶碗に比べ瓦器の出土の割合が高く、それらの分布に関する資料になったことも意義が大きい。 | | | | |
| 主な遺構 | 古墳時代:土坑4基、中世:柱穴等多数 | | | | |
| 主な遺物 | 石鏃、縄文土器、弥生土器、古墳時代:土師器・須恵器、中世:土師器・山茶碗・瓦器 | | | | |
| 関連文献 | 『美杉村遺跡分布地図』美杉村教育委員会1996 | | | | |
| No. | 14 | 遺跡名 | 小津遺跡 C地区 | 台帳番号 | 407-21 |
| 所在地 | 一志郡三雲町小津 | | 事業主体 | 国土交通省中部整備局 | |
| 調査原因 | 平成14年度一般国道23号中勢道路建設事業 | | 費用負担 | 国土交通省中部整備局 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 原田恵理子 酒井巳紀子 | |
| 調査期間 | H14. 5. 9~H15. 3. 7 | | 調査面積 | 3,780㎡ | |
| 調査概要 | 今回の調査区では、部分的に2面の遺構面を確認した。上層では鎌倉時代及び室町時代の集落跡を確認した。特に15世紀末~16世紀前半の遺構は濃密で、溝で画された6つの区画地内にそれぞれ掘立柱建物や大型土坑・井戸が配され、当時の空間配置を知る上で興味深い。下層では多数のピットを確認したが、遺物が僅かであり、時期は平安時代以前であることが判明しているのみである。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝、大型土坑、掘立柱建物、井戸、墓 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗、土師器鍋・羽釜・茶釜・皿、陶器碗・皿・鉢、青磁、砥石、硯、銭貨、和鏡、釘、漆器碗、曲物等 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 15 | 遺跡名 | 中林・中道遺跡 | 台帳番号 | 407-14 |
| 所在地 | 一志郡三雲町中道ほか | | 事業主体 | 国土交通省中部整備局 | |
| 調査原因 | 平成14年度一般国道23号中勢道路建設事業 | | 費用負担 | 国土交通省中部整備局 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 宮田勝功 東敬義 水谷豊 | |
| 調査期間 | H14. 5. 9~H15. 3. 5 | | 調査面積 | A地区:2,110㎡、D地区:3,130㎡ | |
| 調査概要 | A地区、D地区ともに、奈良時代・平安時代後期~鎌倉時代・室町時代後期の遺構・遺物を確認した。D地区では特に平安時代後期~鎌倉時代にかけて区画溝に囲まれた6棟の掘立柱建物と井戸を検出した。A地区では、方向をそろえる平安時代後期~鎌倉時代と室町時代後期の区画溝が検出され、井戸と多数のピットを確認した。遺構は西側に集中し、東側は湿地化して、生活に不適であったと考えられる。 | | | | |
| 主な遺構 | 奈良時代:掘立柱建物・溝、平安時代後期~鎌倉時代:区画溝・掘立柱建物・井戸、室町時代後期:区画溝・井戸・土坑など | | | | |
| 主な遺物 | 須恵器・土師器・ロクロ土師器・灰釉陶器・山茶碗・漆碗・曲物・銭貨など | | | | |
| 関連文献 | 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XIV』三重県埋蔵文化財センター2002. 5 | | | | |
| No. | 16 | 遺跡名 | 柏木遺跡 | 台帳番号 | 405-未登録 |
| 所在地 | 一志郡嬉野町川北 | | 事業主体 | 国土交通省中部整備局 | |
| 調査原因 | 平成14年度一般国道23号中勢道路建設事業 | | 費用負担 | 国土交通省中部整備局 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 河北秀実 東敬義 酒井巳紀子 | |
| 調査期間 | H14. 10. 3~H14. 10. 31 | | 調査面積 | 540㎡ | |
| 調査概要 | 調査地は、現況水田である。遺構は表土下80cm~90cmで、室町時代の溝6条、土坑1基を確認した。出土遺物は少量で、そのほとんどが小片である。遺跡の性格については、次年度以降の調査区に遺構がどのように延びていくかを確認のうえ、判断したい。 | | | | |
| 主な遺構 | 室町時代:溝・土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器甕・皿、須恵器、陶器甕・鉢・山茶碗・山皿、瓦器皿 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|------------|---------------|---------|
| No. | 17 | 遺跡名 | 丸野遺跡 | 台帳番号 | 204-214 |
| 所在地 | 三重県松阪市上川町～豊原町 | | 事業主体 | 道路整備チーム | |
| 調査原因 | 平成14年度(一)松阪環状線緊急地方道路整備事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 森川常厚 川崎志乃 | |
| 調査期間 | H14. 7. 8～H14. 10. 28 | | 調査面積 | 1,853㎡ | |
| 調査概要 | 松阪商業高校南側の畑地を調査した。攪乱が多く、伊勢電気鉄道の軌道跡も検出している。古墳時代前期と思われる環濠の痕跡を確認し、飛鳥奈良時代の堅穴住居や掘立柱建物を若干検出した。 | | | | |
| 主な遺構 | 古墳時代前期環濠1条、飛鳥奈良時代堅穴住居6棟、掘立柱建物2棟 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文時代早期鉢、飛鳥時代土師器碗・甕 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 18 | 遺跡名 | 中谷遺跡 | 台帳番号 | 204-216 |
| 所在地 | 三重県松阪市豊原町 | | 事業主体 | 道路整備チーム | |
| 調査原因 | 平成14年度(一)松阪環状線緊急地方道路整備事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 森川常厚 川崎志乃 | |
| 調査期間 | H14. 7. 8～H14. 10. 28 | | 調査面積 | 1,506㎡ | |
| 調査概要 | 丘陵裾の畑地を調査した。縄文時代晩期後半の土器棺や土壇墓を多数検出した。その他には飛鳥時代の溝や、時期の特定できない掘立柱建物等を若干検出している。 | | | | |
| 主な遺構 | 縄文時代晩期後半土器棺6基・土壇墓15基程度、奈良時代区画溝1条、時期不明掘立柱建物2棟、近世掘立柱建物1棟 | | | | |
| 主な遺物 | 晩期後半深鉢、石鏃、飛鳥・奈良時代土師器甕、須恵器蓋 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 19 | 遺跡名 | 大原堀遺跡(第2次) | 台帳番号 | 204-555 |
| 所在地 | 松阪市広瀬町字大原堀、西大原堀、山ノ下 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 平成14年度中山間事業(茅広江地区)広瀬工区下茅原ほ場整備 | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 小山憲一 川崎志乃 小倉整 | |
| 調査期間 | H14. 7. 9～H14. 12. 24 | | 調査面積 | 3,823㎡ | |
| 調査概要 | 榎田川中流域左岸の河岸段丘上に立地する。AⅠ～Ⅳ、BⅡ、CⅠ～Ⅱ、Dの合計8地区を調査。この内、AⅠ地区では、平安時代末期の南東隅土坑を伴う総柱の掘立柱建物を1棟検出。AⅢ地区では、縄文時代晩期の土器棺墓、土坑墓及び、これらを取り囲むように配置された立石等から構成される墓域を確認。下層調査では、縄文時代中期の土坑等を検出。BⅡ地区では、縄文時代後期、平安時代中～末期の土坑等を検出。下層調査では明確な遺構は検出できなかった。その他の地区は、遺構が全く確認できなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | AⅠ地区:掘立柱建物(平安時代末期)など AⅢ地区:土器棺墓16基(馬見塚式1基、その他は概ね滋賀里Ⅳ式)、土壇墓5基以上、配石遺構、集石土坑(以上、縄文時代晩期)、土坑(縄文時代中期・晩期)など BⅡ地区:土坑(縄文時代後期、平安時代中期～末期)など | | | | |
| 主な遺物 | 縄文中～晩期土器(赤彩土器・浮線文系土器を含む)、石器・石製品(石鏃・磨製石斧・石錘・石錐・石匙・管玉・線刻礫・石刀など)、土師器など | | | | |
| 関連文献 | 『近畿自動車道(久居～勢和)埋蔵文化財発掘調査報告-第1分冊 1-』三重県教育委員会1989 | | | | |
| No. | 20 | 遺跡名 | 魚見里前遺跡 | 台帳番号 | 204-未登録 |
| 所在地 | 松阪市魚見町字里前 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 平成14年度県営ほ場整備事業(機殿下地区) | | 費用負担 | 農林水産商工部・県教委※ | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 山田猛 小林俊之 | |
| 調査期間 | H14. 9. 30～H14. 11. 29 | | 調査面積 | 662㎡ | |
| 調査概要 | 水路予定地の調査のために調査区が狭く、まとまった遺構の検出は望めなかった。全体に砂礫層の上に遺物を微量に混入したシルト層が自然堆積しており、これを掘り込んだ中世の溝などが検出された。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗・無釉陶器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|--------|-----------------------------|---------|
| No. | 21 | 遺跡名 | 北門遺跡 | 台帳番号 | 206-952 |
| 所在地 | 三重県上野市大谷 | | 事業主体 | 道路整備チーム | |
| 調査原因 | 国道422号(三田坂バイパス)国補道路改築事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 森川常厚 五十棲孝子 水谷隆広 野田有美 小倉整 | |
| 調査期間 | H14. 11. 6～H14. 12. 27 | | 調査面積 | 736㎡ | |
| 調査概要 | 古墳時代初頭の古式土師器が環濠と考えられる溝から多量に出土している。飛鳥時代の堅穴住居では堅穴の壁に沿って、長胴甕の破片があたかも周溝に蓋をするかのようにならべられていた。しかし、この堅穴からは周溝の検出は無い。平安時代前期の掘立柱建物は比較的大型で方位に従い規則的な配列がみられる。また、飛鳥時代の須恵器の甕には焼成前に文字が刻まれている。 | | | | |
| 主な遺構 | 古墳時代初頭の環濠2条、飛鳥時代の堅穴住居8棟・掘立柱建物4棟、平安時代前期の掘立柱建物6棟、後期の掘立柱建物1棟、中世墓2基。 | | | | |
| 主な遺物 | 古式土師器、飛鳥時代土師器碗・杯・甕、須恵器蓋・杯・甕(線刻文字)、黒色土師器杯・碗、緑釉陶器碗・灰釉陶器碗・瓦器碗・皿 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 22 | 遺跡名 | 宮ノ前遺跡 | 台帳番号 | 206-971 |
| 所在地 | 三重県上野市荒木 | | 事業主体 | 河川チーム | |
| 調査原因 | 服部川県単河川局部改良事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 筒井正明 黒田聖也 | |
| 調査期間 | H14. 11. 13～H15. 2. 26 | | 調査面積 | 1,110㎡(内、下層509㎡) | |
| 調査概要 | 今回の発掘調査地点は服部川の左岸に隣接した水田で、宮ノ前館跡の西方に位置する。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物10棟以上、土坑、溝等 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗・中世土師器・陶器等 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 23 | 遺跡名 | 寺前遺跡 | 台帳番号 | 206- |
| 所在地 | 三重県上野市荒木 | | 事業主体 | 農業基盤整備チーム | |
| 調査原因 | 県営ほ場整備事業(中瀬川南地区) | | 費用負担 | 農林水産商工部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター 調査研究グループ | | 担当者 | 筒井正明 黒田聖也 | |
| 調査期間 | H14. 11. 13～H15. 2. 26 | | 調査面積 | 2,194㎡ | |
| 調査概要 | 今回発掘調査地点は荒木氏館跡の主郭想定箇所の東方に広がる水田部分で、当初荒木氏館跡の遺跡範囲内として調査着手した。調査区の大部分は農道や水路の設置工事などで、広範囲で掘削を受けていた。 | | | | |
| 主な遺構 | (奈良時代)堅穴住居1棟、(中世)土坑、溝、ピット等 | | | | |
| 主な遺物 | (奈良時代)土師器甕・杯、須恵器杯 (中世)瓦器碗・皿、土師器皿、信楽焼甕など | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 24 | 遺跡名 | 六地藏B遺跡 | 台帳番号 | 501-197 |
| 所在地 | 名賀郡青山町北山宇六地藏 | | 事業主体 | 道路整備チーム | |
| 調査原因 | (主)伊賀青山線緊急地方道路整備事業 | | 費用負担 | 県土整備部 | |
| 調査機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | 担当者 | 新田洋 野原宏司 | |
| 調査期間 | H14. 12. 2～H14. 12. 17 | | 調査面積 | 252㎡ | |
| 調査概要 | 木津川と見谷谷川に挟まれた台地上に立地し、平成5年度県営ほ場整備事業に伴う発掘調査が一部されている。今回の調査では、土坑・溝・ピットを検出、瓦器・土師器・須恵器等が出土しており、概ね平安時代末～鎌倉時代と考えられる。土坑1は、平面方形で全長102cm×幅88cm、深さ5cmを測り、検出面でほぼ完形の瓦器碗・小型硯が確認されたことから土坑墓の可能性が窺えた。 | | | | |
| 主な遺構 | 土坑4基、溝、ピット | | | | |
| 主な遺物 | 瓦器碗・小型硯・土師器・須恵器 | | | | |
| 関連文献 | 『六地藏A遺跡・六地藏B遺跡・高塚宅跡・東川遺跡 三重県埋蔵文化財調査報告116-1』三重県埋蔵文化財センター1994 | | | | |

県(斎宮歴史博物館)担当分 本調査

※は、国・県費補助事業

| | | | | | |
|------|--|-----|------------------|------|----------|
| No. | 25 | 遺跡名 | 斎宮跡第136次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字西加座2717-3.7 | | | 事業主体 | 三重県教育委員会 |
| 調査原因 | 学術調査 | | | 費用負担 | 国・県※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 小濱学 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 5. 14~H14. 8. 13 | | | 調査面積 | 460㎡ |
| 調査概要 | 昨年度に引き続き、西加座地区東半の調査を行った。東隣の第120次調査で検出された区画溝の続きを確認し、その南では土坑が、その南では何棟も重複して掘立柱建物が検出された。平安時代前期を中心とする遺物が40箱出土した。高台内に「衆」と墨書された灰釉陶器碗が注目される。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物10棟程度・区画溝・土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器・灰釉陶器 | | | | |
| 関連文献 | 史跡斎宮跡第136次調査(西加座地区)現地説明会資料 | | | | |
| No. | 26 | 遺跡名 | 斎宮跡第137次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町竹川字中垣内390,390-1他 | | | 事業主体 | 三重県教育委員会 |
| 調査原因 | 学術調査 | | | 費用負担 | 国・県※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 調査研究グループ | | | 担当者 | 小濱学 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 8. 19~H14. 12. 3 | | | 調査面積 | 700㎡ |
| 調査概要 | 第137次調査地は、飛鳥・奈良時代の大溝、奈良古道、倉庫と考えられている建物群を確認した第3・4次調査区の南に、また飛鳥・奈良時代の柱列を確認した第30・85-8・100次調査の北側に位置している。幅4mを基本に東西約90m、南北約110mのトレンチ調査となった。調査の結果は、旧竹神社内での、奈良時代前半の大型掘立柱建物(SB8560)の検出や金銅製金具(毛彫り馬具)の出土があげられる。大型掘立柱建物の規模は、東西6間(12m)、南北2間(4m)以上であった。奈良時代前期の掘立柱建物では、第87次調査のものが最大といわれていたが、規模が同じかそれ以上の可能性がでてきた。第36・97-2次調査では、この建物の方向とほぼ一致する建物の一群もあり、初期斎宮の中心的な建物群の一画、あるいは郡衙の一画であることが考えられる。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物7棟(柱列も含む)、竪穴住居14棟、土坑及び溝多数、土壇墓1基 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器・山茶碗・金銅製金具(毛彫り馬具) | | | | |
| 関連文献 | 史跡斎宮跡第137次発掘調査(中垣内地区)現地説明会資料 | | | | |
| No. | 27 | 遺跡名 | 史跡斎宮跡(第139次計画調査) | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字塚山3,310・3,326、斎宮字広頭3,370、竹川字東裏314 | | | 事業主体 | 三重県教育委員会 |
| 調査原因 | 学術調査 | | | 費用負担 | 国・県※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 2. 4~H14. 2. 12 | | | 調査面積 | 92㎡ |
| 調査概要 | 史跡西部を東西に走る、通称「奈良古道」の南北側溝を確認するために、2地点についてトレンチ調査を行った。いずれの調査区からも、南部側溝は上面幅約1m・深さ約1mの断面逆台形を呈した良好な形態を呈する。しかし、北部側溝は西部トレンチ(東浦・塚山地区)で確認されたのみで、幅約30cm、深さ数cmの極めて浅いものである。西部トレンチにおける両側溝間は、溝芯々間で約9mである。南部側溝からは、奈良時代後期を中心とした良好な遺物が出土している。この道は中世前期から近世に至るまで継続して側溝が掘削されており、道路の変遷を追う上で興味深い資料となる。その他では、奈良時代後半頃と考えられる竪穴住居から、良好な土器資料が出土している。 | | | | |
| 主な遺構 | 道路側溝(奈良時代・中世前期・中世後期・近世)、竪穴住居1棟(奈良)、土坑(奈良) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 28 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-1次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮2755 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 4. 15 | | | 調査面積 | 9㎡ |
| 調査概要 | 遺構は、西壁沿いに溝が一条認められた。幅0.4m以上、深さ0.2m程度である。埋土は大半が上方の盛土と同質であるが、底から10cm程は地山ブロックの混じる暗褐色粘質土である。溝から土師器片が1点出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝1条 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|--------------|------|---------|
| No. | 29 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-2次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町齋宮字篠林3, 143-1,3, 143-3 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 個人住宅新築 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 4. 23~H14. 4. 30 | | | 調査面積 | 74㎡ |
| 調査概要 | 史跡北部の、通称「鎌倉大溝」付近を調査。「鎌倉大溝」からは18世紀代の土器類が出土しており、近世の伝承にある「ユウゼンボリ」に相当し、「鎌倉大溝」を再掘削したものと考えられる。他には、「布掘」状となる掘立柱建物がある。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物1棟(布掘状)、大溝(近世、通称「鎌倉大溝」の再掘削) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・陶磁器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 30 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-3次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町齋宮2738 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅新築 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 4. 18 | | | 調査面積 | 4.5㎡ |
| 調査概要 | 基本的な層位は上から砕石・盛土があり、現地表面から約0.8mの深さで地山に達した。遺構包含層は認められなかった。幅1.3m、深さ0.4m程度の溝を1条検出した。方格地割(鍛冶山西地区)の南側溝にあたる。埋土は2層に分層でき、上層は暗褐色粘質土、下層は地山ブロックの混じる茶褐色粘質土である。溝の上層から土師器杯が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝1条 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器杯 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 31 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-4次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町竹川256-3 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 5. 13 | | | 調査面積 | 2.5㎡ |
| 調査概要 | 基本的な層位は上からコンクリート・盛土があり、現地表面から約0.75mの深さで地山に達した。中央から北側にかけては溝状に落ち込み、厚さ10cm弱の白色粘土層が認められた。落ち込みの深さは最大約15cmほど。遺構・遺物ともに認められなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | なし | | | | |
| 主な遺物 | なし | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 32 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-5次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町竹川字東裏227-3 | | | 事業主体 | 竹川自治会 |
| 調査原因 | 仮集会所建設 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 6. 11~H14. 7. 9 | | | 調査面積 | 125.3㎡ |
| 調査概要 | 旧参宮街道沿いから50mほど北に入った場所。江戸時代に存在し、明治の廃仏毀釈で廃寺となった「還愚院」境内に相当する。奈良時代頃の掘立柱建物と堅穴住居、還愚院に関する大溝を確認。堅穴住居は明瞭な壁周溝を持つもので、齋宮跡のなかでは稀。掘立柱建物は、不明瞭ながら2棟存在する。還愚院関連の大溝は、土坑を連続するように掘削されたもので、埋土内には18世紀前後の多量の陶磁器・土師器・瓦を含む。 | | | | |
| 主な遺構 | 堅穴住居1棟・掘立柱建物2棟(以上、奈良時代頃)、近世大溝(還愚院関連) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器(少量)、近世の陶磁器・土師器・瓦など(多量) | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|--------------|------|---------|
| No. | 33 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-6次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮3400ほか | | | 事業主体 | 明和町 |
| 調査原因 | 水道管改修 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 泉雄二 |
| 調査期間 | H14. 7. 5~H14. 9. 27 | | | 調査面積 | 360㎡ |
| 調査概要 | 斎宮小学校周辺の既存水道管(石綿管)総延長660mを改修するもので、小学校関連の調査を除き、周辺ではあまり調査の行われていない場所である。掘削幅0.6mが狭く、明確な遺構は奈良時代の土抗2基を確認しただけである。遺構検出面は概ね0.6m程度であったが、深さ0.3mほどで遺構検出面の確認できた場所もあり、現在の地表面とかつての地表面とあまり変化のないことが伺われた。 | | | | |
| 主な遺構 | 土抗2基(奈良時代頃) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器2片(奈良時代)、近世の陶磁器・土師器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 34 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-7次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字内山3020-1,3045-3 | | | 事業主体 | 近畿日本鉄道㈱ |
| 調査原因 | 支線設置 | | | 費用負担 | 国・県・町 |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 6. 17 | | | 調査面積 | 1.5㎡ |
| 調査概要 | 層位は、西側では上から表土・地山似盛土・礫を多く含む盛土、東側では表土・盛土・黒色土であり、現地表面から約0.8~0.9mの深さで地山に達した。小面積のため全容は不明だが、西側調査区でピット3個が検出された。遺物としては土師器片が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | ピット | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 35 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-8次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町竹川字南裏249 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 6. 21 | | | 調査面積 | 5.1㎡ |
| 調査概要 | 旧参宮街道沿いの住宅地。地表下約1.3mで遺構面に達するが、江戸時代に開削された大形土坑?の法面が一部にかかったのみで、事業地の大半はこの埋土内となる。ここからは、18世紀後葉頃の土師器・陶器類が出土しているが、この遺構により、斎宮寮機能時代の遺構は完全に破壊されていると考えられる。 | | | | |
| 主な遺構 | 大形土坑(近世) | | | | |
| 主な遺物 | 近世土師器・陶磁器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 36 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-9次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字中西603 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 7. 12 | | | 調査面積 | 7㎡ |
| 調査概要 | 史跡東部の旧参宮街道沿い。地表下約50cmで地山に至る。遺構は、近世の浅い落ち込みを確認したに止まる。 | | | | |
| 主な遺構 | 落ち込み(近世) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|---------------|------|---------|
| No. | 37 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-10次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町竹川字南浦259 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 7. 19 | | | 調査面積 | 3.4㎡ |
| 調査概要 | 史跡中央部の旧参宮街道沿い。地表下約1.4mで地山。東西方向の区画溝を確認。土器が出土せず、時期は明確でないが、埋土の状況から見て平安時代以前のもと考えられる。調査地は、史跡東部にひろがる方格地割の西外側であるが、この溝は方格地割の溝方向に一致している。この付近まで方格地割が何らかの影響を与えているか、あるいはその延長がこの付近まで及んでいるのかも知れない。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝(東西方向) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 38 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-11次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町齋宮字牛葉330-1 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 7. 29 | | | 調査面積 | 3.9㎡ |
| 調査概要 | 史跡東部の、旧参宮街道からやや南に入った場所。旧地表下約50cmで地山に至る。井戸と思われる平面方形の遺構を検出した。工事範囲内のみを調査したので、完掘はしていない。埋土内からは平安前半頃の土器片が出土したのみで、明確な時期は決めがたい。 | | | | |
| 主な遺構 | 井戸?(平安か?) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 39 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-12次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町齋宮字篠林3, 143-2 | | | 事業主体 | 明和町 |
| 調査原因 | 水道管新設 | | | 費用負担 | 明和町 |
| 調査機関 | 齋宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H14. 8. 2 | | | 調査面積 | 0.8㎡ |
| 調査概要 | 第138-2次調査に関係した工事で、第138-2次調査区のすぐ南に位置する。狭い面積であったが、奈良時代頃と考えられるピットを2基検出した。 | | | | |
| 主な遺構 | ピット | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 40 | 遺跡名 | 齋宮跡第138-13次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町大字齋宮字広頭3385-2 | | | 事業主体 | 明和町 |
| 調査原因 | 齋宮小学校改修工事 | | | 費用負担 | 明和町 |
| 調査機関 | 明和町 | | | 担当者 | 中野敦夫 |
| 調査期間 | H15. 8. 20 | | | 調査面積 | 11㎡ |
| 調査概要 | 今回の調査は、齋宮小学校校舎にエレベーターや身障者用トイレ、通用口スロープなどバリアフリー施設設置工事に伴い実施したものである。基礎工事に立会いを実施した結果、工事箇所の北側1.5m×4.5mの範囲が未調査部分として残っていたため、発掘調査を実施した。その結果、現況地盤から約0.2mで暗褐色土の旧表土が検出され、表土の厚さは0.5mあり、その下で遺構検出面が確認された。検出された遺構は、柱穴が3つ確認されたが出土遺物はなく、時期は不明である。 | | | | |
| 主な遺構 | 柱穴 | | | | |
| 主な遺物 | なし | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|---------------|------|---------|
| No. | 41 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-14次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町大字斎宮字御館2969-4 | | | 事業主体 | 明和町 |
| 調査原因 | 無料休憩施設にかかる発掘調査浄化槽設置 | | | 費用負担 | 明和町 |
| 調査機関 | 明和町 | | | 担当者 | 中野敦夫 |
| 調査期間 | H15. 8. 27 | | | 調査面積 | 22㎡ |
| 調査概要 | 今回の調査は、史跡斎宮跡無料休憩所建設に伴い、浄化槽部分(長さ9m、幅2.5m)について実施した。その結果、現況地盤から約1mで褐灰色土の旧表土が検出された。表土の厚さは0.2mあり、その下で攪乱土坑の埋土が全面にわたって確認された。このことは、第129次調査結果と合わせて考えると、かつての瓦粘土採掘により、遺構面が削平されたと推測できる。 | | | | |
| 主な遺構 | なし | | | | |
| 主な遺物 | なし | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 42 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-15次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町西前沖2604-5 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅建築 | | | 費用負担 | 国・県・町 |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 10. 21~H14. 10. 25 | | | 調査面積 | 50㎡ |
| 調査概要 | 表土(約20cm)直下の地山面で、検出を行った。遺構は掘立柱建物1棟、ピット3個である。掘立柱建物は、3個のピット(径28cm)が並ぶもので、柱間2.4mである。遺物としては、土師器・須恵器・灰釉陶器が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物1棟 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器・灰釉陶器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 43 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-16次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字内山3020-1 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 浄化槽設置 | | | 費用負担 | 国・県・町 |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H14. 11. 1 | | | 調査面積 | 4㎡ |
| 調査概要 | 基本的な層位は上から盛土・茶褐色粘質土であり、現地表面から約0.8mの深さで地山に達した。ピット4個が検出され、土師器皿・鍋、灰釉陶器碗の破片が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | ピット | | | | |
| 主な遺物 | 土師器皿・鍋、灰釉陶器碗 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 44 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-17次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字楽殿2. 875-3 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅建設 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H15. 1. 17 | | | 調査面積 | 6㎡ |
| 調査概要 | 史跡中央北部、「斎王の森」の北東約200mである。住宅建設に伴う基礎設置部分6箇所は、表土下約60cm以上の掘削を伴わず、遺構面にまで至らなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | なし | | | | |
| 主な遺物 | なし | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|---------------|------|---------|
| No. | 45 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-18次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮字広頭3381-7,3381-8 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅建築 | | | 費用負担 | 国・県・町 |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H15. 11. 26~H15. 12. 3 | | | 調査面積 | 55㎡ |
| 調査概要 | 表土(約20~30cm)直下の地山面で、検出を行った。遺構は掘立柱建物2棟、土坑5基、溝1条である。掘立柱建物は、東西2間以上×南北3間以上で、柱間は2.0m、方位はN4° Eのもの、東西2間×南北2間以上で、柱間は東西2.0m、南北2.2mで、方位はN4° Eのものがあり、ほかにも掘立柱建物が柵になる可能性があるピットもある。土坑からは、土師器・緑釉陶器などが出土した。溝は、検出面での幅1.4m、底面幅0.6m、深さ0.8mの逆台形を呈する南北溝である。土師器・山茶碗が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物2棟・土坑5基・溝1条 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・緑釉陶器・山茶碗 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 46 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-19次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町木葉山304-4,304-9,304-12,304-14,304-15,304-16 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅増築 | | | 費用負担 | 国・県・町 |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H15. 1. 21 | | | 調査面積 | 4.5㎡ |
| 調査概要 | 既存建物建設時のものと思われる盛土と近世以降のいぶし瓦や陶磁器の詰まった層があり、現地表面から約1.9mの深さで部分的に地山に達した。遺構・遺物ともに認められなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | なし | | | | |
| 主な遺物 | なし | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 47 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-20次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町斎宮・竹川ほか | | | 事業主体 | 斎宮歴史博物館 |
| 調査原因 | 基準点測量杭設置 | | | 費用負担 | 国・県 |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 水橋公恵 |
| 調査期間 | H15. 1. 15 | | | 調査面積 | 1.8㎡ |
| 調査概要 | 5ヶ所のうち、公園整備の盛土内や包含層内でおさまったものが4ヶ所あり、旧竹神社の前のE地点のみ現況地盤から0.6mで地盤に達した。遺構は検出されなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | なし | | | | |
| 主な遺物 | 土師器・須恵器・山茶碗の小片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 48 | 遺跡名 | 斎宮跡第138-21次調査 | 台帳番号 | 442-210 |
| 所在地 | 多気郡明和町竹川字東裏350 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅建設 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 斎宮歴史博物館 | | | 担当者 | 伊藤裕偉 |
| 調査期間 | H15. 3. 10 | | | 調査面積 | 3.7㎡ |
| 調査概要 | 史跡西部の旧参宮街道沿い。表土下約80cmで地山。南北方向の溝2条を検出した。1条は中世~近世のもので、調査区東に存在する現道に沿っている。もう1条はそれより古いもので、やや軸線が異なっている。奈良時代頃のものと考えられる。これらの遺構上層には、近世の整地土が見られ、18世紀頃の遺物が含まれている。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝2条(奈良・中世~) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器、近世陶磁器・土師器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

市町村担当分 本調査

※は、国・県費補助事業

| | | | | | |
|------|--|-----|---------|------|--------------------------|
| No. | 49 | 遺跡名 | 桑名城下町遺跡 | 台帳番号 | 205-99 |
| 所在地 | 桑名市吉之丸地先 | | | 事業主体 | 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流工事事務所 |
| 調査原因 | 総合管理所(蟠龍橋)電線管工事 | | | 費用負担 | 事業者 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 水谷芳春 平野亜紀 |
| 調査期間 | H14. 6. 26 | | | 調査面積 | 約6㎡ |
| 調査概要 | 工事による掘削深度が近現代の盛土の範囲内であったため、遺構は検出されなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | | | | | |
| 主な遺物 | 近世陶磁器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 50 | 遺跡名 | ハサマ遺跡 | 台帳番号 | 205-136 |
| 所在地 | 桑名市大字森忠字正津376の1部外・大字芳ヶ崎字ハサマ895-1外 | | | 事業主体 | 大洋不動産株式会社 |
| 調査原因 | 宅地造成 | | | 費用負担 | 事業者 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 斉藤理 水谷芳春 平野亜紀 |
| 調査期間 | H14. 7. 3～H14. 10. 3 | | | 調査面積 | 1,800㎡ |
| 調査概要 | 鎌倉時代の遺構面を検出した。区画溝や、堀立柱建物跡、井戸を伴う集落跡と思われる。 | | | | |
| 主な遺構 | 建物跡、井戸、土坑、溝 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗、青磁、白磁、土師器、瓦、須恵器、灰釉陶器 | | | | |
| 関連文献 | 『ハサマ遺跡発掘調査報告書』桑名市教育委員会2003 | | | | |
| No. | 51 | 遺跡名 | 寺跡遺跡 | 台帳番号 | 205-130 |
| 所在地 | 桑名市大字大福字寺跡418-2番地先 | | | 事業主体 | 桑名市 |
| 調査原因 | 下水道工事 | | | 費用負担 | 桑名市 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 斉藤理 水谷芳春 平野亜紀 |
| 調査期間 | H14. 9. 5～H14. 10. 22 | | | 調査面積 | 183.2㎡ |
| 調査概要 | 中世の遺物包含層を確認した。一部で礎石や柱根も検出された。 | | | | |
| 主な遺構 | 土坑、礎石、柱根 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗、土師器、瓦 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 52 | 遺跡名 | 桑名城下町遺跡 | 台帳番号 | 205-99 |
| 所在地 | 桑名市外堀30番地 | | | 事業主体 | 丸美産業株式会社 |
| 調査原因 | マンション建設 | | | 費用負担 | 事業者 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 斉藤理 |
| 調査期間 | H15. 1. 20～H15. 5. 30予定 | | | 調査面積 | 284㎡ |
| 調査概要 | 調査地は絵図等では武家屋敷とされている場所であるが、関連する明確な遺構はまだ検出されていない。下層から中世の遺物が出土している。 | | | | |
| 主な遺構 | 土坑、溝、埋甕 | | | | |
| 主な遺物 | 山茶碗、土師器、瓦、近世陶磁器、木製品 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|------------|------|--|
| No. | 53 | 遺跡名 | 桑名城下町遺跡 | 台帳番号 | 205-99 |
| 所在地 | 桑名市三之丸85番 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 個人住宅 | | | 費用負担 | 桑名市教育委員会 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 水谷芳春 |
| 調査期間 | H15. 1. 28 | | | 調査面積 | 68.5㎡ |
| 調査概要 | 調査のできた範囲内では遺構は確認されなかった。本開発は桑名城の内堀を明治以降に埋め立てた砂層の範囲内で行われるため、遺構にはほとんど影響が出ないと判断した。なお、地表面から約30cm掘削したところで湧水が激しく、調査の続行を断念した。 | | | | |
| 主な遺構 | | | | | |
| 主な遺物 | 土錐 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 54 | 遺跡名 | 桑名城下町遺跡 | 台帳番号 | 205-99 |
| 所在地 | 桑名市柳原62 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 住宅の建て替え | | | 費用負担 | 桑名市教育委員会 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 水谷芳春 |
| 調査期間 | H15. 2. 1 | | | 調査面積 | 72㎡ |
| 調査概要 | 掘削深度に制限があったため幕末ないしはそれ以降の旧水田の耕作土を確認したのみである。 | | | | |
| 主な遺構 | | | | | |
| 主な遺物 | 近世陶磁器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 55 | 遺跡名 | 宇賀遺跡 | 台帳番号 | 205-80 |
| 所在地 | 桑名市大字蓮花寺宇賀353番地 他 地先 | | | 事業主体 | 桑名市 |
| 調査原因 | 下水道工事 | | | 費用負担 | 桑名市 |
| 調査機関 | 桑名市教育委員会 | | | 担当者 | 水谷芳春 平野亜紀 |
| 調査期間 | H15. 2. 28~H15. 3. 31 | | | 調査面積 | 890㎡ |
| 調査概要 | 掘削深度に制限があったため、近世の遺物包含層を確認するにとどまった。 | | | | |
| 主な遺構 | | | | | |
| 主な遺物 | 近世陶磁器 | | | | |
| 関連文献 | 『宇賀遺跡発掘調査報告書』桑名市教育委員会2001 | | | | |
| No. | 56 | 遺跡名 | 久留倍遺跡(第3次) | 台帳番号 | 202-74 |
| 所在地 | 四日市市大矢知町字久留倍、字矢内谷 | | | 事業主体 | 国土交通省 |
| 調査原因 | 一般国道1号北勢バイパス建設 | | | 費用負担 | 国土交通省 |
| 調査機関 | 四日市市教育委員会 | | | 担当者 | 城 吉基・伊藤直孝・赤松一秀・角正芳浩・清水政宏・石毛彩子・北角光津子・濱辺一機 |
| 調査期間 | H14. 4. 30~H15. 1. 17 | | | 調査面積 | 12,600㎡ |
| 調査概要 | 遺跡北東部と南西部の2箇所を調査。弥生中期後葉から飛鳥・奈良時代にかけての竪穴住居約50棟、弥生後期の方形周溝墓5基、古墳終末期の横穴石室を有する古墳1基と鉄刀が副葬された木棺墓1基、奈良時代の掘立柱建物17棟(うち正倉1棟)などを検出した。正倉の確認は、今後朝明郡衙の解明につながるものとして期待がもたれる。 | | | | |
| 主な遺構 | 弥生中期~飛鳥・奈良:竪穴住居、弥生後期:方形周溝墓、古墳終末期:古墳・木棺墓、奈良:掘立柱建物 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・緑釉陶器・灰釉陶器・山茶碗・木製品(弥生時代)・鉄刀・小玉・管玉・鉄鏃 | | | | |
| 関連文献 | 『一般国道1号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報VII』四日市市教育委員会2003 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|--------------|------|------------|
| No. | 57 | 遺跡名 | 伊勢国分寺跡(第28次) | 台帳番号 | 207-361 |
| 所在地 | 鈴鹿市国分町 | | | 事業主体 | 鈴鹿市 |
| 調査原因 | 学術調査(史跡整備) | | | 費用負担 | 鈴鹿市※ |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 藤原秀樹 林和範 |
| 調査期間 | H14. 5. 9~H15. 2. 28 | | | 調査面積 | 1,891㎡ |
| 調査概要 | 南門調査区では基壇の周囲に掘られたと見られる溝の範囲から、17.6×11.2mの基壇基底部が想定され、扁平な八角形状のプランの南門であったと考えられる。塔調査区では当初の目的であった塔の確認はできなかったものの、伽藍地の東1/3と、さらにその区画を南北に2分する区画施設が見つかった。また伽藍地内の南東隅から、身舎2×5間の南面に庇が付く掘立柱建物が検出された。建物の性格は寺院運営施設の政所院・大衆院、講師・国師のための施設の講院・国師院、あるいは仮設の仏堂等があげられる。 | | | | |
| 主な遺構 | 奈良:南門、築地、掘立柱建物、溝、土坑、竪穴住居、道路遺構(波板状痕跡) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器、須恵器、瓦、灰釉陶器、山茶碗 | | | | |
| 関連文献 | 『伊勢国分寺跡3』鈴鹿市教育委員会2003 | | | | |
| No. | 58 | 遺跡名 | 伊勢国府跡(第15次) | 台帳番号 | 207-363 |
| 所在地 | 鈴鹿市広瀬町字矢下・西富田町矢卸 | | | 事業主体 | 鈴鹿市 |
| 調査原因 | 学術調査 | | | 費用負担 | 鈴鹿市※ |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 川合圭子 吉田真由美 |
| 調査期間 | H14. 4. 20~H14. 8. 12 | | | 調査面積 | 1,184㎡ |
| 調査概要 | 弥生時代中期前葉を中心とした土坑墓・竪穴住居が検出された。円墳(矢下五号墳)の盛土は削平され、周溝と主体部の最下面が検出されている。木棺直葬と考えられる主体部からは朱が検出され、緑色凝灰岩・碧玉製の管玉、ガラス玉が、周溝からは土師器壺が出土した。奈良時代と考えられる遺構は鬼瓦の小片が出土した溝と土師器・瓦を含む土坑のみである。 | | | | |
| 主な遺構 | 弥生:土坑墓・竪穴住居、古墳:円墳、奈良:溝・土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器、土師器、須恵器、瓦、 | | | | |
| 関連文献 | 『伊勢国府跡5』鈴鹿市教育委員会2003 | | | | |
| No. | 59 | 遺跡名 | 伊勢国府跡(第16次) | 台帳番号 | 207-363 |
| 所在地 | 鈴鹿市広瀬町字矢下・西富田町矢卸・東起 | | | 事業主体 | 三重県 |
| 調査原因 | 範囲確認 | | | 費用負担 | 三重県 |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 川合圭子 吉田真由美 |
| 調査期間 | H14. 6. 20~H15. 3. | | | 調査面積 | 1,500㎡ |
| 調査概要 | 弥生前期の土器棺墓4基が検出され、うち3基は条痕系の深鉢、1基は遠賀川系の壺が出土した。方形周溝墓は4隅が途切れるタイプの周溝で弥生時代中期のものと考えられる。2基の古墳(矢下6・7号墳)は周溝の一部が検出され、盛土は後世の開墾によって削平されていた。 | | | | |
| 主な遺構 | 弥生:土器棺墓4基・方形周溝墓・土坑、古墳:円墳2基、奈良:掘立柱建物 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器、土師器、須恵器、 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 60 | 遺跡名 | 伊勢国府跡(第17次) | 台帳番号 | 207-363 |
| 所在地 | 鈴鹿市広瀬町字西野3300 | | | 事業主体 | 個人 |
| 調査原因 | 農業関連・天地返し | | | 費用負担 | 鈴鹿市※ |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 中森成行 |
| 調査期間 | H14. 8. 6~H14. 11. 30 | | | 調査面積 | 4,640㎡ |
| 調査概要 | 幅5m、深さ0.7~1.2mの東西溝を検出。その北方に、竈の袖に瓦を用いた竪穴住居、3棟の掘立柱建物などの建物群が位置する。掘立柱建物は庇が付設され、計画的配置をとるが、建物が小規模で柱穴掘方も30cmと小さいため、仮設的な施設と考えられる。竪穴住居とセットで捉えることができ、国府関連の工房・宿舍等の性格が想定できる。 | | | | |
| 主な遺構 | 奈良:掘立柱建物3棟、竪穴住居4棟、溝 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器、須恵器、平瓦、丸瓦 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|-----------------|------|---------------------------------|
| No. | 61 | 遺跡名 | 須賀遺跡(第3次) | 台帳番号 | 207-166 |
| 所在地 | 鈴鹿市須賀1丁目1579・1580・1581 | | | 事業主体 | 社会福祉法人 陽光会 |
| 調査原因 | 社会福祉施設 特別養護老人ホーム建設 | | | 費用負担 | 社会福祉法人 陽光会 |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 鈴木孝幸 |
| 調査期間 | H14. 8. 7~H14. 9. 6 | | | 調査面積 | 60㎡ |
| 調査概要 | 調査は開発面積4,500㎡のうち、基礎(パイル工法)で破壊がされる範囲のみ、おおよそ1m四方の調査区を44箇所設定し実施した。その結果、溝・土坑が検出され、弥生中期~後期の土器が出土した。今後、パイル工法、及びそれ以外の未調査箇所の対応については検討の必要がある。 | | | | |
| 主な遺構 | 溝、土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 62 | 遺跡名 | 天王遺跡(第9次) | 台帳番号 | 207-873 |
| 所在地 | 鈴鹿市岸岡町 | | | 事業主体 | 三重県厚生連農業協同連合組合、鹿島・日本土木建設工事共同企業体 |
| 調査原因 | 病院施設建設 | | | 費用負担 | 三重県厚生連農業協同連合組合、鹿島・日本土木建設工事共同企業体 |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 田中忠明 林和範 |
| 調査期間 | H14. 7. 8~H14. 10. 9 | | | 調査面積 | 546㎡ |
| 調査概要 | 3×6間の大型建物・倉庫と考えられる総柱建物を含む8棟の掘立柱建物を検出。何れも飛鳥時代の建物と考えられ、柱筋を揃え計画的に配置されていたとみられる。建物群の性格については、豪族居館が想定される。その他、内部に木材が遺存する鎌倉時代の井戸を検出。「北カンダチ(カンダチは「痔」の「が」)」等の墨書土器が出土し、御厨との関連が注目される。 | | | | |
| 主な遺構 | 飛鳥:掘立柱建物8棟、鎌倉:井戸・土坑・柱穴、昭和:土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器、土師器、須恵器、瓦、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、砥石、水晶片、木製品 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 63 | 遺跡名 | 天王遺跡(第10次) | 台帳番号 | 207-873 |
| 所在地 | 鈴鹿市岸岡町 | | | 事業主体 | 三重県厚生連農業協同連合組合、鹿島・日本土木建設工事共同企業体 |
| 調査原因 | 病院施設建設 | | | 費用負担 | 三重県厚生連農業協同連合組合、鹿島・日本土木建設工事共同企業体 |
| 調査機関 | 鈴鹿市教育委員会 | | | 担当者 | 田中忠明 林和範 |
| 調査期間 | H14. 10. 3~H14. 12. 24 | | | 調査面積 | 1,700㎡ |
| 調査概要 | 直線的に北東~南西に延びる幅3m、深さ2mのV字形を呈す弥生時代後期の溝を検出。その後この溝はある程度埋没し、古墳後期~飛鳥時代に再掘削された。多くの須恵器が出土し、9次調査で見つかった建物群とほぼ同時期と考えられるものも含まれる。中世後期の井戸からは古瀬戸を含む陶器と共に、白鳳時代のものと考えられる多くの瓦片が出土した。重弧文軒平瓦・素弁八葉蓮華文軒丸瓦の他、新たに素弁六葉に間弁を配す蓮華文軒丸瓦が見つかった。 | | | | |
| 主な遺構 | 弥生:溝、古墳~飛鳥:溝・掘立柱建物3棟・土坑、室町:井戸3基 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器、土師器、須恵器、瓦、山茶碗、常滑焼、古瀬戸、国民食器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 64 | 遺跡名 | 北山城跡 (旧称)城館推定地A | 台帳番号 | 210-361 |
| 所在地 | 亀山市太森町字北山 | | | 事業主体 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査原因 | 近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業 | | | 費用負担 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 亀山隆 藤岡直子 |
| 調査期間 | H14. 7. 18~H14. 12. 16 | | | 調査面積 | 2,250㎡ |
| 調査概要 | 小規模な独立丘陵を利用した山城。連続した曲輪の周囲を切岸・縦堀等で防御していることが判明した。 | | | | |
| 主な遺構 | 複数の曲輪、切岸、縦堀等の防御施設 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片、火葬骨 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|--------------|------|-------------|
| No. | 65 | 遺跡名 | 野元坂館跡(第2次) | 台帳番号 | 210-134 |
| 所在地 | 亀山市辺法寺町字青木 | | | 事業主体 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査原因 | 近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業 | | | 費用負担 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 亀山隆 藤岡直子 |
| 調査期間 | H14. 11. 18~H14. 12. 16 | | | 調査面積 | 285㎡ |
| 調査概要 | 昭和44年に東名阪道建設に伴う発掘調査部分の隣接地。調査区幅が狭小で柱穴等の遺構の様相は不明な点が多かったが、土塁と横堀については規模・構造等のデータを得ることができた。この館は、その構造、位置等から天正11年峯城攻めの際に従来から存在した館を元に造られた陣城の可能性が高い。 | | | | |
| 主な遺構 | 土塁、横堀 | | | | |
| 主な遺物 | 常滑甕、信楽鉢、装飾須恵器 | | | | |
| 関連文献 | 『野元坂館址』『日本道路公団 東名阪道埋蔵文化財調査報告』三重県文化財連盟1970 | | | | |
| No. | 66 | 遺跡名 | 宮の前1号墳・宮の前遺跡 | 台帳番号 | 210-182 |
| 所在地 | 亀山市木下町字宮の前 | | | 事業主体 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査原因 | 近畿自動車道名古屋関線(東名阪)亀山直結線建設事業 | | | 費用負担 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 木野本和之 |
| 調査期間 | H14. 7. 1~H14. 8. 31 | | | 調査面積 | 524㎡ |
| 調査概要 | 古墳裾部分で平坦面、下部斜面で周溝を確認。平坦面・斜面では墳丘から転落した円筒埴輪・形象埴輪の破片が出土。また、遺構は確認されなかったが弥生時代前期に属する土器片を確認。 | | | | |
| 主な遺構 | 平坦面、古墳周溝 | | | | |
| 主な遺物 | 円筒埴輪片、形象埴輪片、弥生土器片、山茶碗、土師器羽釜 | | | | |
| 関連文献 | 『近畿自動車道名古屋関線(東名阪)亀山直結線埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ いにしへの神辺』亀山市教育委員会2003 | | | | |
| No. | 67 | 遺跡名 | 於登志古墳・於登志遺跡 | 台帳番号 | 210-181・236 |
| 所在地 | 亀山市山下町地内 | | | 事業主体 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査原因 | 近畿自動車道名古屋関線(東名阪)亀山直結線建設事業 | | | 費用負担 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 木野本和之 |
| 調査期間 | H14. 9. 1~H14. 10. 31 | | | 調査面積 | 2,600㎡ |
| 調査概要 | 古墳時代初頭に造られた墳丘墓2基を確認。うち1基の周溝内から壺形土器2点が出土したが、埋葬施設に相当する部分からは副葬品等遺物は確認されなかった。もう1基は、周溝と墳丘を確認したが、東半分は名阪国道工事の際に破壊されており、埋葬施設は消滅していた。 | | | | |
| 主な遺構 | 墳丘墓2基、土坑、溝 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器片、土師器壺、須恵器、山茶碗、土師器皿 | | | | |
| 関連文献 | 『近畿自動車道名古屋関線(東名阪)亀山直結線埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ いにしへの神辺』亀山市教育委員会2003 | | | | |
| No. | 68 | 遺跡名 | 勢武谷遺跡(第2次) | 台帳番号 | 210-209 |
| 所在地 | 亀山市木下町字勢武谷 | | | 事業主体 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査原因 | 近畿自動車道名古屋関線(東名阪)亀山直結線建設事業 | | | 費用負担 | 日本道路公団中部支社 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 木野本和之 |
| 調査期間 | H14. 11. 8~H15. 2. 28 | | | 調査面積 | 2,350㎡ |
| 調査概要 | 標高130m、麓との比高60mの丘陵頂部に営まれた弥生末~古墳初頭の高地性集落。柵(塀)で囲まれたエリアで複数の堅穴住居を確認。出土遺物の年代から、2世紀後半・3世紀前半・4世紀中頃の3時期に断続して集落が営まれたと考えられる。堅穴住居を破壊する形で、直径14m程の円墳周溝を確認。 | | | | |
| 主な遺構 | 堅穴住居6棟、集落を囲む柵(塀)の布堀り、古墳周溝 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器、須恵器、砥石 | | | | |
| 関連文献 | 『近畿自動車道名古屋関線(東名阪)亀山直結線埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ いにしへの神辺』亀山市教育委員会2003 『亀山市文化財調査速報vol. 21 勢武谷遺跡(第2次)発掘調査現地説明会資料 高所に営まれたムラ』亀山市教育委員会2003 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|-----------|------|----------|
| No. | 69 | 遺跡名 | 小野城跡(第3次) | 台帳番号 | 210-182 |
| 所在地 | 亀山市小野町地内 | | | 事業主体 | 亀山市 |
| 調査原因 | 市道小野1号改良事業 | | | 費用負担 | 亀山市 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 亀山隆 藤岡直子 |
| 調査期間 | H14. 11. 15～H15. 2. 28 | | | 調査面積 | 850㎡ |
| 調査概要 | 市道拡幅部分の調査。道路跡・土坑等と推定できる遺構を確認。調査区狭小のため性格等については現在検討中。 | | | | |
| 主な遺構 | 道路跡、区画溝、土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 常滑甕、山茶碗、青磁碗、須恵器 | | | | |
| 関連文献 | 『亀山市小野町 小野城跡』亀山市教育委員会1991 | | | | |
| No. | 70 | 遺跡名 | 亀山城跡 | 台帳番号 | 210-200 |
| 所在地 | 亀山市東丸町地内 | | | 事業主体 | 道路整備チーム |
| 調査原因 | 県道駅前高塚線道路改良事業 | | | 費用負担 | 県土整備部 |
| 調査機関 | 亀山市教育委員会 | | | 担当者 | 亀山隆 藤岡直子 |
| 調査期間 | H14. 10. 25～H15. 3. 11 | | | 調査面積 | 73㎡ |
| 調査概要 | 亀山城東三之丸の調査。近世の遺構は明確に確認できなかったが、下層で戦国時代末の石組溝を確認。この遺構はの方向は現在の地割りにほぼ一致し、城下町の基礎がこの時期に形成されたものと考えられる。 | | | | |
| 主な遺構 | 石組溝(戦国末) | | | | |
| 主な遺物 | (戦国末)青磁、白磁、天目茶碗、皿、甕、播鉢、土師器羽釜・皿、炭化米、フイゴ羽口、スラグ等 (近世)瓦類、陶磁器類 | | | | |
| 関連文献 | 『伊勢亀山城跡発掘調査報告書Ⅲ』亀山市教育委員会1999 | | | | |
| No. | 71 | 遺跡名 | 北奥遺跡 | 台帳番号 | 382-76 |
| 所在地 | 安芸郡芸濃町大字多門 | | | 事業主体 | 道路整備チーム |
| 調査原因 | 主要地方道津芸濃大山田線地方特定道路整備事業 | | | 費用負担 | 県土整備部 |
| 調査機関 | 芸濃町教育委員会 | | | 担当者 | 油田秀紀 |
| 調査期間 | H14. 7. 1～H14. 10. 10 | | | 調査面積 | 1,000㎡ |
| 調査概要 | 北奥遺跡に周知される範囲の南端にあたる。東側で中世の遺構を検出。土坑9基、溝3条を検出。西側で近世の遺構を検出。中世遺構より、東側へ落ち込みが確認される。 | | | | |
| 主な遺構 | 土坑 9基、溝 3条、近世遺構 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器(皿、羽釜、鍋)、常滑製品(甕、鉢)、瀬戸美濃製品(皿、鉢)、信楽製品(鉢)、山茶碗、緑釉陶器、須恵器、磨製石斧、石鏃 | | | | |
| 関連文献 | 『三重県埋蔵文化財年報19』三重県教育委員会1989 | | | | |
| No. | 72 | 遺跡名 | 井ノ尻・浦ノ戸遺跡 | 台帳番号 | 403-223 |
| 所在地 | 一志郡一志町八太 | | | 事業主体 | 一志町 |
| 調査原因 | 川合小学校造成 | | | 費用負担 | 一志町 |
| 調査機関 | 一志町教育委員会 | | | 担当者 | 伊勢野久好 |
| 調査期間 | H14. 4. 1～H14. 9. 24 | | | 調査面積 | 約2,700㎡ |
| 調査概要 | 今回の調査では、直線的に平行して走る南北溝で区画された中に、掘立柱建物や井戸、集積遺構などが配されていることが判明した。区画溝の中には、断面がV字形した深いものも見られ、当遺跡が防御機能を備えた集落ではなかったと推測される。また中世墓の中には、青磁碗・皿が7点副葬されたものもあり、在地有力者の居住した遺跡としても注目される。 | | | | |
| 主な遺構 | 鎌倉・室町時代の区画溝、掘立柱建物多数、井戸30基、中世墓、集積遺構等 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器(皿・鍋・羽釜)多数、陶磁器類(青磁碗・皿・天目茶碗、山茶碗類)、鉄製品、木製品等 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|-----------------------|------|-----------|
| No. | 73 | 遺跡名 | 天白遺跡 | 台帳番号 | 405-344 |
| 所在地 | 一志郡嬉野町釜生田字天白 | | | 事業主体 | 嬉野町教育委員会 |
| 調査原因 | 史跡範囲確認調査 | | | 費用負担 | 嬉野町※ |
| 調査機関 | 嬉野町教育委員会 | | | 担当者 | 和気清章 |
| 調査期間 | H14. 10. 1～H15. 3. 20 | | | 調査面積 | 420㎡ |
| 調査概要 | H4年県調査区の南側400㎡について発掘調査を実施した。調査前に地中レーダー探査及び地磁気探査を実施した結果配石の範囲はおおよそ楕円形のサークルを意識しながら形成されていることが確認された。調査で確認された配石遺構は全体に散在的な状況であり数度の築造換えなどがなされたものと推察される。他に2基の埋設土器やサヌカイト原石のデボなどが確認された。 | | | | |
| 主な遺構 | 配石遺構1基、埋設土器2基、サヌカイト集積遺構1 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文後期後半(元住吉Ⅱ式～宮滝式)、土偶等 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 74 | 遺跡名 | 大角遺跡隣接地 | 台帳番号 | 404-69 |
| 所在地 | 一志郡白山町大字川口字大角 | | | 事業主体 | 白山町 |
| 調査原因 | 遺跡詳細分布調査のための学術調査 | | | 費用負担 | 白山町※ |
| 調査機関 | 白山町教育委員会 | | | 担当者 | 熊崎司 |
| 調査期間 | H14. 8. 20～H14. 9. 5 | | | 調査面積 | 約280㎡ |
| 調査概要 | これまで文献等からその存在が指摘されていた「河口頓宮(関宮)」についての基礎的な情報を得るため、調査を実施した。調査にあたっては三重大学考古学研究室の協力を受け、山中章教授の指導を得た。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物・堅穴住居・ピット | | | | |
| 主な遺物 | 弥生土器・土師器・須恵器 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 75 | 遺跡名 | 多気北畠氏遺跡〔北畠氏館跡第10次調査〕※ | 台帳番号 | 405-26-22 |
| 所在地 | 美杉村上多気馬場 | | | 事業主体 | 美杉村教育委員会 |
| 調査原因 | 学術調査 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 美杉村教育委員会 | | | 担当者 | 石淵誠人 小林俊之 |
| 調査期間 | H14. 11. 21～H15. 3. 31 | | | 調査面積 | 560㎡ |
| 調査概要 | 北畠氏館跡の東限の確認、対岸の六田地区へ延びる東西幹線道路との関係の確認を目的として行った。調査区内では、館の東限や幹線道路を裏付ける遺構は確認できなかったが、16世紀前半の礫詰土坑、南北溝を確認した。他に江戸期の石垣、石列を確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | 室町後期:礫詰り土坑11基、溝2条 近世:石垣・石列・溝 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器皿・小皿。 | | | | |
| 関連文献 | 日本ナショナルトラスト『美杉村・多気の歴史遺産』1994 『多気遺跡群』三重県埋蔵文化財センター 『伊勢北畠氏と中世都市・多気』美杉村教育委員会2001ほか | | | | |
| No. | 76 | 遺跡名 | 多気北畠氏遺跡〔小田地区第4次調査〕 | 台帳番号 | 405-26-4 |
| 所在地 | 美杉村下多気上村 | | | 事業主体 | 美杉村 |
| 調査原因 | H14年度村営防火水槽設置事業 | | | 費用負担 | 美杉村 |
| 調査機関 | 美杉村教育委員会 | | | 担当者 | 石淵誠人 小林俊之 |
| 調査期間 | H15. 1. 28～H15. 2. 7 | | | 調査面積 | 70㎡ |
| 調査概要 | 八手俣川左岸の段丘状、西向院の南約200m、県道隣接地で調査を行った。現状は田地であり、耕作土直下で厚さ約20cmの遺物包含層を確認し、その直下で遺構検出を行った。主として室町後期の直径2m、深さ0.8mの土坑1基、掘立柱建物1棟を確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | 15世紀末～16世紀初頭:掘立柱建物1棟、南北溝1条、土坑。 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器皿・小皿・鍋 | | | | |
| 関連文献 | 森川常厚、山中吉明『多気北畠氏遺跡(小田地区Ⅰ)』美杉村教育委員会1996 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|----------------------|-----------|---------------|
| No. | 77 | 遺跡名 | 多気北畠氏遺跡〔小田地区〕第2・3次調査 | 台帳番号 | 405-26-4 |
| 所在地 | 美杉村下多気上村 | | 事業主体 | 美杉村 | |
| 調査原因 | 村道西向院世古横線橋脚建設事業 | | 費用負担 | 美杉村 | |
| 調査機関 | 美杉村教育委員会 | | 担当者 | 石淵誠人 | |
| 調査期間 | H14. 3. 4~H14. 8. 11 | | 調査面積 | 1,260㎡ | |
| 調査概要 | 調査区は八手俣川左岸の段丘上隣接部分から、山裾まで延びる。弥生中期の土坑、方形周溝墓、室町後期の掘立柱建物、大型土坑、が確認された。調査区西側で検出した区画溝(室町)、調査区北橋で確認した落ち込み(室町)は、現在の生活道路や畦畔と平行している。 | | | | |
| 主な遺構 | 弥生中期: 方形周溝墓、 室町後期: 掘立柱建物2棟、区画溝、大型土坑 | | | | |
| 主な遺物 | 弥生中壺片、室町後期南伊勢系土師器鍋・皿・小皿、天目茶碗、青磁碗 | | | | |
| 関連文献 | 森川常厚、山中吉明『多気北畠氏遺跡(小田地区I)』美杉村教育委員会1996 日本ナショナルトラスト『美杉村・多気の歴史遺産』1994 伊藤裕偉『多気遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1993 『伊勢北畠氏と中世都市・多気』美杉村教育委員会編2001 竹田憲治ほか『多気北畠氏遺跡発掘調査-北畠氏館跡2-』美杉村教言う委員会1998 石淵誠人『多気北畠氏遺跡発掘調査-北畠氏館跡3-』美杉村教育委員会1999ほか | | | | |
| No. | 78 | 遺跡名 | 多気北畠氏遺跡〔世古区〕第1次調査 | 台帳番号 | 405-26-9 |
| 所在地 | 美杉村下多気字世古 | | 事業主体 | 美杉村 | |
| 調査原因 | 村道西向院世古横線橋脚建設事業 | | 費用負担 | 美杉村 | |
| 調査機関 | 美杉村教育委員会 | | 担当者 | 石淵誠人 | |
| 調査期間 | H14. 3. 4~H14. 10. 26 | | 調査面積 | 1,323㎡ | |
| 調査概要 | 八手俣川右岸の段丘状に位置する。調査区中央は近代以降住宅建設による攪乱を受けているが、南北に延びる調査区の北側で直径約1mほどの円形の土坑が多数確認された。密ではないものの、掘立柱建物を4棟確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | 鎌倉初頭: 土坑 室町後期: 掘立柱建物4棟、円形土坑群 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器皿、瀬戸美濃産陶器 | | | | |
| 関連文献 | 日本ナショナルトラスト『美杉村・多気の歴史遺産』1994 『多気遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 『伊勢北畠氏と中世都市・多気』美杉村教育委員会2001ほか | | | | |
| No. | 79 | 遺跡名 | 多気北畠氏遺跡〔六田区〕第1次調査 | 台帳番号 | 405-26-10 |
| 所在地 | 美杉村下多気六田 | | 事業主体 | 美杉村 | |
| 調査原因 | 村道西向院世古横線橋脚建設事業 | | 費用負担 | 美杉村 | |
| 調査機関 | 美杉村教育委員会 | | 担当者 | 石淵誠人 | |
| 調査期間 | H14. 3. 4~H14. 10. 26 | | 調査面積 | 81㎡ | |
| 調査概要 | 世古地区第1次調査区の南側に隣接する。建物の基礎及び排水施設による攪乱を多く受ける。現状の谷より南側で流路を確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | 流路、落ち込み(室町?) | | | | |
| 主な遺物 | 土師器皿 | | | | |
| 関連文献 | 日本ナショナルトラスト『美杉村・多気の歴史遺産』1994 『多気遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 『伊勢北畠氏と中世都市・多気』美杉村教育委員会2001ほか | | | | |
| No. | 80 | 遺跡名 | 宝塚2号墳 | 台帳番号 | 204-124(6B-2) |
| 所在地 | 松阪市宝塚町 | | 事業主体 | 松阪市教育委員会 | |
| 調査原因 | 史跡整備 | | 費用負担 | 国・県・市※ | |
| 調査機関 | 松阪市文化財センター | | 担当者 | 松葉和也 福田哲也 | |
| 調査期間 | H14. 11. 5~H15. 3. 14 | | 調査面積 | 108㎡ | |
| 調査概要 | H13年度に検出した埴輪列と、小斜面葺石列の延長を検出した。小斜面葺石列は後円部2段目葺石斜面の上部の延長にあたり、前方部平坦面と後円部はこれによって区切られることがわかった。 | | | | |
| 主な遺構 | 葺石 | | | | |
| 主な遺物 | 円筒埴輪、朝顔形埴輪 | | | | |
| 関連文献 | 『宝塚古墳の源流を求めて-大和・河内と伊勢の埴輪-』H13年度第2回松阪はにわシンポジウム、松阪市・松阪市教育委員会2002 『東海の埴輪と宝塚古墳』H14年度第3回松阪はにわシンポジウム、松阪市・松阪市教育委員会2003 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|-------|------|--------------------------------|
| No. | 81 | 遺跡名 | 松阪城跡 | 台帳番号 | 204-(7A-2) |
| 所在地 | 松阪市殿町 | | | 事業主体 | 松阪市 |
| 調査原因 | H14年度松阪城石垣修復工事 | | | 費用負担 | 松阪市 |
| 調査機関 | 松阪市教育委員会 | | | 担当者 | 杉本喜一 福田哲也 |
| 調査期間 | H15. 1. 16~H15. 2. 20 | | | 調査面積 | 210㎡ |
| 調査概要 | 松阪城隠居丸の調査である。櫓の土台とも考えられる部分と、絵図に残る「道具蔵」跡にかかるかと思われる部分であったが、建物の礎石や礎石の抜き取り穴を検出することはできなかった。絵図のとおり櫓は無く、道具蔵は調査区より内側にあったものと想定された。 | | | | |
| 主な遺構 | 石垣、裏込め石 | | | | |
| 主な遺物 | 軒丸瓦、軒平瓦など瓦類 | | | | |
| 関連文献 | 『松阪城本丸跡上段発掘調査報告書』松阪市教育委員会1992 | | | | |
| No. | 82 | 遺跡名 | 田丸城跡 | 台帳番号 | 461-214 |
| 所在地 | 三重県度会郡玉城町田丸字城郭 | | | 事業主体 | 玉城町 |
| 調査原因 | 田丸城跡遊歩道整備に伴う発掘調査 | | | 費用負担 | 玉城町 |
| 調査機関 | 玉城町教育委員会 | | | 担当者 | 中西秀貴(町教育委員会) (県埋蔵文化財センター支援) |
| 調査期間 | H14. 6. 4~H14. 11. 29 | | | 調査面積 | 530㎡ |
| 調査概要 | 遊歩道整備事業における調査で、大きく三期に分類できる下記の遺構を検出した。出土物には軒丸瓦や瓦片、土師器片があり、これらから今回検出された遺構は江戸時代以降のものであると考えられる。 | | | | |
| 主な遺構 | (昭和50年代の積み直し以前の)石垣1~7、溝1~4、門1(礎石)、建物1、石列1~3 | | | | |
| 主な遺物 | 軒丸瓦、瓦片、土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 83 | 遺跡名 | 南浦遺跡 | 台帳番号 | 461-未登録 |
| 所在地 | 三重県度会郡玉城町佐田地内 | | | 事業主体 | 玉城町 |
| 調査原因 | 田丸駅前道路の拡幅および駅前ロータリーの建設 | | | 費用負担 | 玉城町 |
| 調査機関 | 玉城町教育委員会 | | | 担当者 | 中西秀貴(町教育委員会) (県埋蔵文化財センター支援) |
| 調査期間 | H14. 2. 7~H14. 3. 28 | | | 調査面積 | 480㎡ |
| 調査概要 | 田丸駅前道路の拡幅およびロータリーの建設に伴う調査で、下記の掘立て柱建物等の遺構を検出した。柱穴からは土師器片も数点出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立て柱建物1~3、溝1~2、土坑1 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器片 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 84 | 遺跡名 | 十王下遺跡 | 台帳番号 | 206-974 |
| 所在地 | 上野市長田字十王下2300他 | | | 事業主体 | 上野市 |
| 調査原因 | 小学校プール改築工事 | | | 費用負担 | 上野市 |
| 調査機関 | 上野市教育委員会 | | | 担当者 | 其道和也 |
| 調査期間 | H14. 6. 6~H14. 8. 2 | | | 調査面積 | 400㎡ |
| 調査概要 | 調査地は縄文・古墳時代の遺物包蔵地である十王下遺跡内の一部に含まれており、試掘調査では、溝や落ち込みが検出され、土師器片や陶器片などの室町時代の遺物が出土したことから、中世城館の外郭施設が所在することが想定された。調査の結果、調査区北西部付近で、掘立柱建物1棟、柱列1列、土坑6基、溝1条とピット29箇所が検出され、縄文土器、弥生土器、古墳時代の土師器、須恵器、中世以降の土師器、陶磁器、瓦といった時期幅の広い遺物が出土した。しかし、遺構に伴う遺物は少なく、時期の特定はされなかった。 | | | | |
| 主な遺構 | 室町~江戸:掘立柱建物 柱列 溝 土坑 ピット | | | | |
| 主な遺物 | 縄文:縄文土器 弥生:弥生土器 石器 古墳:須恵器 土師器 室町~江戸:土師器 陶磁器 瓦 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--|-----|-------------------|------|----------------|
| No. | 85 | 遺跡名 | 国史跡上野城跡(第8次) | 台帳番号 | 206-358 |
| 所在地 | 上野市丸之内 | | | 事業主体 | 上野市教育委員会 |
| 調査原因 | 保存整備のための学術調査 | | | 費用負担 | 上野市※ |
| 調査機関 | 上野市教育委員会 | | | 担当者 | 松田久司 福田典明 其道和田 |
| 調査期間 | H14. 8. 19~H15. 3. 12 | | | 調査面積 | 約700㎡ |
| 調査概要 | 本年度は、H11年度調査区である榊形虎口の東側土手部分を中心としたおよそ100㎡(A地区)と、昨年度の調査で良好な状態で城代屋敷の遺構が検出された地区付近、およそ600㎡(B地区)を調査した。A地区の調査では、土手部分にトレンチを設定し土層確認に努めた結果、調査地の北と南では栗石の堆積状況が明瞭に異なることが確認された。また、番所建物を構成すると思われる礎石や石組溝が新たに検出された。B地区では、たくさんの遺構が検出され、中でも東西に延びる堀跡と北へ延びる堀跡との接合部や、石組溝の始発点である石組状遺構は、定点として絵図との照合を試みる手がかりとなり、かなりの部分で絵図との一致を見ることが出来た。 | | | | |
| 主な遺構 | 礎石・石組溝(A地区)堀・溝・石組溝・礎石・根石・布石・石敷き状遺構・埋甕・竈・土坑・ピット(B地区) | | | | |
| 主な遺物 | 軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・塀瓦・磁器染付碗(A・B地区)・土師器皿・陶器播鉢・陶器甕・寛永通宝・煙管(雁首・吸口)・土製人形・碁石(B地区) | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 86 | 遺跡名 | 百田氏館跡 | 台帳番号 | 206-476 |
| 所在地 | 上野市長田字垣内2273他 | | | 事業主体 | 上野市 |
| 調査原因 | 道路改良工事 | | | 費用負担 | 上野市 |
| 調査機関 | 上野市教育委員会 | | | 担当者 | 其道和田 |
| 調査期間 | H14. 11. 11~H14. 12. 10 | | | 調査面積 | 約110㎡ |
| 調査概要 | 調査地は、室町時代に伊賀評定十二人衆の一人であった百田藤兵衛の屋敷跡とされている所で、現在は畑地となり、土塁や堀は残存していない。調査箇所は城館跡の南端と西端の一部に該当し、調査の結果、城館廃絶後の近世以降の埋甕1箇所、土坑1基、溝1条、ピット1箇所が検出され、後世の攪乱層内で僅かに縄文土器片が確認された。また、埋甕の埋土分析の結果、花粉の密度は低く、便槽としての可能性は少ないことが判明した。 | | | | |
| 主な遺構 | 江戸・埋甕 溝 土坑 ピット 落ち込み | | | | |
| 主な遺物 | 縄文:縄文土器 江戸:土師器 陶器 瓦 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 87 | 遺跡名 | 上野城下町遺跡(入交家 土蔵部分) | 台帳番号 | 206-1230 |
| 所在地 | 上野市相生町2828 | | | 事業主体 | 上野市 |
| 調査原因 | 三重県指定有形文化財入交家住宅保存修理事業 | | | 費用負担 | 上野市※ |
| 調査機関 | 上野市教育委員会 | | | 担当者 | 福田典明 |
| 調査期間 | H14. 12. 16~H15. 1. 9 | | | 調査面積 | 36㎡ |
| 調査概要 | 入交家の保存修理事業に伴い土蔵を解体修理する際に、床下部分の発掘調査を実施したが、現地表面より15~20cm下がった面において石積みを施した池状遺構が検出された。底面が窪んだ水溜まり部分は長楕円形に近い形状を呈していて、壁面には拳大程度の川原石が2段積みされていて、奥壁にあたる西側と北側においては特に良好な状況であった。この部分で多くの遺物が出土したが、中には陶製の五重塔も見られた。また取水口にあたる東側は水溜まり部分より若干浅くなっていたが、この部分で大量の土師器皿が出土した。 | | | | |
| 主な遺構 | 池状遺構 | | | | |
| 主な遺物 | 土師器皿、箱庭道具(五重塔)、一分判金 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |
| No. | 88 | 遺跡名 | 川上宮垣内遺跡 | 台帳番号 | 501-250 |
| 所在地 | 名賀郡青山町川上字宮垣内 | | | 事業主体 | 水資源開発公団川上ダム建設所 |
| 調査原因 | 川上ダム建設事業 | | | 費用負担 | 水資源開発公団川上ダム建設所 |
| 調査機関 | 青山町教育委員会 | | | 担当者 | 田中久生 |
| 調査期間 | H14. 10. 15~H15. 2. 28 | | | 調査面積 | 3,100㎡ |
| 調査概要 | 奥深瀬川東岸の丘陵と川に挟まれた小さな段丘上に位置する。丘陵を開析した「宮の谷」の谷口にはかつて鹿島神社がおかれていた。民家が移転した後の宅地部分と水田部分で調査を実施した。宅地跡には、移転時にできたと思われる攪乱坑も多数あった。井戸は水溜ではないかとも考えられる浅いものが多い。水田部では暗渠と見られる石列を確認した。 | | | | |
| 主な遺構 | 掘立柱建物・溝・土坑・井戸・ピット | | | | |
| 主な遺物 | 瓦器・中世陶磁器 | | | | |
| 関連文献 | 『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-----|------------------|------|-----------------|
| No. | 89 | 遺跡名 | 川上中繩手遺跡B地区 | 台帳番号 | 501-251 |
| 所在地 | 名賀郡青山町川上字中繩手 | | | 事業主体 | 水資源開発公団川上ダム建設所 |
| 調査原因 | 川上ダム建設事業 | | | 費用負担 | 水資源開発公団川上ダム建設所 |
| 調査機関 | 青山町教育委員会 | | | 担当者 | 境 宏 |
| 調査期間 | H14. 6. 25~H15. 3. 14 | | | 調査面積 | 4,600(2,300×2)㎡ |
| 調査概要 | 平成12年度の試掘調査で確認した。前深瀬川左岸の段丘上に位置し、遺跡付近の標高は234mを測る。調査の結果、縄文時代後期と考えられる不定形の住居跡1棟、それに伴うと考えられる土器埋設坑1基、奈良時代の住居跡2棟を確認した。この住居跡は、方形プランで西辺に造りつけの竈を設けている。住居跡の北東3mで焼成坑を確認した。被熱した部分は赤褐色になっており、高温にさらされたと考えられた。中世墓は5基を確認した。径2m×1.5mの楕円形で、瓦器椀・皿、土師器皿などの副葬品がある。炭が混じるものもあった。掘立柱建物は、2棟以上が考えられる。さらに下層を確認したところ遺物包含層があり、1800mを対象に平成15年度調査予定である。 | | | | |
| 主な遺構 | 縄文時代の住居跡、土器埋設坑、奈良時代住居跡、焼成坑、炉、中世の掘立柱建物、中世墓 | | | | |
| 主な遺物 | 縄文土器、須恵器、土師器、瓦器、石鏃、剥片(多量) | | | | |
| 関連文献 | 川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ | | | | |
| No. | 90 | 遺跡名 | 川上中繩手遺跡H地区 | 台帳番号 | 502-251 |
| 所在地 | 名賀郡青山町川上字中繩手 | | | 事業主体 | 水資源開発公団川上ダム建設所 |
| 調査原因 | 川上ダム建設事業 | | | 費用負担 | 水資源開発公団川上ダム建設所 |
| 調査機関 | 青山町教育委員会 | | | 担当者 | 境 宏 |
| 調査期間 | H15. 1. 14~H15. 3. 24 | | | 調査面積 | 1,000㎡ |
| 調査概要 | 平成12年まで家屋のあった地域である。前深瀬川左岸の段丘上に位置する。調査の結果、家屋のあった部分は、家屋解体時に生じる廃棄物処理のために大きく掘られ、遺構の検出は困難であった。かろうじて免れた部分にピットを確認した。しかし、上部の建物は想定できなかった。3区(仮称)の調査区で井戸1基を確認した。径1m、深さ1.5mの井戸で、埋土から瓦器が出土した。また、最下段の石組みの下には安定させるための陣木が、臍を設け方形に組まれていた。 | | | | |
| 主な遺構 | 瓦器片、土師器片、陶磁器、石臼 | | | | |
| 主な遺物 | 瓦器、土師器、 | | | | |
| 関連文献 | 川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ | | | | |
| No. | 91 | 遺跡名 | 史跡 赤木城跡及び田平子峠刑場跡 | 台帳番号 | 563-3 |
| 所在地 | 南牟婁郡紀和町大字赤木 | | | 事業主体 | 紀和町 |
| 調査原因 | 石垣等の崩落があり、保存修理が必要なため。 | | | 費用負担 | 国・県・町※ |
| 調査機関 | 紀和町教育委員会 | | | 担当者 | 中尾勝也 |
| 調査期間 | H14. 7. 3~H15. 1. 15 | | | 調査面積 | 300㎡ |
| 調査概要 | H14年度は北郭及び南郭の調査を行った。北郭については、石垣の検出及び転落石の除去、石垣範囲の確認、北郭斜面のトレンチ調査を行った。また、南郭は東郭と西郭の丘陵に挟まれた谷底部に位置し、3段の平坦面からなる。このうち上段と中段についてトレンチ調査を行った。なお南郭下段については、15年度調査を実施する予定である。 | | | | |
| 主な遺構 | 南郭上段で礎石列が確認された。礎石列は東西に13石、南北に3石が確認されたが、桁行き柱間を2.3m、梁行き柱間を2.1mと考えると、3間以上×2間以上の建物が想定できる。また、中段南端にも礎石の密集部分があり、礎石建物の存在が想定される。中段中央部分では明確な礎石は確認できなかった。 | | | | |
| 主な遺物 | 陶器挿鉢、陶器腕、釘類 | | | | |
| 関連文献 | | | | | |

県(三重県埋蔵文化財センター)担当分 範囲確認調査

※は、国・県費補助事業

| 遺跡名(遺跡番号) | 所在地 | 調査原因 | 費用負担者 | 調査対象面積㎡ | 試掘面積㎡ | 調査概要 | 保存対応 |
|---|--------------|------------------------------|---------|---------|-------|---------------------------------|------------------------|
| 石塚1号墳・2号墳(323-77・78) | 員弁郡大安町大井田 | 地域用水環境整備事業(大井田西部地区) | 農林水産商工部 | 1,100 | 147 | 工事掘削深度は遺構面に達せず、遺物なし | 慎重工事 |
| 岩の谷遺跡・三神山遺跡(202-194・192) | 四日市市河原田町 | 四日市農芸高校農場整備事業 | 県教育委員会 | 10,200 | 259 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 富塚遺跡(202-473) | 四日市市桜町地内 | 廃棄物処理センター適正処理支援等事業(県道平尾茶屋町線) | 環境部 | 1,600 | 30 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 茂福城跡・里之内遺跡(202-253・564) | 四日市市茂福町・羽津町 | 富田山城線国補街路事業 | 県土整備部 | 298 | 98 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 大矢知山畑遺跡(203-76) | 四日市市大矢知町 | (主)四日市員弁線道路改良事業 | 県土整備部 | 80 | 3 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 辻子遺跡(343-19) | 三重朝日町埋縄 | (主)四日市朝日線町道路拡幅工事 | 県土整備部 | 1,700 | 324 | 遺構なし・土師器片表採 | 施工可 |
| 国分北遺跡(207-536) | 鈴鹿市国分町 | (主)四日市鈴鹿環状線道路整備事業 | 県土整備部 | 3,800 | 120 | 溝・ピット、土師器・須恵器・瓦片 | 要本調査1,300㎡ |
| 国分北遺跡(207-536) | 鈴鹿市国分町 | (主)四日市鈴鹿環状線道路整備事業 | 県土整備部 | 700 | 30 | ピット、瓦・土師器片 | 要本調査700㎡ |
| (仮)寺家池遺跡(登録不要) | 鈴鹿市野村町 | 防災ダム事業(坂川・寺家池遺跡) | 農林水産商工部 | 30,000 | 40 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 起A遺跡(207-713) | 鈴鹿市地子町・安塚町 | かんがい、排水事業(鈴鹿川沿岸地区) | 農林水産商工部 | 1,300 | 32 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 八重垣神社遺跡(202-1174) | 鈴鹿市十宮町 | 県営ほ場整備事業(河曲中部地区) | 農林水産商工部 | 6,000 | 46 | 土坑・溝、土師器片 | 要本調査6,000㎡ |
| 岩瀬遺跡(210-130) 金森遺跡(210-184) (仮)金森西遺跡・地藏前遺跡(210-312) | 亀山市三寺町 | 県営ほ場整備事業(三寺地区) | 農林水産商工部 | 3,390 | 103 | 溝・ピット、土師器・須恵器・山茶碗・皿片 | 要本調査1,800㎡ |
| (仮)林垣内遺跡(201-未登録) | 津市野田 | (主)久居河芸線(五軒町BP)道路整備事業 | 県土整備部 | 5,800 | 92 | 遺構なし、土師器・山茶碗片表採 | 施工可 |
| 里前遺跡(201-761) | 津市野田 | 県営ほ場整備事業(津中部地区)・上水道管敷設替工事 | 農林水産商工部 | 5,000 | 144 | ピット・旧流路跡、土師器・山茶碗片 | 要本調査1,750㎡ |
| 小野江甚目遺跡(407-3) | 一志郡三雲町小野江・肥留 | (一)鳩野津線(雲津橋)道路整備事業 | 県土整備部 | 11,250 | 240 | 遺構なし、土師器・須恵器片表採 | 施工可1,650㎡ |
| 西肥留遺跡(407-6) | 一志郡三雲町小野江・肥留 | (一)鳩野津線(雲津橋)道路整備事業 | 県土整備部 | 11,250 | 240 | 竪穴住居・土坑・溝・ピット、古式土師器・土師器・須恵器・山茶碗 | 要本調査12,600㎡(要範囲確認900㎡) |
| 小津遺跡(407-21) | 一志郡三雲町小津 | 一般国道23号中勢道路建設事業 | 国土交通省 | 4,000 | 84 | 溝、中世土師器・陶器片 | 要本調査2,050㎡ |
| 岩ノ谷城跡(403-未登録) | 一志郡一志町波瀬 | (主)白山小津線(波瀬BP)道路整備事業 | 県土整備部 | 4,000 | 110 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| (仮)古市2号墳(登録不要) | 一志郡白山町古市 | (主)亀山白山線県単道路交通安全対策(一種)事業 | 県土整備部 | 140 | 8 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 前垣内遺跡(406-36) | 一志郡美杉村竹原 | (主)久居美杉線(特経工区)道路整備事業 | 県土整備部 | 100 | 16 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 西山A遺跡(406-49) | 一志郡美杉村八知 | (主)久居美杉線(須瀨BP)道路整備事業 | 県土整備部 | 1,300 | 16 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 多気北畠氏遺跡群小田地区(406-26-4) | 一志郡美杉村下多気 | 県単急傾斜地崩壊対策工事(上村地区) | 県土整備部 | 470 | 24 | 遺構なし、土師器皿・鍋片 | 工事立会実施・施工可 |
| 多気北畠氏遺跡白口地区(406-26-8) | 一志郡美杉村下多気 | 地域防災対策総合治山事業 | 環境部 | 300 | 42 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| (仮)飛谷遺跡(登録不要) | 一志郡美杉町上多気 | 国道368号道路改良事業 | 県土整備部 | 1,600 | 14 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 前沖遺跡(204-687) | 松阪市深長町地内 | (一)松阪建設部国補交通安全対策工事 | 県土整備部 | 620 | 37 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 打田遺跡(204-757) | 松阪市岡本町～藤ノ木町 | (一)松阪嬉野線道路整備事業 | 県土整備部 | 11,160 | 224 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 秋丸遺跡(204-636) | 松阪市阿波曾町 | 広域農道整備事業(中勢2期地区) | 農林水産商工部 | 4,000 | 18 | 土坑、中世の土師器片 | 要本調査960㎡ |
| (仮)中田遺跡・(仮)池田遺跡(204-新発見) | 松阪市広瀬町 | 中山間ほ場整備事業(茅広江地区・広瀬工区) | 農林水産商工部 | 44,980 | 324 | 土坑・溝・ピット、弥生土器・製塩土器・土師器・山茶碗片 | 要本調査36,080㎡ |
| (仮)スプリ遺跡(204-新発見) | 松阪市広瀬町 | 中山間ほ場整備事業(茅広江地区・広瀬工区) | 農林水産商工部 | 1,900 | 110 | 土坑・ピット、土師器片 | 要本調査7,300㎡ |
| (仮)戸井口遺跡(204-新発見) | 松阪市広瀬町 | 中山間ほ場整備事業(茅広江地区・広瀬工区) | 農林水産商工部 | 1,900 | 110 | 土坑・溝・ピット、土師器片 | 要本調査4,400㎡ |
| (仮)茅原遺跡(204-新発見) | 松阪市茅原町 | 中山間ほ場整備事業(茅広江地区・下茅原工区) | 農林水産商工部 | 93,900 | 1,000 | 土坑・溝・ピット、土師器・須恵器・山茶碗片 | 要本調査27,600㎡ |

| | | | | | | | |
|---|-----------------|--------------------------|---------|--------|-----|-------------------------------|------------------|
| 片落A遺跡(442-197) | 多気郡明和町池村 | 広域農道整備事業(中 勢地区) | 農林水産商工部 | 300 | 24 | 土坑・ピット、土師器・山茶碗片 | 要本調査210㎡ |
| 戸峯B遺跡(442-192) | 多気郡明和町池村 | 広域農道整備事業(中 勢地区) | 農林水産商工部 | 430 | 27 | 土坑・ピット、土師器片 | 要本調査150㎡ |
| 一ノ岡遺跡(463-11) | 度会郡小俣町新村 | 国宮宮川用水第2期土 地改良事業 | 農林水産省 | 100 | 20 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 大田遺跡(463-9) | 度会郡小俣町明野 | 国宮宮川用水第2期土 地改良事業 | 農林水産省 | 3,100 | 42 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 明野遺跡(463-10) | | | | 1,400 | 8 | | |
| チカネバ遺跡(470-22) | 度会郡度会町立岡 | (主)伊勢大宮線緊急地 方道路整備事業 | 県土整備部 | 500 | 152 | 溝三条、ピット、土師器皿 | 工事立会実施・ 施工可 |
| 脇出遺跡(470-未登録) | 度会郡度会町脇出 | (主)伊勢南島線道路整 備工事他 | 県土整備部 | 5,900 | 42 | 遺構なし、土師器片 | 施工可3,100㎡ |
| 才良遺跡(206-152) | 上野市才良 | (一)上野島ヶ原線道路改 良工事 | 県土整備部 | 2,700 | 36 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 鳥羽遺跡(206-1094) | 上野市沖字鳥羽地内 | 農免農道整備事業(上野 依那古地区) | 農林水産商工部 | 1,200 | 32 | 遺構なし、古墳時代土師器・須 恵器片表採 | 工事立会実施・ 施工可 |
| 服部氏館跡(206-537) | 上野市荒木 | H14年度ほ場整備事業 (中瀬川南地区) | 農林水産商工部 | 37,200 | 180 | 土坑・石組み・ピット、土師器・ 須恵器・瓦器・陶器片 | 要本調査8,500 ㎡ |
| 宮ノ前遺跡(206-971) | | | | 7,000 | | | 要本調査7,000㎡ |
| 荒木氏館跡(206-538) | | | | 2,400 | | | 要本調査2,400 ㎡ |
| (仮)有井遺跡 (206-新発見) (仮)南屋敷遺跡 (206-新発見) | 上野市西明寺 | 県営ほ場整備事業(中瀬 川南地区) | 農林水産商工部 | 63,900 | 495 | 土坑・溝・ピット、土師器・須恵 器・瓦器・陶器片 | 要本調査 37,000㎡ |
| (仮)倉部遺跡(登録不要) | 阿山郡伊賀町野村 | 県営ほ場整備事業 | 農林水産商工部 | 18,000 | 232 | 遺構なし、近世以降の土師器・ 陶器片表採 | 施工可 |
| 谷尻遺跡(482-4) | 阿山郡島ヶ原村谷尻 | (一)島ヶ原停車場観音提 寺線道路改良工事 | 県土整備部 | 210 | 12 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 六地藏B遺跡(501-197) | 名賀郡青山町北山 | (主)伊賀青山線緊急地 方道路整備事業 | 県土整備部 | 686 | 34 | 土坑、瓦器碗・小型硯 | H14年度本発 掘調査実施 |
| (仮)手登古墳群 7・8・9号墳(登 録不要) | 名賀郡青山町岡田 | 広域農道整備事業伊賀 3期地区(青山工区) | 農林水産商工部 | 80 | 12 | 自然地形 | 施工可 |
| (仮)太地遺跡(登録不要) | 北牟婁郡紀伊長島町 三浦 | 熊野灘臨海公園整備事 業(玉津地区) | 県土整備部 | 75 | 8 | 遺構・遺物なし | 施工可 |

市町村担当分 範囲確認調査

※は、国・県費補助事業

| 遺跡名(遺跡番号) | 所在地 | 調査原因 | 費用負担者 | 調査対象面積㎡ | 試掘面積㎡ | 調査概要 | 保存対応 |
|-------------------|----------------------------------|-----------|-----------|---------|-------|---|-------------|
| 多度B遺跡(301-44) | 桑名郡多度町大字袖井字宇賀1688-1 | 病院建設 | 多度町教育委員会 | 9,384 | 100 | 遺構なし わずかに土師器・須恵器・緑釉陶器・山茶碗が出土 | 施工可 |
| 川原遺跡(205-75) | 桑名市大字額田字中新貝282他4筆 | 共同住宅4棟新築 | 桑名市教育委員会 | 499 | | 近世陶磁器が地表面に散布するのみ遺構は確認されず | |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市内堀153番地 | 住宅建て替え | 桑名市教育委員会 | 77 | | 遺構は確認されず | |
| 高塚山下遺跡(205-55) | 桑名市大字西方字笹山833 | 住宅建設 | 桑名市教育委員会 | 353 | 9 | 近世の遺構面と遺物包含層を確認 | |
| 西谷遺跡(205-124) | 桑名市大字西金井182-1 | 駐車場 | 桑名市教育委員会 | 195 | 8 | 中世の遺物包含層を確認 | 開発が遺構まで到達せず |
| 西谷遺跡(205-124) | 桑名市大字西金井字村中182-2 | 駐車場 | 桑名市教育委員会 | 206 | 8 | 中世の遺物包含層を確認 | 開発が遺構まで到達せず |
| 西谷遺跡(205-124) | 桑名市大字西金井字182番地 | 駐車場 | 桑名市教育委員会 | 413 | 16 | 中世の遺物包含層を確認 | 開発が遺構まで到達せず |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市外堀30番地 | マンション建設 | 桑名市教育委員会 | 405 | 12 | 近世の遺構面を確認 | 要本調査 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市大字本願寺町字西裏25-1外5筆、桑名市東錦屋町60外2筆 | 宅地造成 | 桑名市教育委員会 | 3,994 | 99 | 近世及び中世の遺物包含層を確認 | 開発が遺構まで到達せず |
| 太夫遺物散布地(205-89) | 桑名市大字太夫字西浦159外 | 宅地造成 | 桑名市教育委員会 | 2,977 | | 遺構、遺物は確認されず | 文化財の保護措置書提出 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市伝馬町53番地 | 寺院本堂新築工事 | 事業者 | 150 | | 日本堂の盛土の下に中世と思われる包含層を確認した | 工法変更 |
| 寺跡遺跡(205-130) 隣接地 | 桑名市大字大福宇寺跡404、404-1 | 宅地分譲 | 桑名市教育委員会 | 1,735 | | 中世の遺物包含層を確認 | 開発が遺構まで到達せず |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市住吉町 | 「新住吉橋」の架橋 | | 800 | | | |
| 中堀遺跡(202-413) | 四日市市小古曾二丁目 | 個人住宅 | 四日市市教育委員会 | 264 | 16 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 庚申塚遺跡(202-136) | 四日市市生桑町 | 宅地造成 | 事業者 | 1,597 | 50 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 鹿間東山遺跡(202-388) | 四日市市鹿間町 | 工場建設 | 事業者 | 999 | 32 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 赤堀城跡(202-290) | 四日市市城東町 | 道路拡幅 | 事業者 | 300 | 15 | 古墳時代～近世の須恵器・灰釉陶器・山茶碗・土師器・陶器などが出土。堀の可能性が高い落ち込みを確認。 | 要本調査(300㎡分) |
| 四反田遺跡(202-497) | 四日市市大矢知町 | 北勢バイパス | 事業者 | 2,300 | 32 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 四方天遺跡(202-496) | 四日市市大矢知町 | 北勢バイパス | 事業者 | 3,440 | 80 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 貝野遺跡(202-124) | 四日市市東坂部町 | 個人住宅 | 事業者 | 354 | 9 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| (包蔵地外)(207-) | 下箕田二丁目527外 | 宅地造成 | 鈴鹿市※ | 9,996 | 28 | 近世陶器・土鍾 | 施工可 |
| 国分北遺跡(207-536) | 国分町566・567 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 3,916 | 5 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 貝戸部遺跡(207-728) | 上野町940-1 | 宅地造成 | 鈴鹿市※ | 522 | 400 | 竪穴住居・溝・掘立柱建物 | 施工可 |
| 津賀東部遺跡(207-527) | 高塚町190-12 | 個人住宅・倉庫 | 鈴鹿市※ | 304 | 4 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 神戸中学校遺跡(207-168) | 神戸七丁目1096-1 | 集合住宅 | 鈴鹿市※ | 508 | 3 | 土師器・遺構なし | 施工可 |
| 三日市東遺跡(207-1158) | 三日市二丁目436-2 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 239 | 4 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 西川西遺跡(207-674) | 郡山町1345-1 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 397 | 8 | 須恵器・ピット | 立会調査 |
| 須賀遺跡(207-166) | 須賀一丁目1579外 | 老人福祉施設 | 鈴鹿市※ | 4,766 | 101 | 竪穴住居・弥生土器 | 本調査 |
| 土師南方遺跡(207-384) | 土師町1353 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 456 | 3 | 土師器・山茶碗・遺構なし | 施工可 |
| 寺山遺跡(207-14) | 高岡町1819-1、1820-1 | 社会福祉施設 | 鈴鹿市※ | 822 | 30 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 長者屋敷遺跡(207-363) | 広瀬町3300 | 農地改良 | 鈴鹿市※ | 7,385 | | 竪穴住居 | 本調査へ移行 |
| (包蔵地外)(207-) | 飯野寺家町137-6外 | 宅地造成 | 鈴鹿市※ | 3,951 | 40 | 山茶碗・土師器・遺構なし | 施工可 |
| 上箕田遺跡(207-164) | 上箕田町2668-3 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 500 | 6 | 弥生土器・遺構なし | 施工可 |
| 金沢川遺跡(207-714) | 岸岡町3280 | 保育園 | 鈴鹿市※ | 2,355 | 28 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 西ノ岡A遺跡(207-545) | 高岡町1844-4 | 社会福祉施設 | 鈴鹿市※ | 919 | 24 | 遺構・遺物なし | 施工せず |
| 一反通遺跡(207-533) | 上野町782-3 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 469 | 21 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 石垣遺跡(207-1162) | 末広町5281-4他 | 共同住宅 | 鈴鹿市※ | 1,321 | 43 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 山ノ原遺跡(207-532) | 上田町296-1 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 583 | 20 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 南浦遺跡(207-362) | 国分町1424-1 | 駐車場 | 鈴鹿市※ | 208 | 16 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 岡部氏館跡(207-610) | 甲斐町1076-3 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 509 | 2 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 梅田遺跡(207-1244) | 国府町3258-2 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 888 | 25 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 西ノ野遺跡(207-510) | 国府町20-57外 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 816 | 3 | 遺構・遺物なし | 施工可 |

| | | | | | | | |
|--|------------------|------------------|-------------|---------|-----|---|--------------------------------|
| 西ノ岡A遺跡(207-545) | 高岡町1844-36 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 176 | 11 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 白子代官所跡(207-1283) | 白子一丁目6125-25外 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 174 | 9 | 近世陶器・遺構なし | 施工可 |
| 須賀遺跡(207-166) | 須賀一丁目34 | 個人住宅 | 鈴鹿市※ | 162 | 7 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 木下町A遺跡(210-206) | 亀山市木下町 | 東名阪亀山直結線 | 日本道路公団 | 1,850 | 76 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 下川原遺跡(登録不要) | 亀山市太岡寺町 | 一般国道1号関BP | 国土交通省 | 4,900 | 290 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 高飛館跡(210-140) | 亀山市野村町 | 物流倉庫造成 | 民間 | 6,784 | 73 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 赤坂頓宮跡(361-) | 関町大字木崎 | 幼稚園舎建替え | 関町 | 3,600 | 112 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 馬屋町遺跡(382-53) | 安芸郡芸濃町棕本 | 倉庫建設 | 事業者 | 6,200 | 48 | 事業地内の基礎のかかる箇所について、試掘調査を行ったが、該当地では遺構・遺物共に確認できなかった。その他の部分は、盛土による保存。 | 基礎部分は、施工可。その他、盛土保存 |
| 小野口遺跡(384-751) | 安濃町大字草生 | 宗教法人本部建設 | 原因者 | 30,950 | 400 | 土坑・ピット・溝検出 | H15年度発掘調査予定 |
| 鳥谷古墳(384-565) 鷹ヶ谷1・2号墳(384-563・564) 安濃焼き窯跡(384-752) 安濃城跡(384-595) | 安濃町大字安濃 | 安濃工業団地造成 | 安芸土地開発公社 | 186,000 | 110 | 鳥谷古墳・鷹ヶ谷1・2号墳は調査の結果古墳でなかった。安濃城跡については、顕著な遺構は確認できなかった。 | 安濃焼き窯は現地保存。他は工事施工可。 |
| 一身田寺内町(201-) | 津市一身田町字裏町 | 集合住宅建設 | 個人 | 648 | 32 | 埋蔵2基 陶器・磁器出土 | 立会調査 |
| 黒木遺跡隣接地(201-) | 津市大字藤方字黒木 | 診療所建設 | 個人 | 1,207 | 56 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 賢崎浦遺跡(201-780) | 津市港町 | 津松阪港(賢崎地区)港湾改修事業 | 三重県 | 6,000 | 224 | 遺構なし 山茶碗 | 施工可 |
| 高松A・B遺跡隣接地(201-) | 津市大字半田字四十九山 | 宅地造成 | 事業者 | 4,518 | 14 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 西焼尾3号墳(201-736) | 津市長岡町字東高野尾 | 宅地造成 | 事業者 | 7,118 | 10 | 自然地形 | 施工可 |
| 中山前遺跡(406-48) | 美杉村八知中山前地内 | 簡易水道拡張に伴う取水施設建設 | 美杉村 | 1,762 | 36 | 現河道に隣接する部分に位置する 遺構なし、土師器片あり | 施行可 |
| 松本権現前遺跡(407-8) | 一志郡三雲町大字曾原 | 介護施設建設 | 事業者 | 1,117 | 16 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 中興・西ノ庄遺跡(407-10) | 一志郡三雲町大字小野江 | 貸倉庫・事務所建設 | 事業者 | 3,226 | 24 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 笠松遺跡(407-13) | 一志郡三雲町大字笠松 | 宅地造成 | 事業者 | 1,951 | 24 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 中林・中道遺跡(407-14) | 一志郡三雲町大字中道 | 宅地造成 | 事業者 | 2,030 | 32 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 曾原遺跡(407-16) | 一志郡三雲町大字曾原 | 共同住宅建設 | 事業者 | 2,241 | 8 | 包蔵地内のみ対象 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 小津遺跡(407-21) | 一志郡三雲町大字小津 | 学校施設建設 | 三雲町 | 11,154 | 120 | 遺構なし 遺物(土師器片) | 施工可 |
| 下宮前B遺跡(204-554) | 松阪市射和町 | 宅地造成 | 事業者 | 1,931 | 12 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 仮)中狭遺跡(登録不要) | 松阪市下村町 | 集合住宅建設 | 事業者 | 2,085 | 8 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 仮)桃垣内・牛草遺跡(登録不要) | 松阪市柿木原町・東黒部町 | 砂利採取 | 事業者 | 58,930 | 36 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 仮)佐久米西浦遺跡(登録不要) | 松阪市佐久米町 | 砂利採取 | 事業者 | 10,000 | 42 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 仮)大宮田脇田遺跡(登録不要) | 松阪市大宮田町 | 砂利採取 | 事業者 | 12,853 | 36 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 下垣内遺跡(204-640) | 松阪市上蛸路町 | 個人住宅建設 | 事業者 | 415 | 6 | 溝、土師器 | 盛土後、慎重工事 |
| 仮)東黒部南川原遺跡(登録不要) | 松阪市東黒部町 | 砂利採取 | 事業者 | 8,500 | 24 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 大角遺跡(204-新発見) | 松阪市朝田町 | 砂利採取 | 事業者 | 56,000 | 102 | ピット検出 土師器、陶器片出土 | 遺跡範囲は現状保存 |
| 丸山古墳(12B-35) | 松阪市中万町 | 土砂採取 | 事業者 | 8,757 | 11 | 遺構・遺物なし 自然地形と判明 | 施工可 |
| 射原垣内遺跡隣接地(登録不要) | 松阪市中万町 | 鉄塔建設 | 事業者 | 169 | 4 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 伊勢寺遺跡(204-274)・宮ノ沖A遺跡(204-新発見)・宮ノ沖B遺跡(204-新発見) | 松阪市伊勢寺町 | 農業公園整備 | 松阪市 | 95,756 | 294 | ピット、溝などを検出 土師器、陶器片出土 | 伊勢寺遺跡・宮ノ沖A遺跡は盛土対応。宮ノ沖B遺跡は立会調査。 |
| 申山B遺跡(442-308) | 明和町大淀字申山2847-11他 | 砂利採取 | 明和町※ 事業者 | 7,324 | 156 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 安養寺跡(442-523) | 明和町上野字寺屋敷435 | 病院建設 | 明和町※ | 4,000 | 184 | 大溝・柱穴、土師器・青磁・瓦・五輪塔等 | 要本調査約4,000㎡ |
| 仮)覆谷古墳(登録不要) | 多気町五佐奈字覆谷 | 工場建設 | 事業者 | 1,031 | 50 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| ささら遺跡(441-339) | 多気町西池上字ささら | 工場建設 | 事業者 | 1,500 | 64 | 遺構なし 土師器、須恵器 | 施工可 |

| | | | | | | | |
|--------------------|-------------------|----------------------------|----------------|--------|-------|---|----------------------|
| 南浦遺跡(461-) | 三重県度会郡玉城町 佐田地内 | 田丸停車場斎明線 玉城町公共下水道 工事 | 玉城町 | 376 | 40 | 今回の調査は、隣接地で平成11・12年度に三重県埋蔵文化財センターがおこなった試掘調査結果をもとに田丸停車場斎明線玉城町公共下水道工事に伴う南浦遺跡の範囲確認調査として実施した。試掘坑を五箇所設定し調査した結果、粘質土の地山を試掘坑①～⑤確認し、遺物としては既設の水道管理設に伴う攪乱層内でカメ・ナベ・瓦・茶碗片を出土。遺構は検出されなかった。(188×2) | 工事立会が必要であると指示し、実施した。 |
| 百田氏館跡(206-476) | 長田 | 道路改良工事 | 上野市 | 750 | 60 | 土坑検出 遺物なし | 要本調査110㎡ |
| 夏ハゼ遺跡(206-964)近接地 | 服部町 | 店舗建設 | 事業者 | 6,245 | 48 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 国史跡上野城跡9次(206-358) | 丸之内 | 電柱設置工事 | 上野市 | 8 | 8 | 石積み状遺構・集石状遺構検出。五輪塔水輪、土師器片、陶磁器片出土。 | 施工可 |
| 上野城跡7次(206-358) | 丸之内 | 市役所駐車場改装工事 | 上野市 | 1,145 | 4 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 備後坂窯跡(206-830) | 佐那具 | 工場増設工事 | 事業者 | 3,268 | 27 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| (仮)下川原遺跡(登録不要) | 伊賀町柏野 | 下水道西部処理場事業 | 伊賀町 | 6,000 | 48 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| (仮)駒田遺跡(登録不要) | 伊賀町下柘植 | 小学校グランド拡張工事 | 伊賀町 | 3,700 | 24 | 遺構・遺物なし | 施工可 |
| 川上中縄手遺跡(501-251) | 名賀郡青山町川上字中縄手 | 川上ダム建設 | 水資源開発公団川上ダム建設所 | 25,000 | 1,738 | 土坑・溝 瓦器・陶磁器 | 要本調査2地区計2,800㎡ |
| 沢代遺跡(501-201) | 名賀郡青山町阿保字沢代 | (主)松阪青山線道路整備事業 | 県土整備部 | 11,650 | 56 | 土坑・溝・ピット、土師器・須恵器・瓦器片 | 要本調査6,802㎡ |

県(三重県埋蔵文化財センター)担当分 工事立会

※は、国・県費補助事業

| 遺跡名(遺跡番号) | 所在地 | 調査原因 | 費用負担者 | 立会調査面積㎡ | 調査概要 |
|-------------------|----------|---------------------------------|--------|---------|--------------|
| (仮)桑名高等学校遺跡(登録不要) | 桑名市東方 | 桑名高等学校下水道接続工事 | 県教育委員会 | 96 | 遺構・遺物なし |
| 伊坂城跡(202-246) | 四日市市伊坂町 | 近畿自動車道名古屋神戸線(愛知県境～四日市JCT)道路建設事業 | 日本道路公団 | 45 | 遺構・遺物なし |
| 松本遺跡(405-392) | 一志郡嬉野町中川 | 白山幹線中川ポンプ場建設事業 | 県土整備部 | 400 | 遺構・遺物なし |
| 平岩遺跡(403-175) | 一志郡一志町井関 | 中勢沿岸流域下水道白山幹線(第18工区)管渠工事 | 県土整備部 | 24 | 遺構・遺物なし |
| (仮)大仰遺跡(登録不要) | 一志郡一志町大仰 | 中勢沿岸流域下水道白山幹線(第18工区)管渠工事 | 県土整備部 | 12 | 遺構・遺物なし |
| 高向遺跡(468-1) | 度会郡御園村高向 | 宮川幹線(第3工区)管渠工事 | 県土整備部 | 45 | 遺構・遺物なし |
| 高向遺跡(468-1) | 度会郡御園村高向 | 宮川幹線(第3工区)管渠工事 | 県土整備部 | 90 | 遺構なし、土師器・山茶碗 |
| 清水城跡(206-622) | 上野市高山 | 小規模治山事業 | 環境部 | 100 | 土塁 |
| 上野城跡(206-358) | 上野市西大手町 | 国道163号国補道路交通安全対策一種工事 | 県土整備部 | 30 | 堀跡 |
| 神ノ木遺跡(206-1082) | 上野市市部 | 伊賀水道用水供給事業 | 企業庁 | 75 | 遺構・遺物なし |
| 浮田遺跡(206-1109) | 上野市上神戸 | 伊賀水道用水供給事業 | 企業庁 | 810 | 遺構・遺物なし |
| (仮)高島氏館跡(登録不要) | 名張市夏見 | 布生夏見線促進道路工事 | 県土整備部 | 150 | 遺構なし、近世陶磁器片 |

市町村担当分 工事立会

※は、国・県費補助事業

| 遺跡名(遺跡番号) | 所在地 | 調査原因 | 費用負担者 | 立会調査面積㎡ | 調査概要 |
|--------------------|----------------------|-------------------|-------|---------|-------------------------|
| 天王平遺跡(301-57) | 桑名郡多度町大字小山字天王平2378-1 | 個人住宅 | 原因者 | 122 | 工事立会 遺構・遺物なし |
| 尾津森遺跡(301-59) | 桑名郡多度町大字小山字尾津崎1978 | 個人住宅 | 原因者 | 29 | 工事立会 遺構・遺物なし |
| 天王平遺跡(301-57) | 桑名郡多度町大字小山字西天王平2168 | 農業用倉庫 | 原因者 | 99 | 工事立会 遺構・遺物なし |
| 天王平遺跡(301-57) | 桑名郡多度町大字小山字尾津崎1784-1 | 個人住宅 | 原因者 | 330 | 工事立会 少量の土師器が採集されたが、遺構なし |
| 関東遺跡(301-21) | 桑名郡多度町大字袖井字関東1388ほか | 個人住宅 | 原因者 | 977 | 工事立会 遺構・遺物なし |
| 下野代遺跡(301-95) | 桑名郡多度町大字下野代字一丁物897 | 店舗敷地 | 原因者 | 1,616 | 工事立会 須恵器片を採集したが、遺構なし |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市宮通38番地 | 住宅建設 | | 60 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市南寺町69 | 店舗建て替え | | 178 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市三崎通3-2 | その他の建物(祭車倉庫の建て替え) | | 32 | 工事立会 |
| 宇賀遺跡(205-80) | 桑名市大字蓮花寺311 | 共同住宅の新築 | | 291 | 工事立会、遺物包含層・遺構まで掘削が及ばず |
| 連敬寺遺跡(205-107) | 桑名市大字志知字鎮守堂4486-1 | 分家住宅建築のため | | 94 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市内堀7番の2 | 住吉交番建設事業 | | | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市一色町52-1、53 | 住宅の建設 | | 96 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市新屋敷151-5 | 住宅の新築 | | 68 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99)隣接地 | 桑名市南寺町11番、11番1 | 住宅の建て替え | | 83 | 工事立会 |
| 寺跡遺跡(205-130) 隣接地 | 桑名市大字江場561他4筆 | 取用による建て替え(敷地内の増築) | | 78 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市入江葭64番、66番 | 一戸建住宅の新築 | | 74 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市内堀52番、53番 | 共同住宅の建築 | | 257 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市三之丸117-3 | 住宅付属車庫新築 | | 25 | 工事立会 |
| 桑名城下町遺跡(205-99) | 桑名市風呂呂町22番 | 住宅の建築 | | 81 | 工事立会 遺構に影響なし |
| 南奥遺跡(202-338) | 四日市市大字泊村 | 宅地造成 | 事業者 | 2,553 | 遺構・遺物なし |
| 浄裕遺跡(202-154) | 四日市市中川原二丁目 | 宅地造成 | 事業者 | 249 | 遺構・遺物なし |
| 宮ノ前遺跡(202-288) | 四日市市芝田一丁目 | 宅地造成 | 事業者 | 16 | 遺構・遺物なし |
| 中堀遺跡(202-413) | 四日市市小古曾二丁目 | ガス管埋設 | 事業者 | 24 | 遺構・遺物なし |
| 三本松遺跡(202-362) | 四日市市水沢町 | 農業集落排水 | 事業者 | 4 | 遺構・遺物なし |
| 上里遺跡(202-152) | 四日市市久保田二丁目 | 個人住宅 | 事業者 | 6 | 遺構・遺物なし |
| 下之宮南遺跡(202-513) | 四日市市下之宮町 | 店舗建設 | 事業者 | 20 | 遺構・遺物なし |
| 西沖遺跡(202-363) | 四日市市水沢町 | 農業集落排水 | 事業者 | 2,000 | 遺構・遺物なし |
| 下之宮遺跡(202-512) | 四日市市下之宮町 | 下水管布設 | 事業者 | 3,000 | 遺構・遺物なし |
| 宮ノ前遺跡(202-288) | 四日市市芝田一丁目 | 下水管布設 | 事業者 | 130 | 遺構・遺物なし |
| 大膳寺跡(202-89) | 四日市市別名三丁目 | 下水管布設 | 事業者 | 350 | 遺構・遺物なし |
| 下之宮南遺跡(202-513) | 四日市市下之宮町 | 下水管布設 | 事業者 | 120 | 遺構・遺物なし |
| 東坂部城跡(202-537) | 四日市市東坂部町 | 下水管布設 | 事業者 | 100 | 遺構・遺物なし |
| 水沢城跡(202-330) | 四日市市水沢町 | 農業集落排水 | 事業者 | 390 | 遺構・遺物なし |
| 小方縄遺跡(202-534) | 四日市市大治田三丁目 | 共同住宅 | 事業者 | 440 | 遺構・遺物なし |
| 佐倉城跡(202-278) | 四日市市桜町 | 下水管布設 | 事業者 | 68 | 遺構・遺物なし |
| 小生遺跡(202-282) | 四日市市小生町 | 共同住宅 | 事業者 | 150 | 遺構・遺物なし |
| 小生遺跡(202-282) | 四日市市小生町 | 共同住宅 | 事業者 | 60 | 遺構・遺物なし |
| 大膳寺跡(202-89) | 四日市市南いかるが町 | 下水管布設 | 事業者 | 428 | 遺構・遺物なし |
| 茂福城跡(202-253) | 四日市市茂福町 | 建物解体 | 事業者 | 100 | 遺構・遺物なし |
| 東門田(隣接)遺跡(202-499) | 四日市市曾井町 | 道路拡幅 | 事業者 | 424 | 遺構・遺物なし |
| 芝田(隣接)遺跡(202-289) | 四日市市芝田一丁目 | 下水管布設 | 事業者 | 20 | 遺構・遺物なし |

| | | | | | |
|--|-----------------------|--------------------|-----------|-------|---|
| 雲天遺跡(202-71) | 四日市市大矢知町 | 個人住宅 | 事業者 | 8 | 遺構・遺物なし |
| 貝野遺跡(202-124) | 四日市市東坂部町 | 配水管布設 | 事業者 | 31 | 遺構・遺物なし |
| 小生遺跡(202-282) | 四日市市小生町 | 雨水路改良 | 事業者 | 30 | 遺構・遺物なし |
| 茂福城跡(202-253) | 四日市市茂福町 | 側溝改良 | 事業者 | 13 | 遺構・遺物なし |
| 大矢知山畑遺跡(202-76) | 四日市市大矢知町 | 水路築造工事 | 事業者 | 850 | 遺構・遺物なし |
| 八反田(隣接)遺跡(202-181) | 四日市市室山町 | 排水路改良工事 | 事業者 | 130 | 遺構・遺物なし |
| 八反縄遺跡(202-70) | 四日市市大矢知町 | 下水管布設 | 事業者 | 170 | 遺構・遺物なし |
| 赤堀城跡(202-290) | 四日市市赤堀二丁目 | 下水管布設 | 事業者 | 162 | 遺構・遺物なし |
| 上畑遺跡(202-337) | 四日市市尾平町 | 排水路改良工事 | 事業者 | 299 | 遺構・遺物なし |
| 水沢中野遺跡(202-367) | 四日市市水沢町 | 農業集落排水 | 事業者 | 405 | 遺構・遺物なし |
| 小判田遺跡(202-332) | 四日市市芝田二丁目 | 下水管布設 | 事業者 | 214 | 遺構・遺物なし |
| 長者屋敷遺跡(363) | 鈴鹿市西富田町1315他 | 農道改良 | 鈴鹿市 | | 土師器・近世陶器 |
| 天王遺跡(873) | 鈴鹿市岸岡町577-4 | 病院施設 | 事業者 | 3 | 遺構・遺物なし |
| 飯野神社遺跡(1192) | 鈴鹿市三日市二丁目167-1 | 個人住宅 | 個人 | 4 | 遺構・遺物なし |
| (仮)北野遺跡(登録不要) | 関町大字木崎 | アパート建設 | 関町 | 1,760 | 遺構・遺物なし |
| 八太遺跡(201-850) | 津市大字神戸字八太 | 個人住宅建設 | 個人 | 36 | 土坑? 土師器・須恵器 |
| (仮)西重草遺跡(登録不要) | 津市桜田町 | 集合住宅建設 | 個人 | | 遺構・遺物なし |
| (仮)大門遺跡(登録不要) | 津市栗真小川町字大門 | 遊技場建設 | 事業者 | | 遺構・遺物なし |
| 松阪城跡隣接地(登録不要) | 松阪市殿町 | 工業高校グラウンド改修 | 三重県教育委員会 | 5 | 遺構・遺物なし |
| 宮ノ沖B遺跡(204-新発見) | 松阪市伊勢寺町 | 農業公園整備 | 松阪市 | 84 | ピット検出、奈良時代の土師器甕出土 |
| 本郷遺跡(442-229) | 明和町大字明星字桜出850-1、850-3 | 共同住宅建設 | 明和町 個人 | | 遺構・遺物なし |
| (仮)ハム谷遺跡(登録不要) | 多気町大字野中字ハム谷 | 畑地開墾 | 事業者 | 2,400 | 遺構・遺物なし |
| 南浦遺跡(461-) | 度会郡玉城町佐田地内 | 田丸停車場斎明線玉城町公共下水道工事 | 玉城町 | 376 | 工事期間中、工事立会を随時実施した結果、遺構等は検出されなかった(188×2) |
| 新開遺跡(206-649) | 西明寺 | 倉庫建設 | 事業者 | 24 | ピット検出 |
| 官舎遺跡(206-346) | 東高倉 | 個人住宅建築 | 上野市 | 5 | 遺構なし 土器片が少量出土 |
| 田中遺跡(206-143)、西浦遺跡(206-229)、老ノ木遺跡(206-791) | 猪田 | 農業集落排水緊急整備事業 | 上野市 | 10 | 遺構・遺物なし |
| 八幡遺跡(206-978) | 長田 | 農業集落排水緊急整備事業 | 上野市 | 2 | 遺構・遺物なし |
| 南氏館跡(206-482)、広山氏館跡(206-480) | 大野木 | 農業集落排水緊急整備事業 | 上野市 | 2 | 遺構・遺物なし |
| 川西遺跡(206-945) | 三田 | 個人住宅建築 | 上野市 | 41 | 遺構なし 土師器片少量出土 |
| 唐木谷遺跡(206-816)近接地 | 猪田 | 水稻育苗施設新築工事 | 上野市 | 30 | 遺構・遺物なし |
| 国史跡上野城跡(206-358) | 丸之内 | 地形測量に伴う杭設置工事 | 上野市 | 1 | 石列検出 瓦片・陶器片他少量出土 |
| 国史跡上野城跡(206-358) | 丸之内 | 歩道改修工事 | 上野市 | 5 | 遺構・遺物なし |
| 十王下遺跡(206-974)近接地 | 長田 | 個人住宅建築 | 上野市 | 10 | 遺構・遺物なし |
| 上野城下町遺跡(206-1230) | 下幸坂町 | 携帯電話用通信基地局設置工事 | 上野市 | 20 | 遺構・遺物なし |

V 行政資料

1 県内埋蔵文化財数

| 教育事務所 | 散布地 | 古墳 | 寺社跡 | 城館型跡 | 古窯跡 | その他 | 計 |
|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-----|--------|
| 北勢 | 1,139 | 1,361 | 54 | 199 | 64 | 81 | 2,898 |
| 中勢 | 833 | 1,794 | 43 | 130 | 30 | 55 | 2,885 |
| 松阪 | 754 | 1,165 | 51 | 75 | 32 | 18 | 2,095 |
| 南伊・志摩 | 707 | 794 | 21 | 108 | 14 | 235 | 1,879 |
| 上野 | 533 | 1,505 | 266 | 599 | 28 | 181 | 3,112 |
| 尾鷲 | 43 | 4 | 0 | 19 | 1 | 7 | 74 |
| 熊野 | 99 | 0 | 1 | 64 | 0 | 2 | 166 |
| 合計 | 4,108 | 6,623 | 436 | 1,194 | 169 | 579 | 13,109 |

平成15年3月31日現在

2 県、市町村別の発掘調査件数及び面積の実績

(昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照)

| 年度 | 三重県埋蔵文化財センター担当 | | | | | | | | | | | | | | 市町村担当 | | | | | | | 合計 | | | | | |
|--------|-------------------|--------|----|-----------|-----------------|--------|------------|--------|-----------------|---------|------------|-------|-------------------|---------|-------|-------------------|-------------------|-----------|------------|----------|-------------|-------|-----------|----------|-----|---------|-----------|
| | 農林水産 商工部 関係 | | | | 県土 整備部 関係 | | 県関係 その他 | | 国土 交通部 関係 | | 道路公 団関係 | | 国・公 団関係 その他 | | 小計 | 斎宮歴史 博物館 担当 | その他の 県組織 担当 | 土地改 良等 | 道路・ 河川等 | ゴルフ 場 | 団地・ 個人住宅 | | 工場 造成地 | 土取り 等 | その他 | 小計 | |
| | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | 件数 | 面積 | | | | | | | | | | | | | |
| 平成元年度 | 106 | 43,445 | 3 | 6,234 | 0 | 0 | 10 | 34,780 | 9 | 40,408 | 0 | 0 | 128 | 11,471 | 0 | 3 | 15,900 | 1 | 30,500 | 13 | 4 | 3,400 | 15 | 74,900 | 51 | 211,238 | |
| 平成2年度 | 61 | 43,765 | 15 | 8,696 | 2 | 648 | 7 | 31,372 | 10 | 18,790 | 0 | 0 | 95 | 5,697 | 0 | 9 | 19,700 | 2 | 27,900 | 20 | 10 | 8,000 | 13 | 108,700 | 68 | 217,668 | |
| 平成3年度 | 67 | 39,412 | 30 | 7,388 | 1 | 8 | 10 | 15,428 | 2 | 3,052 | 0 | 0 | 110 | 5,534 | 0 | 9 | 10,100 | 2 | 40 | 40 | 13 | 0 | 14 | 92 | 210 | 178,822 | |
| 平成4年度 | 50 | 29,210 | 29 | 9,864 | 0 | 0 | 15 | 17,485 | 0 | 0 | 0 | 0 | 94 | 3,954 | 0 | 6 | 14,000 | 4 | 38 | 38 | 17 | 3 | 28 | 109 | 212 | 172,913 | |
| 平成5年度 | 63 | 26,178 | 33 | 10,507 | 2 | 1,436 | 18 | 21,384 | 0 | 0 | 0 | 0 | 116 | 4,760 | 0 | 15 | 13,300 | 0 | 29 | 29 | 7 | 3 | 35 | 101 | 230 | 154,965 | |
| 平成6年度 | 75 | 32,256 | 45 | 11,475 | 2 | 2,000 | 18 | 31,178 | 0 | 0 | 1 | 816 | 141 | 3,770 | 0 | 10 | 8,651 | 0 | 31 | 13,788 | 3 | 830 | 440 | 37 | 103 | 253 | 150,062 |
| 平成7年度 | 69 | 29,221 | 47 | 12,369 | 13 | 8,249 | 17 | 37,783 | 0 | 0 | 2 | 2,000 | 148 | 3,425 | 0 | 9 | 10,717 | 0 | 29 | 5,252 | 6 | 2,947 | 1,001 | 43 | 106 | 259 | 149,612 |
| 平成8年度 | 67 | 15,293 | 70 | 19,252 | 25 | 18,176 | 19 | 30,054 | 1 | 160 | 0 | 0 | 182 | 3,986 | 0 | 10 | 6,769 | 0 | 157 | 43,038 | 3 | 842 | 6 | 40 | 239 | 431 | 179,512 |
| 平成9年度 | 37 | 21,709 | 81 | 34,383 | 8 | 6,193 | 6 | 18,601 | 6 | 2,637 | 2 | 3,345 | 140 | 4,155 | 0 | 24 | 34,810 | 0 | 81 | 11,157 | 2 | 124 | 322 | 72 | 219 | 370 | 185,316 |
| 平成10年度 | 30 | 19,088 | 72 | 36,400 | 5 | 2,558 | 9 | 9,241 | 13 | 26,771 | 21 | 3,677 | 150 | 2,025 | 1 | 7 | 18,432 | 0 | 114 | 29,527 | 4 | 5,605 | 5 | 99 | 256 | 413 | 187,394 |
| 平成11年度 | 31 | 16,158 | 62 | 30,587 | 6 | 8,204 | 4 | 3,484 | 16 | 43,452 | 23 | 1,643 | 142 | 3,622 | 0 | 17 | 11,030 | 0 | 106 | 12,317 | 7 | 3,844 | 3 | 53 | 213 | 363 | 163,943 |
| 平成12年度 | 21 | 11,775 | 62 | 16,845 | 0 | 0 | 10 | 14,150 | 17 | 40,871 | 11 | 2,168 | 121 | 2,115 | 0 | 10 | 13,479 | 0 | 98 | 62,810 | 6 | 4,153 | 4 | 120 | 271 | 403 | 219,005 |
| 平成13年度 | 24 | 12,404 | 58 | 312,591.0 | 6 | 529 | 6 | 11,730 | 9 | 6,331.5 | 9 | 760 | 112 | 3,349.5 | 0 | 6 | 13,409.4 | 0 | 119 | 18,062.5 | 4 | 391 | 11 | 96 | 261 | 390 | 129,030.4 |
| 平成14年度 | 26 | 13,836 | 39 | 20,568 | 7 | 1,412 | 4 | 9,644 | 2 | 534 | 2 | 70 | 80 | 2,007 | 0 | 3 | 48,017.2 | 0 | 89 | 13,859.5 | 5 | 292 | 7 | 41 | 207 | 310 | 132,117.7 |

平成14年度

三重県埋蔵文化財年報

2003. 8

編集・発行 三重県埋蔵文化財センター

印刷 (有)第一プリント社